滿洲日報

政友會の回答を待ち組閣準備に着手す

有力視される閣僚候補者

【東京二十四日發】齋藤子は政友會の回答を待つて愈々正式に組閣準備にとりかゝるが目下の處有力視さるゝ閣僚候補は左の如くである

外務　齋藤子は内田伯の蹶起を希望して居るが若し滿鐵と離れ難き時は松井慶四郎男、松平駐英、吉田駐伊兩大使邊から詮衡の答

内務　山本達雄男は動かぬ處

大藏　高橋是清の留任確定的

陸軍　荒木中將は留任を肯んぜず眞崎參謀次長も入閣を喜ばぬため林朝鮮軍司令官となる模樣

海軍　岡田、安保兩大將の中から選ばれる模樣なるも岡田大將來年停年に就き安保大將有力

司法　湯淺倉平確實と見らる

文部　永田秀次郎説は動かぬ處

農林　町田忠治説ありしも新内閣の農政刷新政策から三土忠造説濃厚

商工　齋藤子は郷男に白羽の矢を立てたが入閣困難のため、中島久萬吉男説有力

遞信　望月圭介有望

鐵道　町田忠治か廻る模樣

拓務　兒玉秀雄伯有力

齋藤内閣の顏觸れ

問題は内相の椅子

二十四日午後八時現在

【東京廿四日午後八時十三分發】漸次輪廓を明かにし來れる齋藤内閣顏觸れ左の如し（午後八時）

外務大臣　内田康哉伯
大藏大臣　高橋是清
陸軍大臣　林銑十郎　又は荒木陸相留任
海軍大臣　岡田啓介
内務大臣　伊澤多喜男　又は水野錬太郎
司法大臣　水野錬太郎　又は伊澤多喜男
文部大臣　永田秀次郎（交渉中）
農林大臣　山本達雄男
商工大臣　中島久萬吉男（交渉中）
遞信大臣　望月圭介
鐵道大臣　町田忠治
拓務大臣　湯淺倉平

尚民政黨は椅子の振當てに就き交渉なき爲め默つてゐるが交渉があれば斷然内務に山本男を主張すると云つてゐるから内相の椅子は組閣の難關となつてゐる

内相の椅子をめぐり

政、民兩黨の啀み合ひ

政友は長老會議で對策講究

【東京二十四日發】齋藤新内閣の内務大臣の椅子を廻り齋藤子側が伊澤多喜男氏を据えんとするに對し政友會側は是非これは政友會に讓られたしと主張し玆に俄然猛烈な奪ひ合ひが始まり是が解決せぬ限り民政黨の入閣を始め黨外入閣者の詮衡も不可能となつたので齋藤子は飽くまで政友會側が要求を容れぬ場合は既定方針を以て進むとの決意を示し午後八時二十分に至り齋藤子は麹町の私邸に山本達雄男を訪問して入閣の正式交渉を開始した、是に對し政友會は内相の椅子を如何にすべきかに就き協議決定する爲午後九時より内相官邸に岡崎、床次、小川、久原、望月、中橋の六長老を招集して長老會議を開いた

内相就任交渉に

山本男、二十五日に返答

是非との懇望を受けた

山本達雄男談

【東京二十四日發】齋藤子は二十四日午後八時三十分山本男を訪問内相入閣を交渉、山本男は「何れ若槻男と相談の上二十五日午前中回答する」旨を答へ齋藤子は九時十分辭去した

【東京廿四日發】齋藤子から内相として入閣を懇請された山本達雄男は語る

齋藤子から入閣の交渉を受けたが突然のことで直ちに御受けするともしないとも答へなかつた若し時局多端の際國家のため立つたのだから是非内相として立つて貰ひ度いと說かれたので私も民政黨の顧問だから明日午前十時迄に若槻男と相談の結果御答へすると約した

『交渉に應じ難い』

强硬なる齋藤子の回答に

政友は對策を協議

【東京二十四日發】齋藤子は政友會の主張に反して内務大臣に山本達雄男を据ゑるに決定したので齋藤子は午後八時書面を以て鈴木總裁に對し「御交渉に應じ難いから惡からず諒承を乞ふ」旨の回答を發したので鈴木總裁は直に長老を招集し、右回答を中心に協議中である

組閣經過を

丸山氏より發表

【東京二十四日發】丸山鶴吉氏は本日午後八時組閣經過に就き左の如く發表した

齋藤子は本日陸海兩相鈴木高橋の諸氏を訪問孰れも組閣に就き諒解を求め援助を約された、尙若槻氏は昨日入閣の諒解を得入選は電話にて諒解を求める他の閣僚も會見を求めなるべく今夜中に交渉する事になつてゐる

林大將急遽東上

【京城廿四日發】林朝鮮軍司令官は昨夜、荒木陸相よりの招電に接し今朝十時七分龍山驛發急遽東上

林軍司令官に招電

【東京二十四日發】林朝鮮軍司令官は陸軍中央部の招電により近く上京する筈である、右は武藤教育總監の辭任に伴ふその後任就任方交渉のようであるが、眞崎中將の陸相就任が萬一實現せざる場合には、同大將に對して陸相就任が懇請される模樣である

『新内閣を援助する』

鈴木政友總裁より回答

【東京二十四日發】鈴木政友總裁は二十四日午前齋藤子と會見後右に基き各方面と協議の結果同日午後三時内相官邸で齋藤子と會見進んで新内閣援助の旨回答した

陸海兩相決定す

岡田、林兩大將

【東京二十四日發】齋藤内閣の閣員の顏觸に付いては目下頻りに各方面と折衝決定を急いでゐるが陸、海兩相は左の通り決定した

海軍大臣　岡田啓介
陸軍大臣　林銑十郎

猶ほ入閣確定せるものは永田秀次郎、水野錬太郎、山本達雄男、望月圭介、町田忠治

外相に内田伯を交渉

(東京二十四日發) 外務大臣は内田康哉伯に交渉中

「何も來てゐない」

交渉說をあつさりと

―否定した……内田總裁

今も（廿四日午後五時半）その通信を總裁にお見せしたのだが「俺のところには何も來てないぢやないか」と言つて笑つてをられた、事實齋藤子からは何も電報は來てゐない、勿論他の關係のない人からはそんなことも來てゐるが、肝腎のところからは何も來てゐないのだから總裁は全然そうした說を問題にされてゐないよ

内田滿鐵總裁の外相說につき側近者の某氏は語る

外相には松平大使

内田伯の滿鐵退社に

軍部より反對出たため

【東京二十四日午後十時發】外務大臣には駐英大使松平恒雄氏を起用するに決し今夜電報で交渉を開始した

【東京二十四日午後十時發】松平大使を外相に起用するに決したのは第一候補たる内田伯を軍部方面が滿鐵總裁より退かしむるに反對せるためである

高橋藏相、正式に

留任承諾を表明す

【東京二十四日發】高橋藏相は正式に留任を承諾した

前内閣の政策を

變更せぬ約束で承諾

＝高橋藏相談＝

【東京二十四日發】齋藤子は二十四日午後三時五十分高橋藏相を官邸に訪問し鈴木總裁との會見顚末を說明藏相の留任を懇請した結果高橋藏相はこれを諒とし卽座に留任を確答、四時五十分齋藤子は辭去したが高橋藏相は語る

藏相留任を確答した今日午前の齋藤子、鈴木總裁の會見で前内閣の政策を變更しないといはれ殊に臨時議會提出案は大藏關係案にして財界の基礎を造るものであるから私が說明し議會を通過せしむる義務があると考へたからである臨時議會終了までといふ樣な條件はない

政友會よりの入閣

高橋氏を含めて三名

結局折れた鈴木政友總裁

【東京二十四日發】二十四日午後の齋藤子、鈴木總裁の會見に於て先づ齋藤子より「政友會よりは高橋氏を加へて三名入閣せしめられ度い」と要求し、是に對し鈴木總裁は

高橋氏は黨と無關係に入閣を承認せるものであるから政友會としては高橋氏とは別個に三名の入閣を希望する

旨開陳したが齋藤子としては組閣方針上政友會から四名入閣せしむる事の不可能なるを說明諒解を求めた結果高橋氏を含め三名、齋藤子の詮衡を鈴木總裁に通告して入閣せしむるに決定した

齋藤子、陸相を訪ひ

組閣問題で懇談す

新内閣に好意を示す陸軍

【東京廿四日發】齋藤子は廿四日午後一時半永田町陸相官邸に荒木陸相を訪ひ組閣の大命拜受の挨拶を述べた上

國家非常時に際し自分の如き其の任に非ずと思ふが一旦拜受した以上は粉骨碎身最後の御奉公を爲す決心である

と決意の程を披瀝し更に滿蒙問題の解決農民勞働者の救濟その他重要問題に就き齋藤子は自己の政策を開陳して陸相の意見と援助を求め最後に此の時局に際し之等諸政策を實現するには是非とも貴下の留任を必要とする旨を述べたが荒木陸相は之に對し不祥事件に就き一應の說明を爲した上、新内閣に對する政策上の希望を述べ最後に留任問題に就き三長官會議の後、回答するが自分が留任しない時は適當な人物を後任に推薦すると答へた、尙種々と懇談を重ねて齋藤子は同二時四十五分辭去した、右會見の結果新内閣に對する陸軍の認識も略定つたもの丶如く陸軍部内の空氣は同内閣に對し著るしく好意的となつた

陸海兩相を

齋藤子訪問

【東京二十四日發】齋藤子は昨日上原元帥の勸めを受けたので午後一時荒木陸相を訪ひ次で大角海相を訪ひ陸海軍部内の現狀を聽取す

海相内相を

訪問

【東京二十四日發】齋藤子は本日午後二時四十五分大角海相を海軍省に訪ひ約三十分會談、三時十五分辭去し二十分霞ケ關内相官邸に鈴木政友會總裁を訪問した

永井氏入閣

【東京廿四日發】湯淺、丸山兩氏は廿四日午後十時記者團に對し閣員の詮衡は明日中に終り明晩までには親任式を奏請の豫定であると聲明した、なほ拓務大臣は永井柳太郎氏に決定し町田忠治氏は入閣せぬ　内閣書記官長は樺山資英氏が最有力である

鳩山氏文部

三土氏鐵道に

【東京廿五日零時二十分發】文相、鐵相は左の顏觸れに決定した

文部大臣　鳩山一郎
鐵道大臣　三土忠造

なほ望月圭介氏は入閣せず

政策が相違せば

出身閣僚を引揚げる

齋藤内閣と鈴木總裁

【東京二十四日發】齋藤内閣に對する政友總裁鈴木氏の決意は「此の際内閣流産の名を免れしめる爲め援助を與へるが、政友會の政策と異るものを實行する時は國家の爲め之に反對し政友會の閣僚を引上げしめる」と云ふにある

閣議で決定した

爲替管理案

近く法律案を作成

【東京二十四日發】高橋藏相は二十四日の定例閣議に爲替管理に關する法律案の趣旨を說明し承認を經たが未だ法案としての體系を備へて居ないので大藏省に於いて直に法制局と協議を開始し兩三日中に法律案を作成する事となつた要項左の如し

▼内外資本の移動取締りに關する法律案

一、資本の輸出を目的とする外國爲替、外國貨幣、外貨證券の賣買、信用の發行は命令の定むる處により大藏大臣之れを制限し又は禁止する事を得

一、外國爲替、外國貨幣、外貨預金、外貨證券等を所有するものは其の細目を大藏大臣に申告すべし所有資產に移動ありたる時又同じ

一、大藏大臣は必要に應じて外國爲替、外國貨幣、外國預金、外貨證券等の所有者の資產内容を檢査する權能を有す

一、右各條項の違反者は三年以下の禁錮取引額の二倍以下の罰金に處し又は沒收す

滿洲事件費公債

五千萬圓を發行

【東京二十四日發】政府は二十四日滿洲事件費公債額面五千萬圓發行する事となつたが其の要綱は左の如くである

（公債名稱）五分利公債
（第三回發行額）額面五千萬圓
起債根據法、昭和七年法律第一號第一項
（發行價格）額面百圓に就き八十六圓八十錢
（償還期限）昭和十一年迄五年据置き同十二年より五十年内
（利率）年五分
（初期利子）昭和七年六月一日渡額面百圓に就き十二錢
（發行日）昭和七年五月二十四日
（發行方法）預金部其の他引受
（利廻り步合）單利六分三毛複利五分八厘

『皆が手を繫いで

新内閣を助けねばならぬ』

會見後　荒木陸相談

【東京二十四日發】齋藤子との會見後荒木陸相は朗かな面持で語る

今日はお互に顏を見たばかりの樣なものだが齋藤子の考へは此方が全然同意だと云へる位一致してゐる、どんな話が出たかその内容は云へない自分に留任を進めるとか後任を推薦するとか云ふ話が出たか否かは云へないが此の問題は三長官會議が陸軍が總意をくんで決定するのだから其の後でなければ判らない自分の留任如何は未だ決つてないが此問題が義理人情や大義名分などに深い關係を持つから自分でも見當がつかぬ　上の御旨に副ふて決するのみ陸軍大臣問題は回答を保留してないから三長官會議で決定し之を軍事參議官に報告した上で返事をする、齋藤子の考へは誠に結構だからこれから政友會も民政黨も貴族院も軍部も其他皆が手を繫いで助けて行かねばならぬ、此の内閣に陸軍大臣を起用について軍部から條件を附け樣と思はぬし、附くべきでもない

臨時議會の

法律案決定

【東京二十四日發】二十四日閣議は臨時議會に提案すべき左の法律案を決定した

一、兌換銀行券條例中改正法律案
一、國債の價格維持に關する法律案
一、日本銀行納付金法案
一、日本銀行參與會法案
一、資本の海外逃避防遏に關する法律案
一、昭和七年度一般會計歲出の財源に充つる爲め公債發行に關する法律案（赤字公債に關するもの）
一、昭和七年度以降國債償還資金の繰入れ一部停止に關する法律案
一、昭和七年度法律第一號（滿洲事件に關する經費支辨の爲め公債發行に關する法律）中改正法律案

羽田博士歸る

去る十四日海路來滿した京都帝國大學東洋史教授羽田亨博士は約十日間に亘り奉天に於て滿蒙の文書遺物の調査をなし、二十四日出帆の香港丸で歸國の途についた船中にて

この前來滿した際調べた文獻の中、今回事變で散逸したものが大分あつたが、眞に殘念なことだ、だが殘つてゐるものだけでも日滿關係を知るに充分だが、歸國のうへ一層研究して見る

と語つてゐたが、氏は個人として調査の外に、某方面の委囑により奉山沿線に於て發見された某重要文獻について調査を行つた模樣で、確聞するところによれば近古に於ける日滿關係、滿洲支那關係を記した重要なものであると

植田師團長より

松山社長に禮狀

過般上海に於ける天長節式場に爆彈を投げられて負傷せる第九師團長植田謙吉中將に對しては當時松山本社長から見舞電を發するところあつたが、二十四日植田師團長から松山社長宛左の如き禮狀が寄せられた

拜啓今回の負傷に際しては早速御鄭重なる御見舞を辱うし御懇志感銘の至に御座候以御蔭其後の經過極めて順調にして不日快癒致すべく更に再び生新なる意氣を以て御奉公に精進すべく企念罷在候先は不取敢御禮申述度如斯に御座候

植田謙吉

松山忠二郎殿

齋藤子に祝電

滿洲靑年聯盟は五月二十二日齋藤實子に後繼内閣組織の大命降下するや直に左の如き祝意を兼れ激勵電を發した

國家の重大時機に際會し擧國一致の大任を負ひ組閣せらるゝに當り謹んで祝意を表すると共に速かに滿洲國を承認し四頭政治の積弊を打破し統一的對滿政策の確立を期せられんことを翹望す

政友内閣

最後の閣議

【東京二十四日發】政友會内閣最後の閣議は廿四日午前十一時開會關稅定率法中改正案中より新聞用紙に關する項目を削除するに決定午後零時半散會し最後の別れの午餐會を開いてシャンペンを拔いた

レ氏再組閣

【ブラッセル二十三日發】ベルギーのレンキン内閣は全國學校でフランダール語を教授すべきや否やの問題で去る十七日總辭職したが結局レンキン氏が再組閣をした

海軍記念日祝賀

海軍在鄕軍人會大連海友會では二十七日の日本海々戰記念日を期し同日午後七時より大連會館において記念祝賀會開催の筈であると

社說

經濟國難と生活との矛盾

近時の我國情は實に內外多事就中經濟國難の危機に直面して居る。かくの如きは獨り我國のみでなく、世界各國共に苦み惱んで居る共通問題だが、殊に急テンポで日本の前に置かれた重要課題となつた。人心の混亂から發生した不祥事の續出、並にそれが齎らした政局の不安定など、實に一歩を誤らば國運の大頓挫を來すべき險相である。最近犬養內閣の瓦解後、强力政府の出現が朝野の間に提唱され、區々理論を排して實際に卽した政權の確立を仰望させたのも、その因一に茲にある。

◇

唯夫れ政界のこの趨勢に準じて國民自體の反省すべきは、日常生活上の弊風改善である。否な弊風といはんより寧ろ樣式の矛盾であつて、一面財政の缺乏を訴へながら、他面にさうした缺乏を大ならしむべき流風を、無關心で取入れて居ることである。目前の政治的諸問題から見れば、今の國際關係は些細の事件にも互ひに神經を尖らせ易い殊に東洋問題を中心とする日支米諸國間の傾向は、恰も歐洲に於ける佛獨、露英のそれと同じく尖銳化して居る。併し民族の日常生活からいへば、最も心して取り入れらるべき事柄が、殆んど無批判で國人の間に渴仰心を高めて居る。就中米國方面からのジャズ文明の如きは、それが如何なる經濟的道德的影響を各人の私生活に及ぼすかを論ぜず、相率ゐてこれに追隨し、阿附し、模倣して後れざらんことを競ふ有樣である。吾人はダンスや、活動寫眞や、カフエの流行に對して、或る保守論者のやうに頑固な主張を墨守する者でない。併し國民が不景氣の生んだ生活苦を囂々し、或は階級鬪爭、或は思想惡化を嘆息し合ひながら、事の娛樂遊行に關するものは、何は扨て置いても其間に陶醉せんとして居る狀態を甚だしい撞着矛盾だと評せざるを得ないのである。

◇

かうした流行は或る意味に於て文明普及の必然的傾向である切言すれば文明の感化には人類相互の流行が因だといひ得る。併し外來流行の善惡を甄別して之を咀嚼し體用し得ると否とは直ちにその國民精神の健不健をトすべき測定器である。卽ち例を右の米國と日本との關係に採つても、同國が有する文化には公平に追隨採擇すべき長所がある。併し審かに他の社會相を解剖すれば、國內の識者すらその始末に困つて居る弊風があり、健全な富强の實を蝕害する者として排斥して居る流行も少なくない。それを日本國民は無關心に輸入して、自から文明人になった…

ある、國際間に交流する相互の啓發力は、外觀と實質と總てに亘つて浸潤さすべきだが、若しこの消息を究めずして唯だ不生產的流風のみを趁ひ、自家の生產的方面に利用し得べき實質的長所を無視せんか、國民の努力は智識的にも、精神的にも委靡せざるを得ない。之は蓋し最近の世風を慨嘆し、國民生活の不安を憂慮し、更に海外發展の必要を高唱する者の、均しく深省熟考すべき重要問題の一ではなからうか。

滿鐵正副總裁には
主に鐵道問題を質問
二十六日來連の調査員

聯盟調査團一行は二十五日夜奉天發大連に向ふが、內田滿鐵總裁、八田副總裁と會見の內容は鐵道問題、滿蒙一般の經濟問題に關して相當深い質問を發する模樣で、殊に鐵道問題に關しては日滿兩國の關係および未設鐵道について詳細なる聽取を行ふ筈、八田副總裁はこれがため豫定を變更し二十五日夜八時半長春發の列車で歸連することになつた、委員一行は約一週間大連に滯在し再び歸奉、チチハル調査の專門委員一行と合體の上撫順、鞍山および瀋海線、奉山線を視察の豫定である【奉天電話】

八田副總裁を招待
鄭國務總理が

滿洲國々務總理鄭孝胥氏は二十四日午後一時八田滿鐵副總裁、山崎總務部次長、宇佐美奉天事務所長木全文書課員、白井長春鐵道事務所長、檜間長春地方事務所長六氏をヤマトホテルに招待し午餐會を催したが滿洲國側より總理の外謝外交部長、駒井總務長官、丁交通部總長、張實業部總長等各部總長金市長その他首腦部出席し同二時半まで會談して散會した、駒井總務長官は閉宴後八田副總裁と別室において會見するところあつた【長春電話】

八田副總裁
二十五日歸連

奧地に赴いてゐた八田滿鐵副總裁は聯盟調査員來連のため豫定を繰上げ山西理事を伴ひ二十五日二十時着の列車で歸連の筈

中食後、尚二時間
森島領事と會見續行
學良政府の惡政を聽取

國際聯盟調査委員は二十四日晝食後二時より引續き森島領事より事變前後の出來事に就き事實を追ふて說明をなし、本溪湖の石灰山事件、通遼の農場事件、不完備なる司法行政の實情、不換紙幣發行及び莫大なる軍費の實情、昨年五月國民黨會議に東北より代表者を送る場合、民衆の意志によらず學良の推薦による事實、また營業稅の不當なる徵收に對して東北民衆が財政廳に押かけ、苛斂誅求を訴へたる事實等舊東北政權の如何に民意に反せるかの諸事實を陳述し更に、大連の二重課稅問題、盛京時報壓迫事件、其他主なる事實の說明、また事變後の奉天に於ける電話、電信、水道の處置經緯につき眞相を語り、委員側は北平に於て誤れる宣傳を聞き込めるに對し森島領事の說明によつて眞相が判明し深く諒解せる模樣であつた、最後に舊東北行政全般に對して森島領事より見解を述べ軍閥の專橫舊東北政府の惡政に對して深く委員等の注意を喚起した、會見は午後五時に終つたが委員と森島領事との會見はこれをもつて終れるものである【奉天電話】

大連着以後の
聯盟調査員一行の旅程

聯盟調査員一行の日程は左の如く發表された

▲廿六日　午前七時四十分大連着午前十時リツトン卿、ランプソン公使と會見、專門委員と滿鐵側專門係員と會見、午後大連市有志と委員會見
▲廿七日　旅順行關東長官訪問
▲廿八日　午前滿鐵總裁と會見、午後資源館、工業館、其他見學晚餐宴滿鐵總裁招宴
▲廿九日　自由行動
▲卅日　午前大連發赴奉、途中鞍山下車
▲六月一日　撫順見學、四五日ごろ錦州を經て北平に向ふ、北平二週間滯在、廿五日迄に日本に到りて滯在

滿鐵決算說明
拓務當局に對し

【東京特電二十三日發】滿鐵本社の大垣主計課長は長廣、岩永兩課員と共に十九日入京廿一日關東廳出張所において西山財務部長と會見、滿鐵六年度決算につき報告しその內承認を求め引續き拓務省大藏省に對し決算內容を逐一報告說明中である、廿三日拓務省殖產局において決算の內容を說明し大體…

大滿洲國展
關係者座談會
本社主催、白木屋で

【東京特電廿四日發】大滿洲國展は既報の如く大成功裡に幕を閉ぢたが之を機會に我社は滿洲問題のエキスパートを白木屋七階廳の間に招待し「滿洲經濟問題座談會」を開いた出席者は

關東廳財務部長西山左內、東拓理事中島誠一郎、海外興業專務龍江義信、國際通運管理課長豐住照日出、陸軍省新聞班長古城胤秀大佐、白木屋專務山內仁藏同取締役梅田謙次郎、總務部長、橫地信雄、通信販賣係長田丸鎮勇、催物係長白杉政德の諸氏

で我社側から井上支社長、秋山事業部長、山田支社通信部長ら出席午後六時開會、先づ井上支社長より座談會開會の主旨を述べ秋山進行係となる、斯くて最初の問題、財政金融制度につき西山財務部長の意見あり該博なる新智識、最も新らしき事實によつて滿洲國の現狀、將來に關する觀測を述べ一同傾聽、山田白木屋專務、中島東拓理事等種々意見を交換し、次いで日滿經濟の統制に就いて諸氏の見出で、日滿經濟統制連絡の上りいふも一日も早く金本位にすることが肝要だとの意見もあり、關稅に就き、互惠制度、特惠關稅制度等を作り、內地事業家の滿洲進出に便利を圖る必要ありとの意見も出た、次で中島東拓理事より東拓の滿洲に投資せる事業等につき紹介あり工業鹽、石炭、羊毛、綿等の問題も出て、古城大佐の快なる對策意見あり、八時すぎ移民問題等に移り西山、山田、丸、橫地氏ら交々意見を發表し談的氣分漸く盛になり龍江專務の移民論の概說、豐住氏の概括的批評あり井上氏の挨拶あつて午後十時散會した

民政署會計檢査

大連民政署の會計檢査を行ふ會計檢査院津座檢査官は二十四日から大連民政署の會計檢査を行つたが二十五日終了の筈

滿洲國民衆委員會
國務院に設立認可申請

滿洲各省代表者によつて大滿洲國民衆委員會が組織されたが、これは人民をして各自その正業に就かしめ以て秩序を維持し滿蒙の基礎を鞏固ならしめんとの趣旨にもとづいたもので、この程この規約條項の作成を終つたので二十三日國務院にこれを提出認可方を申出た【長春電話】

大連市吏員の新採用

大連市役所では行政整理により吏員の缺員を來したので之れを補充すべく各方面から集つた履歷書により人物詮衡中であつたがいよいよ二十四日中に決定を見たので二十五日に發表し辭令交附の豫定である、因に補充さる吏員は十二三名である

南滿瓦斯總會

南滿瓦斯會社では來る三十一日午後二時から…六年度下半期決算…利益金處分案を附議する總會を開催する

國民は此う見る
櫻　霞　散　人

◇ファッショ運動や、議會政治政黨政治否認の運動漸く熾烈なるに當つてや、其禁遏、對抗の命令又は宣傳が頻りに飛ぶ。其言ふ所を綜合するに、畢竟「國民の政治知識、政黨認識の不足」を責むるもの〻樣で有るが、ジヨウダンちやない。

◇政友といはず民政といはず、今の政黨なるものは一體何を爲し…

滿鐵會計檢査
廿九日より開始

日滿年少學生の
混合教育を實現したい
來連した吉利青島學院長談

納稅證制度を設け
家畜の賣買を取締る
滿洲國の家畜保護策

支那人は…

意義の深さ
四日間の生活
大連二中軍隊宿泊便り（第一信）

南洋發展の邦人苦しむ
日支事變の祟り

劉明朝氏歸臺

名古屋市議團けふ離連

中村中將來連

武安氏送別宴

人事

大觀小觀

市況

株式
當市弱保合

特產
大豆強調

商品
麻袋高値

綿糸保合

錢鈔
林料軟弱

奧地市況

市場電報

家庭欄

子供が大よろこびの それはおもしろいカニ釣り

釣の妙味 さて何處へ……(下)

家族連れの樂しみに 夜明け陽の入りの太刀魚釣り

この頃市場へ出てゐるあの大きな蟹もボチ／＼これから夏家河子で釣れます。これは糸の先に牛肉の小片をしばりつけておもりをつけ岸から五六丁沖に糸をおろします蟹がしつかり肉をはさんだ時船を岸までもどして蟹を海岸に引よせ網でしやくつてとるので、子供には特によろこばれます。關東州内で一番おもしろいのはチヌ釣で

これは關東州の沿岸ほとんど全部で出來ます、ことに多いのは旅順の双島灣や柏嵐子、旅順港外、柳樹屯、十一月頃には小平島や老虎灘附近で面白いやうに釣れます。これから釣れるのは四五寸のもので秋になると七八寸にもなりますが、船からばかりでなく岡づりも出來ます、チヌ釣りは竿で人造テグスの先へ本テグスを一本つけ、その先へ小さいおもりをつけて針をつけゑさはゴカイを用ひます、小さいものは砂原の岡に近いところでよく釣れますが、少し大きいのは底が細い小石原で藻の生えてゐる所に集つてゐます、岡べりはチヌ釣の外に普通は

メバルやアヒナメの小さいものを竿で釣るので大連港の防波堤の外側など初心の人には最もよい場所です、この他大物釣りで愉快なのはヒラス、スズキ、サワラ等で、ヒラスの大きいのになると一尾二貫匁から二貫五百匁もあり糸一本ではなか／＼釣れません、この最もいゝ方法は潜釣りといつて、針に鳥の羽、海草、フグの皮、三味線の皮などで造つた擬餌をつけて海に投り込んで發動汽船で早く走ることで、かうしますと

魚が非常な勢ひでとびついて來ますから樂に釣れるのですこの潜づりは元の滿鐵衛生課長の金井さんが最もお得意でした、潜づりといへばこれから出て來る太刀魚も潜づりが一番よくかゝります、これは太刀魚釣り用の特別な釣具がありますから針にどぢようをしばりつけて海の上へ流し乍ら船を漕がして喰ひついた所を引つぱり上げるのです、これは日中や夜は駄目で夜明けや日の入りの約一時間ばかり間が釣り時ですが、女にも子供にも容易に釣れる上にかさもありますから家族づれのたのしみによいでせう、場所は

老虎灘から星ケ浦の沖、ロシア町海岸から一文字附近に多いのです、しかし沖づりは船に弱い人には絶對に禁物ですから何處までも岡づり専門でお進みになることを希望します

あなたの帽子は

しつくりお似合ひ…… 横から見た恰好は……? おぐしの結び方は……

これで斷然シークに

ショーウインドウに飾られた殿方のカンカン帽に色とりどりの輕快な婦人帽は淸々しい夏の氣分を現す快よいものゝ一つでせう、で殿方のカンカン帽は際立つた流行も見えませんのに流石に華やかなレデイものはめまぐるしい變化を見せてゐますが、次に帽子の求め方、被る時の髮の結方、被り方などについてアラモード帽子店主のお話を御紹介いたしませう。

▼…大連の お婦人方の洋裝は大分洗煉されて居り、デザインなど非常に凝つたものを召して居られますが立派な服裝に比して帽子には少し無關心の氣味ちやないかと思はれます、帽子を求められる場合第一考へておかなければならない事は、店頭に飾られてある帽子が如何に變つた流行の型でありましても、それを被つて見てそれが自分にしつくり合ひその人の個性にぴつたり合つてゐるかを見ることです、次に

▼…サイズ です、ゆるからす、かたからず召し心地のよいものを選び、品質の精選されたもので耐久力のあるもの例へば最近流行してゐます麻製の帽子は、クリーニングも利き、又ペーパーに糊引してある帽（ちぐさ）など裏返しも利きまた強く經濟的と思ひます、普通帽子を求められる方はいつも顏の恰好だけを注意され横の恰好には割合に無關心のやうですが帽子は顏と共に襟足に快よい感を出すことが最も大切ですから、ツバにもつと意を注がれて欲しいのです、ツバの如何によつて身體全體を引しめたり、又滑稽な感を出したりします、一體に顏の長い方はツバの長目のものを、短い顏の持主は短いツバのものを用ひますと襟足がすつきり現れて短所を補ふことができますからその積りで求められたらよいでせう、次に

▼…被り方 です、最近ヴエレーが大分被られてゐますがこれはアフターヌンのものですが夕方の散歩には又輕快で相應しいものです、でヴエレーでの被り方ですが、これは帽子が帽子だけに少し一方に寄せ氣味にかぶり横の方にダブラせますと可愛くまた捨てがたいものです、これを正直に眞つ直横に少しも傾けず被つたらそれこそさつぱりです、この帽子のもつ獨得の感は失はれてしまひます、又耳に髮の毛を挾んで耳を現はにしてこの帽を淺く被つてゐられる方を多く見ますがこれではフラッパーを思はせ餘り面白くありません、次には、普通婦人帽の

▼…被り方 ですが、その前に髮の結び方に意を注いで欲しいと思ひます、外人は帽子を被り易いやうに結んでゐますが日本婦人も洋裝される方は帽子に相應しい結び方をされて欲しいのですそれには先づ前部を好みにより七三か、六四に分け多い方に澤山ウエーブをかけて形を作り根は心持高くとり、髷は小さいので二圓位で止めて、髷は後頭の低くなつたところに平にうすく卷き出來るだけピンを避けお下げに用ひます留で止めるやうにしますと帽子をピンで突き破る恐れもなく、また格好もよいものです、被るときは別けた髮の多い方を額から二吋位現はし少い方は少し出す位にして被りますと淺からず深からず大抵の方に似合ひ無難だと思ひます

▼…帽子は その種類によつてそれ／＼被り方が違ふもので、ツバなしで額のところをピッタリ上にあげて少々裝飾を施してあるものは心持ち横に模樣をやりますとシークになりますが、ツバ廣のものは眞正面に被るに限ります、後部の顋にくつゝく部分を顋より離しますと少し拔けた感になりますから後のつばはピッタリと顋にくつつけることです、肉付のよい人や頰骨高い人は前のツバが上り横の出たものがよく顏の小さい方は横が丸味を帯び少し開き加減になつたものがよろしいのです

▼…ツバを 二吋ほど出した上り加減のものをといつた風に選ばれましたら無難です、帽子を脱いだ時の注意ですが決してツバの方を下にしておかれないことです、さうしますと型が壞されくるつて來ますから下におく場合は必ず横において下さい

32年の海水着

第十回オリムピックは七月末からロスアンゼルスで盛大に開催されますが主催地では

今はから熱狂的に之れが歡迎やら宣傳やらで大童の態、それに流行物まで出來てトテも大人氣だ、東京ではこれから……といふ程度の裡にも各デパートではそれ／＼計畫中とありますが、その中に逸早く松屋で賣出したのがご覽の通りの海水着なんです生地は純毛ゴム編、色はスカート小豆色、上オレンヂ、柄はハギ合せ下二ツ小豆と黄、上二つ白と黄のオリムピック・マークといふわけ、値段は五圓四十錢位ださうです

乳兒養護（下）

旅順醫院小兒科部長醫博　玉置周介

身體に異常のある場所に於きまして其の部分が何處であらうとも關係なしに其異常を取除くためには普通卽ち生理的以上の働きをなさなければならなくなつて參ります。一方に於て生理的以上の働きをなしますと他方には生理的以下の働きをなさなければならぬ樣に影響されます。この理由を姙婦の場合に押進めて參りますと胎兒に於きましては大なる營養の配給不足を來して參ります、然しその影響が只一時的のものであつて短時間の間にその影響が取除かれて參りますと、後にはその影響は殆ど何ものも認めないで健康の狀態に復して參りますが若しその影響が長い間或は同じ間隔を以て反覆して來る樣な場合であつたならば姙娠の場合にその精蟲及び卵が健康な異常のないものによりまして受胎した受胎卵でありましてもその長い間には是等の影響によつて胎兒の何處かに缺陷を生ずると言ふ事は明かになつて參ります。まして始めから缺陷のあつた場合には其部分を除外しやうとしても除外作用が充分に働き得られないと云ふことの爲に遂には生れ出たる後には畸形として生れなければならない狀態になるのであります。實際問題と致しまして我國一ケ年間に出產平均數は二百萬を突破して居ります。其の内に一年間に於て先天性弱兒のために死亡する割合は其の一部卽ち二十萬に達して居るのであります。

× ×

尙其の他に不完全ながら生れ出でたと致しましても或疾病に依り直接の原因は呼吸器病とか或は消化器病に致しましてもその個體卽ち子供そのものに先天的に存在している根源は先天性異常と云ふ事の爲に死する場合更に出產の前後に於きまして約一年間母性及其の家庭の經濟問題と云ふ事が加つて參りますと單に之は母のみならず男性に於きましても詰り肉體的、精神的異常と云ふ事は人爲的に生れ出でた後に於きましては一本の毛の縮れて居ると云ふ事さへも直し得られないと云ふ事をお考へになつていたゞいて異常は主として母性に依る事が多大でありますが男性におきましてもこゝに日常生活に何の障害と云ふ事も今日現在は認め得られないと致しましても一度或る種の病氣卽ち例を擧げますと黴毒と云ふ樣な傳染病に罹つた事がありましたならば現在は外觀に少しも現れて居ない健康狀態でありましても現在の醫學の證明し得られる範圍に於て完全に治療しおかなければならないのであります。殊に近來「アメリカ」に於て或學者は酒呑みの子孫にはその子供は二三代は惡い、卽ち祖先の形と云ふものを全く變てゝしまつて新たなる個性がこゝに出來ると云ふ事を證明してゐるのであります。

× ×

卽ち肉體的精神的にも自分の姿を受けた所の子孫は生活し得られない狀態が母體から出た時、或は生後に異狀を持つてたとへその異狀が肉體的の畸形として或は又一定の日數がたちまして精神的に低能兒、變質兒或は神經質兒と云ふ狀態でありまして家庭に於て他人には口を出す事の出來ない樣な瀕にむせぶ時に眞に親として、母性として男性として自分を省みまして、兩親の素因、生理的な狀態及び現在の環境と云ふ事、是等色々の動機に依ります所の死產兒、或は早產兒、更に子供、その根本をなす精蟲、卵と云ふものに興へる影響に對して向上し優秀な發達を求め得たならば自分の姿、自分の肉體的或は精神的の狀態が科學的に現在より永久に生きまして自分の家は榮え新民族は發展し亡びないものと私は深く深く信じます

滿日各地版

金山好なほ生存し頻りに鐵嶺縣を騒がす
日滿兩國で討伐の準備中

【鐵嶺】金山好、方振國の戰死說以來全く平穩に歸し兵匪出沒の噂も聞かなかつた鐵嶺縣下に最近又復警報頻りに傳はり而も金山好生存說有力なると共に其總指揮は金山好なりといふ說が多く日滿官憲極力警戒中のところ二十二日午後十一時頃大高力屯公安隊より

金山好　の一團二百名目下小高力屯に滯在し密偵を鐵嶺城內に潜入せしめ警備狀況を偵察せしめ城內襲擊を畫策中なりとの情報あり續いて金山好の部下二三百名大刀會匪百餘名と共に中固附近を襲擊せんとする說ありと傳へ更に長銃拳銃の外四挺の輕機關銃を有する有力な部隊及白布に金山好と記せる腕章を卷き平頂堡驛東方八支里楊樹溝に侵入したりと報じて來た次で第七區公安分局より金山好の部下騎馬二百大高力屯に侵入せり等々警報頻りなる爲め守備隊や警察では眞夜中にも拘らず出動準備を整へるなど一時非常に緊張したが平頂堡に出動せる警官七名の偵察報告により形勢急迫の模樣なきを以て出動は一時中止となつたしかし鐵嶺東方に

兵匪の　蟠居せるは事實なるもの、如く大高力屯居住の于某は二十一日開原縣城に於て賊團に捕はれ平頂堡鐵嶺附近一帶の警備狀況を詳細に亙つて訊問した上大高力屯、平頂堡、山頭堡の村長に宛て脅迫狀を傳達するを條件として二十二日放還されて來た脅迫狀には近く襲擊するにつき金品を準備すべしとあつた、斯の如く各地の情報著るしく不穩なる爲め鐵嶺縣政府では各公安分局を督勵する一方奮陣堡の

公安隊　七十名を鐵嶺東方熊官屯に出動警備せしめ縣公安隊長以下四十名は二十三日大甸子に出動し日本側守備隊警察隊では何時でも出動し得る準備を整へた

長岡○隊 劉家屯へ

【鞍山】二十二日牛莊方面に出動した鞍山守備隊長岡第○○隊は匪賊逃走の爲め海城に於て待機中の處賊團約七十名は昨夜また太子河を渡り海城縣劉家屯を襲擊して來午後二時より海城縣城顧大隊長宅にて盛大に舉行され日本側よりも多數參列した

『直魯救國軍』の腕章を附した兵匪軍
鐵嶺の東方に潜入す

【鐵嶺】二十二日夜約六十名の兵匪は鐵嶺東方二道溝に侵入徘徊したるが、彼等は何れも金山好の部下と稱し輕機關銃を有し左腕には「直魯救國軍」と記せる白布を卷いてゐる、急報により熊官屯に待機せる公安隊は二十三日宿老屯に集結し討伐を開始したるに彼等は早くもそれを知り大盤嶺方面に移動を開始したるが或は柴河溝を經て下肥地方面に向ふやも知れず本署では直に下肥地鮮農現地保護の警官隊に嚴重警備を命じ大甸子では坂元警部補指揮の下に日滿警官協力し北方高地に據つて警戒を嚴にしてゐる

顧大隊長、戰死す
優勢な賊團と奮戰して

【鞍山】匪賊頭目三勝、長勝の率ゆる賊團約三百名は二十一日午後一時海城縣耿庄子に於て海城縣顧討伐隊長の率ゆる一隊と交戰し賊は北方に逃走し二十二日午前五時頃鞍山西方五十五支里の遼陽縣新臺子附近に現はれたので同部落民は六、七十臺の荷馬車を以て騰鰲堡に避難中であるが此の交戰に於て重傷を受けた顧討伐隊長は二十二日午後七時頃遂に死亡したと

戰死した顧大隊長の盛んな縣葬

【海城】老北風の率ゆる大刀會紅槍會の敵匪七百と手兵僅か五十を以て奮戰し壯烈な死を遂げた顧海城縣公安大隊長の縣葬は二十三日

特產市場と公主嶺の將來
公主嶺取引所專務　大岩峯吉（三）

更に一轉して滿洲特產物の將來は一體どうなるだらうか、滿洲の國家は新に成立した。此の新國家は差當つて、農を大本として國を立て行くより外はないと云はれてゐます。滿洲の農業は大豆、高粱粟其他を以て主要物產としてゐる此後とても此の主要物產には異りがないものと觀ることが妥當であります。蓋し新しく國家が出來たからとて假に產物が變る筈がない。況んや滿洲の土壤が就中大豆耕作が最も適してゐると云ふ話であるからです。そうすれば新國家に於ても必ずや農に對する獎勵策を行ふに相違ない。此後滿洲における農產物は益々多量になるでせうし、農家の增收に因る收穫物は必ずや市場に出廻つて來るべきは當然の話ですから、從つて特產物の商取引は愈々殷盛を極むることは疑がないと想ひます。結局滿洲に於ける特產物取引の將來を概念的に考察して見るに、少しも悲觀することはないやうに歸納せらるるのです。

◇

廣く滿洲全體から觀て特產物取引の將來は多事だとなつた時、然らば特產物市場としての公主嶺の將來はどうなるでせうか。取引の旺盛を期するには、其の對象である物件が豐富でなくてはならぬが、對象物件たる特產物は從來通り公主嶺へ出廻るでせうか。私は假令全滿の鐵道が滿鐵の管理經營に委せられても、既存の併行線が依然として其の儘である以上は公主嶺へ出廻る特產物の數量は前に申述べたやうな全盛時代の如くには行くまいと思ひます、卽ち出廻り數量は減少するでせう。然らば出廻りは皆無となるだらうかと云ふに、それは固より皆無とはならぬ。例令併行線があつても公主嶺へ出廻ることが自然である、分野卽ち地域もあるからです。現に支那鐵道の敷設開通後は出廻り數量が激減したとは云ひながら、なほ相當數量の出廻りのある事實に徵しても自明の事であります。而して此の分野は大體北は大黑林子から懷德、西は北城子を經て楊大城子、檢樹臺、東は伊通・營城子を經て、南、大小孤山に跨る地域であるとせられてゐます。

◇

然らば此の地域內より、從來何程位の特產物が公主嶺に出廻つてゐたか、更に向後此の地域內に於て特產物の增殖を策し得るや、又出廻り數量を增加せしむる可能性ありや等が緊要の問題となるのです。此れに依つて一應公主嶺市場の將來が卜される譯です。而して此の地域の既墾地面積や未墾地面積等の調査統計は區々であつて、正確なるものが遺憾ながら今のところ得られないが、從來此の地域から公主嶺へ出廻つてゐたものは大體大豆九萬一千噸、高粱四萬六千噸、雜穀一萬三千噸見當でしたこれ丈は向後とても公主嶺へ出廻るものと觀てよいと云はれます。而しこれ丈の特產物の出廻りがあり且之を基礎に旺に先物に賣繫ぐやうにすれば、特產物市場としての公主嶺の將來は必ずしも悲觀ばかりするにも及ばぬものと信じます。

◇

現在でも院內在荷は大豆、高粱その他取混ぜ常に二萬石內外は何時もあるやうですし、現物取引は相當に行はれてゐる。此處に問題であるのは、當地の糧棧は近來單に買注文を受けて、之を現物で賣渡し、どうも先物を扱はない。卽ち從來の如く先物で賣繫ぎをなさないと云ふ事です。此の現象は糧棧をして次第に獨立性と云ふか或は自主性と云ふか、兎に角そう云つたやうな立場を捨て、從屬的な方面に轉換して行くのではないかとも想はれます。若しそうだとすれば、此の現象は公主嶺として相當攻究の餘地あるべき問題だと考へられます。

◇

以上は私の觀たる特產物市場としての公主嶺の將來を、思ひ出づるまゝに簡直にお話たのです。けれども、それは單に公主嶺の現狀に則してお話したものに過ぎないのです。乍併翻て滿洲の新國家が成立して、日滿間は從來と異る關係に立つに至つた事、新なる運輸系統が樹てらるゝ氣運に向つてゐる事や、中央銀行の新設と共に漸次正貨の統一が企畫せられてゐる事、等々卽ち滿洲の新局面を大觀するときは、多少其の間、趣きを異にするものがないでもないのです。蓋し事物總て時代の流れに卽して行く事が天則と考へらるからです。眞個にそうであるならば在滿の既存、新設諸機關に於ても此の新局面に順應するやうにしなければならぬ。

◇

滿洲の新局面から觀た公主嶺の展望、當會社などの將來觀に付いては餘り話が長くなりますから、他日又機會がありましたらお話をする事に致しませう（終り）

學校を設けて縣長さんを訓練
立國精神と施政方針を認識される奉天省公署の新試み

【奉天】奉天省公署は全省五十八縣の縣長に對し新國家の立國精神と施政方針を認識せしむるため訓練學校を設置し各縣長を之に入れて六ケ月間教育することになり目下學院の組織を急いでゐるが六月中には成立し全省縣長を半數づゝ交代に入學せしむる筈である

在滿邦商の出品歡迎
滿洲見本市

【奉天】滿洲見本市出品申込は去る二十日を以て締切つたが本年は奉天における會場は廣く多數の小間數を容れる餘地充分あるので滿洲國成立後の第一回見本市の重要なる意義に鑑み特に在滿邦商の出品をも網羅せんとし在滿邦商にして滿洲人向の商品を扱ふものに對して出品を歡迎各輸入組合においても勸誘に努めてゐる

京都市見本展示會
奉天で二日間

【奉天】京都市主催の京都市見本展示會が來る二十六、七の兩日午前九時より午後五時まで奉天ヤマトホテル地下室において開催されるが參加商店六十餘、京都特產を網羅し滿洲販路開拓に努める、この準備のために京都市書記渡邊清太郎氏が二十三日來奉した、なほ展示會は新京、ハルビンにおいても開催される

奉天の日滿運動會慰勞宴

【奉天】日滿聯合運動會を終はり慰勞の宴が同夜洞庭春に於て開かれたが村岡樂童氏のタクトで日滿國語の運動會歌を合唱し和氣漲る中にスポーツを通じて固い握手が交された、永年在奉して支那人教育に專心してゐる南滿中學堂の安藤校長此の平和な日滿親交の光景を見て狂氣の如く喜び河村滿鐵社會係主任をとらへて「こんな愉快な事はない、日本の滿洲經營以來の事だ」と涙を流しての喜びやうである、各テーブル毎の隱し藝に移り日本側は支那語で支那側は日本語で大會歌を高唱し中には巧に支那の俗謠を唱ふものもあり此の日洞庭春は日滿兩國スポーツ親善のデモンストレーションを見る觀があつた

キリストの聖旨にもとづいて犯罪
飛んだ質屋に押入つた竊盜

【奉天】市內江ノ島町相互屋質店に侵入し奉天署に逮捕され目下取調べ中の強盜犯人安本義夫（三五）はその後取調べの結果內地各地に於て強盜竊盜十數件を犯し來滿せるもので既に奉天に於ても六件の強竊盜を働いた事實を自白してゐる安本は固き宗教信念を以てキリスト教を信じ自分の犯罪はキリストの聖旨に基いて敢行せるもので唯神のみこれを知り給ふ捕はれた以上は相當長い刑期を覺悟してゐるが、固い宗教心は之れに依つてくだけるものでないと竊取した金錢を遊蕩に消費しながら義賊振つた口吻を洩らして留置室に泰然とかまえてゐる、司法係では尚餘罪ある見込みで兩三日取調べを行つたうへ領事館警察に引渡す事となつた

猩紅熱の猖獗に
鐵嶺の兒童大檢診

【鐵嶺】當地における猩紅熱は益々猛威を逞しうして患者續出し鐵嶺空前の流行だといはれてゐるが滿鐵衛生課では既報の如く技術員を特派し親く情況を視察せしめた結果小學校各教室の大消毒となり更に來月十七日小學兒童五百四十名、幼稚園兒七十名、普通學校生徒二百八十名全部にテストを行ひ十八日を第一回として七月八日までに三回の豫防注射を施し同十八日リテストを行ひ十九日第四回の注射を行つて徹底的豫防法を講ずる事とした

修養團一夜講習會

【大石橋】大石橋婦人聯合會主催で來る二十五日午後二時より二十六日午前十一時迄修養團一夜講習會を社員俱樂部日本間に於て開催する事となつたが沿線各地からの申込もあり時局柄有意義に營まれる事と期待されてゐる、なほ同日は竹之內浦次氏の講演があると

山添會長の辭意で一波瀾の四平街市協
當選した鶴見氏も固辭

【四平街】四平街市民協會の第一回評議員會は二十一日午後八時同會事務所に於て開催出席議員は山添、鶴見の正副會長を筆頭に山口、桂、佐藤、池田、竹村、伊藤、島村、木口、菊地、田中、竹本、中川の十四名先づ山添會長より開會の挨拶につぎ新任議員に希望を述ぶる處あり之に對し木口氏新任議員四名を代表して答辭を述べ終つて山添會長は改めて辭表を提出し

過去九　年有餘ケ月の久しき間絕大なる御庇護と崇高なる御同情の下に會長の席を汚し來つたが最早頹齡其職に堪へず此の際勇退でなく隱退として戴きたい此の上重任を強ひらるゝことは恰も死馬に鞭打つと同樣であるから理解ある議員諸賢の御同情を得たいものである

辭意を飜へさぬ山添會長の態度に滿場失望の空氣漂ひ市協組織變更に際會して會長の辭任は受理し難しと強調する一面には此際會長の希望を容るゝが寧ろ氏に對する親切であるとの異論續出して收拾すべからざる狀態を釀した折柄桂議員の發意で臨機の方法で或機關を設け而して審議の結果會長の辭表を受理するか否やの態度を決すべしといふ建議に滿場異議なく贊成し一應山添會長に別席を乞ひ直に

審議に　入りしが結局後任會長は投票に依りて處理することに決定して投票に問ふた結果副會長である鶴見氏大多數を以て當選したしかし同氏は之を肯ぜず飽くまで辭退したゝめ結局有耶無耶の裡に會長の辭表は正式に受理されず保留することゝなつた終つて常任議員並に會計は全部前任者重任し新任議員の部署振當ては常任議員に一任するに決定した、尚四平街に駐都隊設置方請願に關しては來る六月上旬山添、佐藤在郷軍人分會長、林地方委員議員らの三氏本庄關東軍司令官を奉天に訪ふことに決定した最後に平岡書記より最近四平街を視察する團體に對し夫々便宜を與へし事項並に軍隊歡送迎に關する回數等を報告して同十一時散會した

鞍山鮮人會總會

【鞍山】鞍山朝鮮人會では二十二日正午より南一條町金元奎氏方に於て第七回定時總會を開催し昭和六年度會計報告、事業報告を爲し左の事項を協議し役員の改選を行つた、會長は金元奎氏再選重任、副會長は李承寅氏重任した

一、本會の奧地に民會支部及教育機關たる書堂を速に設立の件
一、朝鮮人に相應なる醫療機關設置の件
一、本會經常費補助に關する件

三姓避難の邦人生死尚不明

【奉天】三姓居住邦人二名は松花江右岸に避難し生死不明なるもその他は全部無事なり民會長香川清氏は密接に日本軍と聯絡してゐるが鮮人はハルビン又は通河に避難

營口舊市街に拳銃强盜

【營口】二十二日午前九時半頃營口舊市街西大街福記金店に茶色ソフトに長衣を着せる三十歳前後の怪漢一名闖入し矢庭に店主に向つて拳銃を擬し金指環十個（時價百三十圓）を強奪せんとしたが家人が此の樣子に驚き騒ぎ立てた爲め件の男は指環全部と拳銃までかなぐり棄て何れかに逃亡した、尚檢視の結果該拳銃は拳銃を模倣した玩具に等しきものであつたと

賊團、馬車を襲ふ

【公主嶺】伊通公主嶺間の荷物運搬荷馬車業徐某は二十一日午前八時三臺の荷馬車に當地復盛東の綿布を積載各一名の客は上乘りをなし出發伊通縣萬丈溝に差蒐るや頭目海北の率ゆる二十五名の馬賊現れ綿布を強奪し三名を人質として拉去逃走した

危なく賊手を免る

【公主嶺】市內市場町商務會副會長方程耀宗は伊通縣に出張其の歸途二十二日の午前十時同縣大楊林を通過に際し潜伏してゐた三名の馬賊現はれ拳銃を擬して停止を命じたるも程は乘馬なので疾驅其の場を免れ背後より猛射を浴びたるも一彈も命中せず無事歸公したなほ楊林中には林中好の率ゆる七十名の賊團がゐたと

全滿優勝楯爭奪弓道會
來る廿九日舉行

【奉天】滿洲醫大輔仁會弓道部主催の第四回全滿優勝楯爭奪の弓道大會は來る二十九日（日曜）午前十時より醫大弓道場において一、開會の辭二、部長挨拶三、矢渡式四、禮射五、競射六、納射七、優勝楯並に賞品授與八、閉會の辭の順序で開催されることになつた、競射は一組五名十射で全滿各地より少くとも十五組以上參加する見込みで未曾有の盛會を豫想されてゐる、なほ優勝楯は林前奉天總領事の寄贈に係り三回とも奉天道場が獲得してゐるが本年は沙河口撫順醫大等が奉天に肉薄すべく勝敗の數逆睹し難いものがある

全滿言論機關時局懇談會

【奉天】大連に昨夏開催された全滿言論機關時局懇談會は來る廿九日午前十時から奉天ヤマトホテルにおいて開催する事となり奉天側では二十二日夜ヤマトホテルに準備委員會を開き各地言論機關に案內狀を發送した右懇談會出席者は約五十名の豫定である

フランス大教司

【奉天】二十三日午後一時關東軍司令部を訪問したフランス大教司ゲブリアン氏は橋本參謀長と面會し滿洲國に於ける布教に就いて懇談した

沿線往來

▲二十日九州帝國大學校工學部長荒川文六氏は視察の爲來錦本日胡蘆方面の視察に赴いた
▲八田滿鐵副總裁　二十三日過奉長春へ
▲閻奉天市長　同歸奉
▲佐堂理事　同來奉
▲桃山報國會幹事花田中佐來奉

累々たる死體を殘して 呼蘭の敵匪潰走す
○○軍總攻擊開始の皇軍 八名の負傷兵を出す

【ハルピン特電二十四日發】呼蘭、松浦方面に集結した○○○軍の殲滅を期して總攻擊の命を受けた岡原○隊は二十三日夜疾風の如き迅速さをもつて全軍松花江鐵橋を渡り、南臺子驛附近に到着するや野砲及び騎兵隊と合し二十四日朝三時頃から前進を開始し松浦附近の敵を側面から攻擊した、これより先三姓方面から河を溯りハルビンの下流三十哩の地點にあつた廣瀨○團の一部隊は二十三日午後四時上陸と共に長驅迂回して呼蘭の北方双井子附近に出で敵の後方鐵道を破壞して退却を防ぎ岡原部隊と呼應して呼蘭を攻擊した、敵は二十三日夜松浦に於けるわが駐屯部隊のおびき出し策に懸つて約五千の大軍は西方に向けて攻勢をとつた、しかるに二十四日拂曉前後からわが有力部隊の攻擊を受け全く統制を缺き呼蘭驛には三個列車を仕立てゝゐたが、後方を破壞されてゐるので列車を捨て算を亂し累々たる死體を捨てゝ西方に向けて潰走し正午前に既に呼蘭はわが手に歸した、この戰鬪に於いてわが飛行士一名敵彈に當つて負傷したほか朝九時迄に判明したわが負傷者は七名である

道路構築の邦人 匪賊に射殺さる
一昨日敦化東南方で

滿洲國より請負つた新道路構築中の吉川組從業員武藤某外二名は工事材料さ苦力を滿載したトラックを操縦して廿三日午前九時二十分頃敦化東南方約三邦里餘りの地點に差しかゝつた際青葉茂る杜林の中より突如躍り出した十數名の匪賊の爲め襲撃されて武藤某は其の場に射殺され外二名の邦人も重傷を受くるに至つたが後方より鐵道トラックの來る模樣に賊はそのまゝ逃走したが死傷者は敦化へ後送し重傷者二名は目下手當中である【長春電話】

木原氏對本社事件
第一回公判

元關東廳警部木原新一郎氏が本社を相手取る名譽毀損事件の第一回公判は二十四日午後一時から大連地方法院第二號法廷に於て小田判官係り小野、木原兩辯護人列席の下に開廷された、事實審理の後小野辯護人より證據準備のため公判延期を申請し午後二時閉廷次回は未定

東支西部線の交通危險に瀕す
國際列車の運行にも支障
東部線方面の被害

【ハルピン特電二十四日發】東支管理局への報告によれば東部線方面における被害左のごとし

横道河子、ボグラ間、愛河磨刀石間においては反吉軍線路を破壞したが地形上修復困難である太平嶺、細鱗河間、トンネル內レール枕木數十本取外され牡丹江鐵橋は爆破され海林以東運輸不能である、牡丹江驛事務所三等待合室倉庫は掠奪され、山市驛倉庫も掠奪された、海林驛宿舍は二十一日全燒、小城子驛附近にて列車は反軍に射擊され乘務員一名負傷、石頭河子驛警備員六名匪賊に拉去された、なほ西部線對青山、廟臺子間においては馬占山はこの區間を占領し線路を破壞してハルビン行三號チチハル行一二一號混合列車を抑留檢査した上通過させたが今後も同樣の暴擧をなすものと見られ西部線の交通は危險に瀕し國際列車の運行に支障を來すこととなつた

鮮人水田を匪賊襲ふ
高麗門東方

二十四日午前七時二十五分頃安奉線高麗門驛東方約一キロの鮮人經營水田に約二十五名の匪賊現はれ耕作中の鮮人一名を射殺、一名に重傷を負はせた、急報に接し高麗門驛より守備兵、警官隊直に討伐に向ひ、賊一名を殪して潰走せしめ同九時五十分頃討伐隊は無事高麗門に歸還した【安東電話】

あすに迫つた大連各學校聯合運動會
プログラム決まる

國際親善と民族融和を意味する大連各學校職合運動會は二十六日午前八時半から大連運動場に於て擧行されるが當日のプログラムは左の通りである

午前の部

一、開會の辭　小川會長「君が代」合唱、放鳩
二、合同體操　初等學校男子(小學校五年以上、公學堂高等科)
三、五月祭　大連女子中等學校生徒(神明、彌生、羽衣、女商)
四、聯盟體操　大連男子中等學校生徒(一中、二中、商業、實業、選講、職教)
五、スミレ　大連各小學校女生徒
六、蹴毬　商業學堂生徒
七、頌建國歌　女子手藝學校
八、體操　中華青年會男女
九、吾等の歡び　初等學校(小、公四年以上)

午後の部

十、器械體操　(一)小學校職員、(二)男子中等學校生徒
十一、踊る日章旗　彌生高女
十二、ラヂオ體操　初等學校四年男子
十三、審美的柔軟體操、我等の飛行機「滿洲號」羽衣高女
十四、高粱の波　大連男子中等學校(一中、二中、大商、大實、職教、選講、商室)
十五、牧人の踊　女子商業
十六、ラクビー、フットボール　工業專門學校
十七、我等の軍隊　神明高女
十八、三千米繼走(赤組、白組、黃組、青組)
十九、旗行進　初等學校生徒
二十、萬歲三唱(閉會)
なほ當日は周水子飛行場より飛行機二臺飛來しラグビーフットボール始球式に飛行機よりボールを投下する事になつて居る

來連した陸大視察團

鮮滿各地を巡り日清、日露兩戰役及び今回の北滿事變等の新舊戰蹟を實地見學すると共に在滿將士を親く慰問した陸軍大學視察團一行六十二名は牛島校長以下教官引率の下に二十四日午後六時十分大連驛着列車にて旅順より來連、杉本滿鐵總裁秘書森本陸軍運輸部出張所長河本兵站支部長等多數の出迎へを受け直に滿洲館に於ける滿鐵總裁の招宴に臨んだがこれより先校長牛島中將は杉本秘書と同道星ヶ浦に內田總裁を訪問敬意を表した、なほ一行の教官十二名は鐵西旅館、學生は陸軍關東倉庫に宿泊二十五日市內見物の後二十六日午前十時出帆うすりい丸にて歸國の途につく筈である【寫眞は一行と校長牛島中將】

陸大校長等を滿鐵總裁招待

內田滿鐵總裁は廿四日夕旅順から來連する陸大牛島校長以下教官、學生一行六十二名を滿洲館に招待し晩餐會を開くが滿鐵側からは總裁以下在連各理事、次長出席の筈

陸大生の見學

陸大生一行は廿五日大連各所を見學廿六日出帆のうすりい丸で歸國の筈

逆橫斷コース
遞信省で許可

【東京二十四日發】遞信省は二十四日米飛行家フーサンシーブラウン氏の太平洋逆橫斷コースによる日本飛來を許可した

奇蹟的に奏功
白川軍司令官の手術

【上海二十四日發】本日白川司令官の手術は奇蹟的に功を奏しメスを執つた後藤軍醫監以下幕僚は大喜びで司令部に引揚げた、別れるに際し田川軍醫正は後藤軍醫監に對し「全く絕望してゐた閣下の容體が奇蹟的に快くなり貴下は神樣の樣だ」と謂つてゐた、軍醫監連は二、三日此の良好狀態が續けば危險期を脫するのでないかと光明を認めてゐる

午後四時容體

【上海二十四日發】軍司令部發表

白川大將は手術後午後三時カンフル注射を施し午後四時體溫卅六度三、脈搏百八、呼吸十八である

十二指腸を切取る

【上海廿四日發】白川大將手術後主治醫は語る

手術により十二指腸、胃部を十サンチ切り取つたが、手術後大將は安眠せられ顏色も良くなつたから今後急變はあるまい

お寺の振舞折詰から中毒
死亡七名、危篤八名
下關光明寺の椿事

【下關二十四日發】去る二十日下關驛前光明寺にて二百の檀徒招待土產に折詰を持歸り食した者大部分二十三日夕刻より發熱、腹痛吐瀉症狀を起し二十四日正午迄に百五十名の罹病者あり更に裾分けを受けて罹病せるもの合すれば四百名に達し午後二時迄に死亡者七名危篤八名を出した、警察は縣衞生課と協力原因調査中である

秋山本社員
AKより放送

【東京特電二十四日發】目下上京中の本社秋山事業部長は二十八日午後六時より約三十分に亘り東京中央放送局に於て「新興滿洲國の解剖」と題し氏一流の熱辯を以て滿洲の現狀を百萬の內地人に呼びかける事となつた

指名犯人六名中一名遂に就縛
農民決死隊員某の秘書と判明
長春から近く護送

農民決死隊の首魁○○○○の搜査に全滿各警察署は一齊に血眼になつてゐるが長春署では過般犯行容疑者として四名を逮捕、領事館に押送取調中であつたが一方同じく容疑者四名と同時に他に一名を萬合公において逮捕、嚴重取調中であつた、これこそ警視廳指名犯人○○○○の秘書の柔道三段○○○○(三二)なること判明し一兩日中に一件書類と共に領事館に押送される事になつた、これで內地よりの指名犯人六名中一名は確實に逮捕されたわけで、近く來長する警視廳小泊警部補外三名は來長と共に身柄を受取り護送する事になつた、因に前記容疑者四名は二十二日夜釋放された【長春電話】

奉天署で嚴戒

帝都暗黑化の首謀犯人○○は長春において行方を晦ましたのち巧に支那苦力に變裝して蹤跡を晦ましたが、數日前、長春署では犯人がハルビンに潛入せる事實を確め數名の刑事を派してゐる、しかし犯人が南下する形跡あるため奉天署では嚴重警戒中である【奉天電話】

次第に洗はれる
農民決死隊長の足取り
逮捕の手配整ふか

農民決死隊の一味の檢擧に對しては依然嚴重を極めてゐるが、長春に潛入したのは首魁○○○○一人なるが如く、彼は○○と市場食堂で會食後○○の宿舍萬合公に十六十七の兩夜宿泊し十八日午前十一時から行方をくらましてゐる、從つて大連方面への逃走はあり得ない、長春署では容疑者四名の所持トランク內を嚴密に整理中の處、一段落ついたが、參考材料として相當有力なものもあり、東京より派遣された警視廳搜査第二課小坂警部補外三名の來着を待つてゐるが、一方多數の往復文書により各地と連絡をとり犯人逮捕の手配を整へてゐる【長春電話】

天津郵務工會も一齊に罷業開始
けふ全國に對し宣言

【天津二十四日發】天津郵務工會は愈々總會との交涉決裂し上海に呼應し二十四日午前五時より全國に向つて罷業を宣言し、一齊に罷業に入り事態重大化した、尙濟南郵務工會も一致行動をとる旨電報して來た

罷工重大視

【天津二十三日發】南京政府は上海における郵便罷工を重大視し、政府首腦部は昨日杉日溪山に會合

白系露人孤兒大連で避暑

二十四日入港の長春丸で上海にある白系露人の孤兒院兒童女子十五名が教師グリゴリエフ氏に引率されて來連したが、一行は避暑のため約四ケ月を營城子の元大連露國領事ワスコウイッチ氏の農場で過ごすため來滿したもので、同農場に於て適當の勞働と勉學をなす豫定であるといふことである

……對策を協議の結果、汪精衞は陳公博を視察のため上海に向け今朝出發せしめた

日伊對抗陸上競技
東京で開催すべく交涉中

【東京廿四日發】全日本陸上競技聯盟は來る七月ロスアンゼルスに於て開催されるオリムピック大會のイタリー陸上競技選手を同大會閉會後日本に招聘して東京で日伊對抗競技大會を開催すべく交涉中のところ、伊國陸上競技聯盟側では伊吉田大使を通じて左の如き回答を寄せて來た

一、オリムピック參加の伊國陸上競技選手は十五名乃至二十八名で全部渡日可

二、ロスアンゼルス市日本間及日本イタリー間の旅費全額と其の間の旅中費用は負擔せられたし

尙此の計畫に就いては日本の聯盟側は未だ祕密にしてゐる、因にイタリーの陸上の中心選手は中距離及ハードルに強味を持つてゐる

海軍記念日講演に
軍艦「八雲」より將校を派遣

來る二十七日は海軍記念日である が當日は海軍側に於て種々の催し物を行ひ多忙な爲め二十五日と二十八日の兩日に分ち市內各學校の希望により目下入港中の軍艦「八雲」よりソレぐ將校を派し左記プログラムにより記念講演を行ふと

▲二十五日午前九時より大連羽衣高等女學校齋藤機關大尉▲同朝日小學校由川大尉▲同日本橋小學校由川大尉▲同午後一時より大連實業學校坂垣少佐▲同大廣場小學校安樂機關大尉▲同午後二時より聖德小學校曾爾少佐▲二十八日午前九時より大連商業學校浦少佐▲同常盤小學校本田機關少佐▲同大正小學校由川大尉▲同午前九時三十分より大連女子商業學校坂垣少佐▲同午前十時より伏見臺小學校常木少佐▲同松林小學校櫻大尉▲同午後二時より周水子小學校田宮大尉(旅順驅逐艦)

日滿旅客機
發着時間改正
六月一日から

日本航空會社では來る六月一日より八月三十一日まで三ケ月間大連東京間の旅客機發着時間を左の通り改正するが、その主なる要點は夏期に入り日長になつた爲め東京を起點とし從來東京、福岡間一日コースであつたのを京城まで延長し東京、京城間を一日コースとしたもので、之れが爲め例へば逆に大連から東京へ旅行する者は午前十時二十分に大連を出發し、午後四時四十分京城に到着と同時に一泊して翌日午前六時に京城を出發し同日の午後三時三十分に東京へ到着する事になるのである

▲上り

大連	發 前	二、三〇	着	一〇、一〇
新義州	着 後	二、〇〇	發	九、四〇
平壤	發	三、一〇	着	八、〇〇
平壤	着	三、二〇	發	八、〇〇
京城	着	四、四〇	發 前	七、〇〇
京城	發 前	六、〇〇	着	四、三〇
蔚山	着	七、三〇	發	三、〇〇
蔚山	發	八、〇〇	着	二、三〇
福岡	着	九、一〇	發	一、〇〇
福岡	發	一〇、三〇	着 後	〇、三〇
大阪	着 後	〇、五〇	發	九、五〇
大阪	發	一、一〇	着	九、三〇
東京	着	三、三〇	發 着	七、〇〇

滿洲國で防彈具鐵兜を使用

滿洲國民政部警務司では匪賊討伐用として米澤式防彈具、鐵兜を試驗的に購入使用することゝなつた取敢ず右一千組を三十日公入札に附するに決定した、因に米澤式防彈具は滿鐵でも最近五千組購入した【長春電話】

暴露された刑務所の內幕
元大連支所兩看守の濱田看守長誣告事件

上司との確執から刑務支所內の醜狀を暴露した元嶺前屯刑務支所看守十時航一郎、同木下茂喜兩名にかゝる誣告事件の公判は二十四日午後二時大連地方法院小田判官係り開廷された、兩被告は嶺前屯刑務支所濱田看守長、山田看守部長等に對し職務上のことから反感を抱き昭和六年九月二十日木下看守の官舍で知人木村徐雄に代筆させ濱田、山田兩氏に關する非行を列擧し三回に亘り永田旅順刑務所長宛投書せるものであるが、小田判官は濱田看守長の非行に關し問ひ質せば

濱田氏が內地歸國に際し部下の中西看守に旅費を借りたまゝ返金せぬこと、收監者が所持品を金に換へる場合、刑務所職員達が入札する慣例となつてゐるが濱田氏は率先して入札し金時計を五圓で買つたりニッケル時計を一圓で買つた事實があるが收監者の所持品を看守長が安く叩いて購入するが如きは官紀に關する、又濱田氏は部下を誘つてカフエー遊廓に出入し、部下に遊興費を支拂はせてゐる事實があります

と詳細に答へて傍聽者を驚かせ更に山田部長に關する投書內容に就き

山田氏は周水土地事件で收容されてゐた淸水勤と自宅、銀行間の連絡を執つてやり二十圓の商品切手を貰つてゐる、又刑務所內の石油の空箱を無斷持出してゐる

などと證人を列擧して刑務支所の醜狀をさらけ出したが、右被告の陳述を確めるため高橋辯護人から夏目看守外數名證人喚問を申請し五時閉廷した

福田滿洲ら離連

北滿各地にて「滿蒙建國の黎明」を撮影中であつた新興映畫滿洲撮影隊中溥儀執政に扮した福田滿洲その他俳優四名は溝口監督に先きだつて廿四日出帆の香港丸で歸國した

鮮妓の替玉

市內平和街二番地朝鮮料理店芙蓉樓抱へ酌婦淸子こと張致連(一九)は去る十九日定期健康診斷で同年の豐子こと方達順の檢査を引き受け身代りに檢査を受けたことこの程發見、二十三日小崗子署では兩名を呼び出し大目玉の上各科料五圓に處した

末延道成氏死去

【東京二十四日發】貴族院議員末延道成氏は二十四日午年五時心臟麻痺で自邸で逝去した享年七十一

正誤

二十四日附夕刊二面記載の土地事件公判記事中被告村川保藏に關する罪名は「贈收詐欺」とあるも右罪名の中「詐欺罪」は證據不十分で豫審免訴となつたものにつき「詐欺」の點を取消す、又「贈收」とあるは「贈賄」の誤記につき訂正す

東支東部線及び松花江下流方面に蟠居する反吉軍は皇軍にその本據地を衝かれ部落から部落へと逃走し掠奪品の分配によつて辛うじて離散を防いでゐるが、それさへも旣に盡きて落日の如き頽勢を僅に喰止めんとして、紅槍會、大刀會などの如き宗敎的分子を中心として團結をはかつてゐる。

……◇……

これがため各部隊とも豫言者めいた老師を置いてその指揮を受けてゐるが、甚だしいのは宮長海の部隊には三姓、五臺山から來たといふ「五左毛」なる乞食坊主を師兄と仰ぎ一切の命令を受けてゐるが、彼は「馬占山と宮長海が協力すれば于琛澂を捕へるは易々たり」と稱し、また「大刀會、紅槍會のほかに黃砂會、藍子會、童子會を作り五會が揃へばハルビンの奪回が出來る」と豪語してゐる。

曙の鐘 (294)

倉田潮 河野想多畫

自然の生活（七）

マリアは自然生活の正しく眞なることを説き勸められたが、人間のことを考へると其の正しいものを直に容れ行ふことが出來なかつた。

人間を愛する爲に、人間と苦惱をわかつ爲に、彼女は塵埃の中に調諧して生きねばならないと考へた。二人の考へ方の差異は一方が自分一人のことから出發してゐるに對して、一方は人間全體から出發してゐるのだつた。

マリアは一夜を其の堂の内に過ごした。蒲團は齋拊をなかに入れたものだつたが、非常に温かく掛け蒲團をかけては温過ぎて眠りつけなかつた。戸は總て開いたまゝで、そこからは終夜月光が差しこみ、夜鳥の鳴き聲が聞えてゐた。そしてその反對の方向からは地軸を搖する水音と金屬性の水禽の聲が絶えず枕に通つて來た。

マリアは床についてから祖父のことをなほ詳しく纖母に聞いて見た。祖父は非常な老年でありながら、齒が一枚もかけてゐず腰も曲つてゐないとのことだつた。たゞ狂信徒特有な氣違ひじみた行爲は老來や、烈しくなつて、今夜のやうな月のよい晩は一夜を森に注連を振りながら踊り明かすことも度々あると云ふ。また村人の祭日にも神を祭らず、神をことほぐのは雨の晴れて虹の立つ日とか天氣の特に穩な日——即ち「神の機嫌のよい日」だけだといふ。

纖母は床に這入ると間もなく死んだやうに眠つてしまつた。今は何の係累もなく何の心配もないので、かうまで安らかな眠りを與へられてゐるのだらうと、マリアは月光に照された聖者のやうな寢顏に見された。そして、神が「人を殺すほどの熱情」の苦みを與へたあとで、かくまで平安な悟入をこの人に與へ給ふたことを涙を浮べて感謝した。

翌朝、マリアが眼をさまして見ると、纖母は既に起き出して部屋にゐなかつた。戸口から眺めると、直ぐ側の清水のわき出す井戸に水をくみに行つてゐるのだつた。昨日と同じ黒い被布をつけて、別に佛敎信者でもないのに、今日も珠數を手にさげてゐる。周圍には小鳥が澤山群れ飛んで、賑がしく囀り交してゐた。彼女が毎日小鳥に食を與へる爲めかも知れない。

その日も雲のない穩かな天氣だつた。森の若葉は陽に照されて鍛色に輝き、空には朝燒の紅がまだ殘りの色を止めてゐた。再び泉の方を見ると、纖母が太陽の方に向つて、一心に合掌してゐる姿が見えた。が、間もなく彼女は手桶に水を滿して家に戻つて來て、そつと花の香をあしらつた飲み物をマリアにすゝめ、蓮華の實を蜜でつけた食物を朝飾に出した。丹念に野から集めたものであるらしい。

マリアは明るい陽の光に改めて纖母の姿を見なほした。歳は隨分老つてゐるのに、生食をしてゐるためか身體は石のやうに剛健で、眼が思つた通り異樣にすんでゐる。それは普通の人間の眼でなく、深い悟りに入つたものでなくては與へられない光を持つた眼だと、今日もマリアは思はせられた。歸ると云ふと五丁ばかり送つて來て、乾皐の藥五種を與へてまた森に戻つて行つた。

マリアは祖父に逢へないで、心のまどひを解決して貰ふことが出來なかつたが、變つた別な生活を見て、考へさせられる處が多かつた。それは都會生活とは反對の自然の生活だつた。普通の人間を捨ててそれを超越し、一人直に神と接する眞理の生活だつた。彼女はかつて祖父と共に暮したことがあつたが、纖母の生き方は祖父の生き方とも多少違つた點があるやうな氣がする。が、その差は餘り大きくはないであらうがこれを都會のあけみやお夏の爛漫した生活と比べればその距りは甚だ遠い。

マリアは新町に戻つて來た時、手をあげて齋田の森へ、幸福な哲人のすむ森へ、祝福のキスを送つた。

けふの放送

大連 JQAK 五月廿五日

▲午後六時五十分 ニュース ▲英語講座「テキスト第三課」大連第二中學校片山篤郎 ▲謠曲「賴政」（喜多流）白井靖敏 ▲長唄「多摩川」唄杵屋正春、三味線常磐櫻一龍、大幸メ勇 ▲職業紹介事項 ▲ニュース ▲氣象通報 ▲中國劇「開山府」連東倶樂部々員

東京 JOAK 二十五日午後六時三十分

▲講演「夏と電氣」工學博士太刀川平治 ▲室内樂 一、アダドオ（ハイドン作）二、メヌエット舞曲（ハッス作）三、アンダンテ（モッアルト作）四、メヌエットイ長調（ベートベン作）五、間奏曲（ゾロタレフ作）鈴木クワルテット、第一ヴァイオリン鈴木鎭一、第二同同喜久雄、ヴァイオラ同章、チエロ同二三雄 ▲哥澤（一）花も實も（二）のぼりくだり（三）ほとゝぎす集、眼哥澤芝金三味線同芝加一 ▲放送映畫劇「緑の騎手」（辻晧一郎原作、村上德三郎脚色）秋葉孝一（鈴木傳明）弟修二（月田一郎）妹美代子（池上喜代子）妻芳子（英百合子）馬丁源造（渡邊篤）中川辰吉（木村健兒）黒島傳吉（山口勇）岩崎（三倉恂）中田（吉川英蘭）榮子（佐久間妙子）坂卷（小村新一郎）藝者瀧二（小百合葉子）馬丁健吉（關時男）アナウンサー（横尾泥海男）伴奏指揮男澤靖史、説明熊岡天堂、放送指揮中川佐二

第三回 滿日特選碁戰

先番 三段 増淵辰子
四段 向井一男

一 二 三 四 五 六 七 八 九 十 十一 十二 十三 十四 十五 十六 十七 十八 十九

イ ロ ハ ニ ホ ヘ ト チ リ ヌ ル ヲ ワ カ ヨ タ レ ソ ツ

●一 ハの四 ●三 レの五 ●五 タの十五 ●七 レの十七 ●九 タの十六 ●一一 ソの十六 ●一三 レの九 ●一五 ヨの九 ●一七 ホの三 ●一九 ハの八

○二 ニの十六 ○四 タの三 ○六 タの十七 ○八 レの十一 ○一〇 ヨの十七 ○一二 チの十七 ○一四 ヨの四 ○一六 ヨの十一 ○一八 ハの十 ○二〇 ホの五

——【1】——

對局者の感想

白曰く 一四の手の時單に一六に飛ぶかどうかむづかしい處のやうであります

黒曰く 一七の締りは一八に打つのは如何なものでせうか

黒曰く 一五の飛は（タの七）に斜走に備ふるのかどうかはつきりいたしません

滿洲日報

發行人 鈴木 昇
編輯人 橋本 喜代治
印刷人 本村 武盛
發行所 大連市東公園町卅一番地 株式會社滿洲日報社

定價 一ヶ月 金一圓二十錢　郵税 金十五錢　一部 金五錢
廣告料 普通一行 金一圓三十錢　特別一行 金二圓六十錢　場所指定 二割以上加算

新内閣の成立は早くて廿五日か

諒解成立迄に相當曲折

【東京二十四日發】組閣の大命を拜した齋藤子は二十三日午前午後に亘つて元老、重臣を歷訪し時局對策について所信を披瀝すると共に組閣の根本方針に關しても夫々諒解を求め、更に若槻總裁並に鈴木總裁とも會見して積極的協力と支援を懇請した、**民政黨は既に援助を惜まぬ旨同日中に正式に回答し、政友會でも又同日夜の首腦部會議の結果、新内閣に對しては好意を表する事にほゞ決定し、**鈴木總裁は二十四日午前中に齋藤子を訪問回答する筈で、斯くて新内閣は政、民兩黨閣僚を按配し基礎を作つた上、陸海軍及び貴族院その他の方面からの閣僚を詮衡し本格的に進む事になるだらう、然し政變後の一般的狀況は案外急激なる底流の存在も窺はれ最後の解決、即ち完全なる諒解の成立までは相當の曲折あるものと豫想されるので**新内閣の成立は早くて二十五日**となるべく若し一度蹉跌すれば或は相當の時日を要するばかりでなく非常なる困難に逢着するかも知れぬと觀られてゐる

齋藤内閣の政綱政策

入閣交渉上豫備的に決定

【東京二十四日發】近く成立せんとしてゐる齋藤内閣の政綱政策は政友、民政の入閣勸說交渉上齋藤内閣が掲げんとする**時局匡救に關する大眼目を豫備的に決定**しおくの必要を認め、齋藤子は二十三日夜湯淺、丸山、有吉氏等と愼重協議の結果、**軍の統制問題、疲弊困憊せる農村救濟並に一般國民生活安定策斷行、滿蒙問題解決、社會不安の一掃**（思想對策、社會政策應急施設）**經濟關係の缺陷除去**等を大綱とするに決定した

入閣問題異論

新内閣の政策を確めた後決定

政友會の五長老會議

【東京二十四日發】齋藤内閣に對する具體的態度を決定するための内相官邸における鈴木總裁、床次、望月、久原、岡崎、小川五長老會議は廿三日午後八時から開かれ齋藤内閣支援には異議無きも、進んで入閣すべしとする說と入閣必要なしとの兩說に分れ相當激論を戰はし、結局意見の一致を見ず、十時五十分散會したが、結局齋藤子の鈴木總裁に對する協力要望の内容が單に閣員を入れて援助して呉れとの極めて抽象的の申出であつたので、更に齋藤子より新内閣の性質組閣方針等につき具體的意見を聽取しなければ直に諾否の態度を決定する譯には行かないといふことに意見の一致を見た、その結果鈴木總裁は多分二十四日午後齋藤子と會見し具體的意見を聽きその上長老會議を再開して最後の態度を決することゝなつた

長老會議再開

鈴木總裁語る

【東京二十四日發】鈴木總裁は語る

二十三日の會合では何も決まらぬ、二十四日もう一度會合することになつてゐる、しかし二十四日は閣議もあるし齋藤子の都合も聞いて見なければならぬから結局午後齋藤子に會ふやうにならう、そしてその後で今一度會合することになつてゐる

新内閣に反對進言

鈴木政友總裁に

【東京二十四日發】政友長老會議後鳩山、森兩氏は鈴木總裁を訪ひ政友會は齋藤内閣を黨として援助するも閣僚を送る必要なし、又積極的援助をなす必要もないとの齋藤内閣反對の進言をなした模樣である【二十四日午前一時三十分發電】

鈴木總裁絶對に入閣せず

【東京二十四日發】鈴木總裁は廿三日夜五長老と會合後午後十一時私邸に歸り、鳩山文相、森翰長、山口幹事長を招き五長老の意見を報告、廿四日齋藤子と會見の準備的打合せをなしたが、齋藤子から鈴木總裁に對して入閣を希望されたとしても鈴木總裁は絶對に入閣せぬ事となつた

慌しき政雲包む園公邸

對滿政策、金輸禁止現内閣の方針踏襲

鈴木政友總裁、齋藤子會見内容

【東京二十四日發】鈴木政友總裁は二十四日午前九時半四谷の自邸に齋藤子を訪ひ前日訪問を受けた挨拶を述べて後入閣援助については黨の機關に諮つた所、自分に一任されたが入閣援助については豫め實行せんとする政策、軍部の統制問題及び組閣方針即ち閣員の椅子の振當が根本となるものだからこの點を明瞭にされたいと質したに對し、齋藤子は所信を披瀝し右諸點に答へ協力入閣援助を求めたので鈴木總裁は更に考慮し改めて黨としての態度を回答する旨述べて會見を終り十時五分辭去した

【東京二十四日發】鈴木總裁は今朝齋藤子との會見で政友會が今後新内閣を援助すべきか否かを決する前に新内閣の主義、政策を諒知する必要があると前提し

一、金再禁止對策として如何なる方針を採るか
二、窮乏の極に在る農村に對し如何なる方策を採るや
三、對支外交方針、特に滿蒙對策
四、現下一般時局收拾對策
五、組閣上の根本方針

等數項に亘つて質し齋藤子は組閣の途に在り具體的對策は言明出來ぬが、自分一個の考へでは

一、經濟界の動搖を防ぐため**再び金輸出解禁の意思なし、**即ち現内閣の方針を以て進む
二、農村の窮乏疲弊が社會民心に惡影響を及ぼす現狀を鑑み農村救濟のため適當の施設を講じたい
三、**對滿政策は現内閣の方針を替へやうと思はぬ**
四、差し當り民心安定策を採る
五、組閣方針は目下折角考慮中で昨日話した通り

と答へ鈴木總裁は大體諒解し本日閣議後、黨首腦部と協議の上新内閣援助の可否を決し回答する旨答へた

午後再會見

【東京二十四日發】齋藤子は午後三時鈴木總裁と會見の豫定

政黨側に對しても個々に入閣交渉

兩黨總裁に一任せず

【東京二十四日發】新内閣に入閣する政黨代表は政友三、民政二の割合であるが、齋藤子は閣僚候補詮衡につき兩黨總裁に一任せず總裁に諒解の上自ら個々に入閣交渉を行ふ模樣である

齋藤子陸相と重要會見

【東京二十四日發】齋藤子は二十四日荒木陸相を訪問し不穩事件の眞相顚末並に軍の統制問題につき重要會見を行ふ事になつたが、或は同席上齋藤子は後繼内閣の陸相として荒木中將の留任を懇請するのではないかと觀られてゐる

陸軍首腦部異動

陸相、總監更迭に伴ひ

【東京二十四日發】荒木陸相、武藤教育總監の更迭と之に伴ふ最高首腦部の異動は齋藤内閣成立の上決定するが、目下の形勢では參謀次長眞崎甚三郎中將陸軍大臣に、陸軍大臣中將荒木貞夫軍事參議官に、朝鮮軍司令官大將林銑十郎教育總監に、教育總監部本部長中將川島義之朝鮮軍司令官に、兵器本廠附中將香椎浩平教育總監部本部長に、騎兵監中將柳川平助參謀次長に

なほ參謀次長は參謀總長宮の御名代の任を勤めねばならぬから柳川中將は若きに失するといふ意見が行はれて居り、この結果眞崎中將が現職に留任し、林大將が陸相となり、教育總監は菱刈大將が据るのでないかとの說が行はれてゐる、なほ武藤中將が荒木陸相等の說に從ひ專任軍事參議官として現職に留まるか、又は武藤大將の意思通り豫備役に入るか未定なるが、武藤大將の決意が固いので後任[illegible]となるものと見られる

招電内容は判らぬ

林軍司令官談

【京城特電二十四日發】齋藤内閣の陸相に擬せられてゐる林朝鮮軍司令官は北鮮視察の日程を繰上げ二十三日夜歸城したが、同夜中央より急電あり、軍司令官は二十四日朝十時發列車で東上した、驛頭で昨夜荒木陸軍大臣から至急東上せられたしとの招電があつたので行くことになつた、招電の内容は分らぬと語つた

植民地首腦は更迭せぬやう進言

札附の地方長官は半數入替

永田秀次郎氏語る

【東京二十四日發】齋藤子を訪問後、永田秀次郎氏は語る

自分は齋藤子から組閣について種々參考になるやうな最近政界の情勢殊に貴族院方面の現狀につき聞かれたから政友會、民政黨の内部の勢力關係や人物につき又貴族院の研究會、公正會等の實狀を詳細に忌憚なく說明した、その際子爵に對して政友會を分裂さすとか、或は民政黨をつゝくやうな柄にないことをせぬ方が可いと進言した、又近頃の地方長官は丸で政黨の支部長の感を呈してゐるから此等の札附長官は半數位入れ替へさせるが可い、そして地方長官に眞に國家の役人だといふ觀念を持たせるやうに盡力せられたいことを特に力說した、閣僚の人選は政、民兩黨の割振りを決めてから貴族院方面の研、公兩派の詮衡をなし、それから黨外の入閣者を物色するが可い、自分の入閣說等も有るやうだがいづれ各派入選割當後決まることであらう、又植民地長官は自分から辭任を申出でざる限り現狀のまゝに据置く方が可いと進言した

勞農、滿洲國承認

明確に意思を表示す

【ハルビン二十四日發】滿洲國政府は舊東北政權が一九二四年九月ロシアと締結せる**東鐵の露支共同經營に關する奉露協定の不備の點改訂方につきロシア側と非公式に折衝中**であつたが、ロシアは露、滿兩國外交關係の解決問題とすると稱し、**滿洲國を法律的に承認し、外交關係の設定に異議なき明確なる意思表示**をなすに至つた、斯くて滿洲國家が建國早々對外關係において急速にこの點まで漕ぎつけたことは外交上の大成功として注目されてゐる

舊軍閥の條約違反事實を指摘說明

鐵道交渉、不當課稅等に關し

森島領事が調査團に

國際聯盟調査委員は引續き二十四日午前十時半より日本總領事館において森島代理總領事と會見、當日は滿洲の日支鐵道交渉問題及び附屬地内の不當課稅問題について森島氏より說明を聽取した、森島代理總領事は例の支那側の**七十五縣**に亘る鐵道計畫、東西兩併行線計畫について詳細に支那側の條約違反の事實を列擧し又附屬地内課稅問題については統稅、營業稅の不當課稅の事實につき詳細なる經過を說明したので、委員側は深く諒解するところあつた、なほ委員側において滿鐵附屬地が餘りに廣大ではないかとの不確實なる知識を持つてゐたに對し森島代理總領事はパナマ運河の例をひき、運河の**兩側五哩**の行政地域を有する事實を述べて懇切なる說明を試みたが、午餐を共にした後引續き說明を聽取するが、午後よりは事變前の出來事、又事變後の情勢および支那側の行政全般に對する森島氏の見解を述べてこの會見を終了の筈、なほ匪賊狀況および内鮮人の被害事實については書面を以て詳細提出した【奉天電話】

調査團日程

旅、大兩地における

國際聯盟支那調査委員一行は廿六日午前七時四十分大連着の特別列車で來連するが、同日委員長リットン卿は天津から來連のランプソン駐支英公使と會見の筈で、また午後大連市民有志と調査委員との會見が行はれる模樣である、廿七日一行は旅順へ赴き山岡關東長官と會見、廿八日は午前中に滿鐵を訪問して内田總裁と會見し、午後の日程は未定であるが同日夜内田總裁は調査委員一行を招待して盛大な晩餐會を開く筈で、廿九日は日曜のため自由行動を希望してをり卅日朝大連發の特別列車で途中鞍山を視察して奉天に赴く豫定である

調査團接待事務所

關東廳では國際聯盟調査員一行接待に關し關東廳、滿鐵會社、市役所その他と事務連絡のため二十四日からヤマトホテル一階應接間に假事務所を設置し即日より事務を開始した

馬占山に關し省長に質問

調査團専門委員

【チチハル二十三日發】調査團専門委員一行は廿三日午後三時より長官公署において省長程志遠氏と會見、疑惑の人馬占山について相當突込んだる質問なしたるに對し程省長は明確なる應答なせるものゝ如し、なほ日本軍チチハル入城前後の模樣その他新國家成立後の一般民衆に對する影響等質問あり省長の回答に滿足した模樣である

専門委員一行長春に歸着

國際聯盟調査團一行はハルビンにおいて二班にわかれ、リットン卿一行は奉天に滯在中であるが、チチハルへ向つた專門委員ハース氏ら一行六名はチチハル調査後、洮昂四洮線を經由赴奉の豫定を變更し再びハルビンに舞ひ戻り、二十四日午前六時四十九分着列車で來長、密かに長春各方面の調査に着手した、一行の赴奉日程は不明なるも多分一泊の豫定らしくみられてゐる【長春電話】

陸相就任交渉か

【東京二十四日發】齋藤内閣の陸相には眞崎參謀次長が擬せられてゐたが、朝鮮軍司令官陸軍大將林銑十郎氏最も有力視され既に就任交渉の電報が發せられたと

人事

▲名古屋市[illegible]觀察團一行九名　同上滿國
▲阿部嘉八氏（大阪鐵工所社長）　同上
▲三浦環女史（聲樂家）　同上
▲羽田亨氏（京都帝大教授）　同上
▲牛島慈氏（大連市會議員）二十四日入港長平丸にて天津より歸連
▲伊藤武雄氏（滿鐵調査課長）廿四日朝着列車で歸連
▲神戸正雄氏（京大教授法學博士）二十四日入港のうすりい丸で來連
▲中澤良夫氏（京大教授工學博士）同上
▲松尾要氏（太興商事社長）　同上
▲中目覺氏（大阪外語校長）　同上
▲深井吉兵衛氏（銚子醬油專務取締役）同上
▲志方光之氏（砲兵大尉）　同上
▲竹内禎一氏（日本賣藥專務取締役）二十四日入港うすりい丸で歸連
▲市川[illegible]造氏（滿鐵社員）　同上
▲荒木東一郎氏（滿鐵囑託）　同上
▲大竹鉄氏（新任芝浦製作所大連出張所長）家族同伴二十四日うすりい丸で着任
▲首藤正壽氏（滿鐵理事）は夫人同伴二十四日香港丸にて上京
▲竹中政一氏（滿鐵理事）　同上
▲劉明朝氏（臺灣總督府事務官）同上歸臺

1932

家の子郎黨に取圍まれて齋藤子の組閣準備着々と進む。傳へられる閣僚の顏觸、期待に副するもあり、反するもあり。

◇

民政黨逸早くも新内閣援助の先手を打つ、政友會なほも自重、だが結局は消極的援助に傾くらしい。

◇

いづれにせよ引ずられるは政黨、この先分裂騷ぎ、分解作用を起さねば幸ひ。

◇

「政友會を分裂さすとか、又は民政黨を突つくやうなことは、策せぬがよい」永田靑嵐氏進言。

◇

どうせ分裂するものは分裂する運に眼先の見えた言分。

◇

靑嵐居士、更に「植民地長官も强て入れ替へせぬこと」ともいふ、これまた贊成。

◇

財界の期待は、高橋藏相の留任に集まる。高橋財政は必ずしも政友財政と見て居ない證據。

◇

滿石の順繰鉢も三浦環さんの嫁ぎに三舍を避けたぞ、但これは環さん御自身の吹聽、眞偽は保證の限りに非ず。

◇

火遊びより危い子供の彈丸遊び突發した悲慘事と共に考へさせられるものがある。

◇

問題の砲彈を持つて來た坊さん申譯に還俗する譯にも行かず。

今後の滿蒙

移植民に就いて (15)

難波勝治

安永氏が一兩年前から世話して居る數名の靑年があります、それは最初から支那人同樣の賃銀で辛抱するてふ條件を以て、三箇所に分割就職させられました、日給三十二錢、寢起きは安永氏の自宅内でする譯だが、毎日の食費十錢以内、勿論支那流の材料のみを支那流の樣式で攝取するのであります氏の語る所によれば、滿洲の風土はこの方が營養にもなり、且つ却て勤工合に好いらしい、而も貧ひ剩した廿幾錢が非常に貴く取扱はれ、決して浪費心を起させぬさうであります、就中南山園に雇はれてゐる一名の如きは、漸次果樹の手入れに熟練した爲に、日給を遞增されて今や七十錢宛仕拂はれ、最近の一年間に百五十圓貯蓄し得たさうです、聊か大衆の一般生活を律し難い立志的奮鬪談めくが、

氣候風土の異る滿洲での訓練は、日本流のこの生活觀念では完成されませぬ、「日本生活の延長で移植民を律することは出來ない、かうして先づ切詰めた生活樣式を理解し修熟させて、始めて滿洲土着の決心は基礎附け得るのだ、

斯くて自ら貯蓄した所を以て、奥地の沃野開拓に邁進せんか縱し大成功を收め得ないでも失敗は少い」とは、安永氏の滿洲農業に對する主張であるが、私はそれを他の商工業移植民も同樣だと考へます、公主嶺や熊岳城の農業實習所、並に遼陽の產業實習所も、同樣の土地に適應した人物養成に努めて居るが、而も卒業後の訓練助成に關して、考慮すべき實際問題あることを、私は一燈園農場の現狀や、安永氏の實驗談に依つて痛感します

農業を主とする移植民問題[illegible]な、私は順序な混同して漫然概說しました、意見といはんよりも寧ろ批評に傾いた點は多いが、强て之を集約して見ますと、第一從來の助成方法に大改革を要すること、第二誤れる保護は却て移植民の努力を鈍らすこと、第三集團移住地の實際的考察點と其機構、第四移植民の生活樣式は土地の自然に適應するが必要なること、第五移植地の塲合は人爲的に偏倚してならぬこと、第六植民地の建設と指導人物との關係、第七植民地の選擇には緯度よりも緯度に沿ふての考慮が必要なること、第七集團移民地は未墾地よりも、既墾地からその第一步を初めらるべきこと、第八集團移民地の使命、第九農業植民地と農產物加工との密接なる因果關係、第十時代の轉機と邦人渡滿者の反省點などを、おぼろ氣ながら識言した積りであります、移植民事業の計數的調査に就て、私は幾多の資料を蒐集しつゝあるが之ほど矛盾の多い多角的なものはなく、就中滿洲の如き記錄の少い萬事未開時代にある土地柄に於て一層困難であります、併しそれだけ創造に就ての面白味があり、勇氣と識見とあるものゝ前に、展開された自由の天地だと思はれます

又た最後に一言書き添へたいのは滿洲が有する風土の特長であります、

初めて滿洲を見た日本人の誰もが、第一に發する感想の言葉は、山河風物が殺風景であるとの評語であります、東部滿洲は姑く置き、遼河々谷を中心としたこの廣域は、日本内地に比して樹草の少い、水脈に乏しい感を禁じ得ない土地柄であります、かうした相異は自から新たに郷土觀念を培養せんとするに方つて、少からぬ缺陷だといへばいへます、日本はあり餘るほど水に富んだ國土であり滿洲は雨量の少い水に乏しい廣原續きであります、山岳重疊し、樹草繁茂する處に禽鳥の啼々たる和聲は聽けるが、平野遠く連なり、黃土地を蔽ふ邊域にはそれがない併し多年その地に住み、四季の序を逐ふて風物の推移するさまを見れば、滿洲が有する自然の勝景には、日本に於て味はふことの出來ない特長があります、嚴寒肌を劈く三冬の眠り覺めて、陽春五月の煦光を仰ぐとき、滿洲の山野は洗ふが如き靑綠に包まれて居ます、その間に點々する紅桃白梨、眞に淸遠明媚の佳景を樂しましめます金風初めて到つて禾黍の野を渡り鴻雁字を點して淸澄の天を南飛する時、何物かこの平闊快適な大景に比すべきでありませうか、樹の少いだけ、滿洲の林相は枯淡の趣き深く、水に乏しいだけ、その泉流は冷徹の感を切ならしめます、

この意味に於て滿洲の自然は平和を象徵し、その自然に同化された住民は悠揚の氣分を失ひません、治安の攪亂され易いのは政治の弊であり、匪賊の橫行するのは產業未開の罪であつて、滿洲の天地は自由と親和との芽生ゆべき沃土であります、滿洲に移植されんとする日本人は、先づこの自然の特長を玩味せねばなりませぬ、之を無視して新郷土觀念は起らぬと私は信じます、(完)

直木三十五氏の力作

『滿洲の戰慄』

愈よ明日本紙夕刊より連載

避難列車に貨車追突
即死四十名、負傷數十名 阿鼻叫喚の慘状を呈す
きのふ東支東部線の椿事

【ハルピン特電二十四日發】東支東部線横道河子及び石頭河子の避難民及び東支從業員家族は一列車を仕立てハルピンに避難の途中ヤブロニア驛において貨物列車が追突し即死四十名、負傷數十名を出した、二十三日午後六時頃我が裝甲列車を先頭に避難民列車、第五十五號貨物列車の順序でヤブロニア驛に入つたが先づ裝甲列車は無事に構内に入り避難民列車がポイントに差しかゝつた時前方車輛が脫線至急停車したところへ五十五貨物列車がそれとは氣づかずに驀進して來て激しく追突し避難民列車の後部十四輛破壊され後部の二、三輛目は目茶苦茶に壊れて乘客は或は押し潰され車輛の下敷となり助けを求める聲や唸り聲が響きわたり阿鼻叫喚の慘状を呈した、同七時四十五分一面坡から救援列車急行し從業員及びわが軍隊と協力し死傷者の收容中であるが重傷者は一面坡の病院に目下收容しつゝある

匪賊狩り専門の正規討伐團を組織
長春を中心として猖獗を極め 唐玉衡氏を總大將に

依然として匪賊の猖獗は長春を中心として停止するところを知らない狀態にあるに鑑み吉興警備司令は吉林省長と協議の結果これら匪賊討伐專務の正規討伐團を組織することに決定したが、その團長は過去七箇年間長春保衛總隊長として專ら匪賊討伐に盡瘁努力し、殊に過般四百名餘の部下を以て農安縣城を死守し二萬餘の李海青軍をしてよく入城せしめなかつた唐玉衡氏を拔擢しその偉勳に酬ゆること、なつた、尚新設の獨立討伐團は現保衛隊より一箇營、警察隊より一箇營を選拔し他の一箇營は新たに募集し兵員は三千五百名の人員である【長春電話】

長谷部○團が徹底的討伐へ
敦化附近の邦人遭難事件詳報
賊團盛に工事妨害

既報敦化附近における吉川組從業員の遭難事件詳報―二十三日午前七時半ごろ新道路警備のため敦化警備兵○○名は吉川組從業員宇土正司、測量班廣津藤一及び大阪村建設調査のため來敦中であつた委員前田甚右衛門他四、五名の便乘者並びに若力數名はトラックにて吉敦道を

進行中 同七時半ごろ敦化東南方三里大橋より五百米餘の八家戸附近に差しかゝつた際崖下の林中に潜伏してゐた數十名の匪賊に襲撃され彼我戰鬪を交へ吉川組從業員宇土は頭部に、大阪村建設委員前田は腹部に何れも貫通銃創を受け重傷、測量班員廣津は右大腿部に擦過傷を負ふた、同乘の兵は直に匪賊を追撃多大の損害を與へたが負傷者後送のため一先づ同トラックで敦化へ歸着した

負傷者 に應急手當を加へると共に急を長谷部○團に報じた、これがため長谷部○團は直に裝甲自動車及びトラックに野砲○門、機關銃數臺を有する主力部隊を出動せしめ徹底的匪賊の討伐を決行することゝなつた、一方賊團は通信線を切斷し頻りに工事の妨害を行ひつゝあるが通信不能のため詳細不明、なほ同日牡丹江附近においても苦力十數名を拉致した模樣である、八家戸で重傷を負つた三名は廿四日午後四時三十分吉林着後送され前田と宇土は吉林東洋醫院に收容他の者は同八時ころ長春着滿鐵醫院に入院の筈、因に前田宇土は頗る重態である【長春電話】

哈市待機中の皇軍出動
○○を總攻撃

【ハルピン特電廿四日發】松花江下流方面から歸還しハルピンに待機中であつた○○部隊は廿三日夜突如出動命令を受け夜の中に松花江を渡河し廿四日拂曉○○方面に向けて總攻撃を開始し某地に待機中の一部もこれに呼應して攻勢に出で○○軍の徹底的掃蕩を開始した

李青天部隊・三姓富錦に移動

在滿鮮人李青天部隊のその後の策動について密偵の報告によれば韓國獨立司令第三大隊長宋天京は崔松悟、白雲峰らを帶同して部下約二百名と共に東支線牡丹江より三姓および富錦に移動し、二地方に根據を構へた、なほ隊長宋は常に部下に對し

我らは日本の滿蒙侵略主義に反對すると共に、救國軍に對し武力的援助を與へ日本の勢力を滿蒙より驅逐し以つて數十年來の吾人の宿望を果さんと力說してゐる、しかして現在ハルピンおよび高山屯附近に散在せる同志をこの際糾合せんと代表者を同地に、なほ黑龍江省海倫地方に根據を有する高麗革命軍決死隊の下にそれ〴〵連絡者を派遣した【長春電話】

佐賀縣滿鮮視察團來る

佐賀縣中等教育會派遣の滿鮮視察團は同縣有田工業學校大須賀眞藏氏外二十九名で二十四日入港のうすりい丸にて來連したが同夜は鐵西旅館に一泊のうへ旅順、奉天等を巡遊の後朝鮮經由で歸國の豫定である【寫眞は一行】

桓仁駐屯兵が給料不拂で兵變
輯安城内再び不安

桓仁駐屯陸軍第一團の將校以下一千名は給料不拂を理由として二十二日兵變を起し全部脫出輯安方面へ移動しつゝあり輯安城内は再び不安に驅られ人心極度に動搖してゐる【安東電話】

注目すべき日露經濟政策の衝突
神戸、中澤兩博士相携へ來連

滿蒙問題に關して多大の注意を拂ひつゝある京都帝國大學より派遣された日本に於ける經濟學の泰斗京都大學教授神戸正雄法學博士は同じく京大教授の中澤良夫工學博士と共に二十四日入港のうすりい丸で來連したが、氏を船室に訪へば滿蒙問題並に日本經濟界に就いて左の如く語る

自分は 滿洲に來るのは初めてだが、日本經濟界と密接なる關係にある滿蒙に對しては隨分以前から注意を拂つてをり、約三十年前、日露戰役當時でしたが私はドイツで「日露戰爭と國民經濟」と題して著書をあらはし、その中で相當深く滿蒙を論じたことがあります、然しそれ以來長い年月を經た今日、殊に幾度かの政治的變遷があつた滿蒙の事情とは相當變つた點が生じてゐると思はれるので新國家成立を機として大いに研究して見たいと思つてゐます、現在の滿洲に對する私見は色々持つてゐますが、視察前の今輕々しく云ふべきでないと思はれるので差し控へますが、最も

注意し なければならないのは、三十年前の日露戰爭當時と同じように今や滿蒙を中心として日本の經濟政策とロシアの經濟政策とが大衝突をしようとしてゐることです、これは對支問題同樣、或ひはそれ以上に考慮を拂ふ必要があります、日本の經濟界は今さらいふまでもなく行きづまりの狀態で、これを切り拔けるためには關税改革、賠償切り下げ、農村救濟その他色々ありますが前二者は國際的關係を有し先づドイツの賠償金問題を解決して關税引下げに關する國際的協定を結ぶ等相當面倒であるから先づ農村問題から先きに解決すべきでせう、とにかく根本的な荒療治をせねことには到底だめでせう【寫眞は右―中澤博士、左―神戸博士】

甘井子丸乘組の海員三十名つく
大汽の乘船快諾に感激

「日本國旗を揭げた船舶は日本船員を乘船せしむべし」とのスローガンをかゝげて目下盱に各方面と交渉中の日本海員組合では先づ大連汽船との交渉に成功し、大汽所有船撫順丸、甘井子丸兩船に各三十名づゝ乘組ますことゝなり、無順丸乘組員三十名は去る十八日海員組合大連支部長濱尾保氏に引率されて來連したが、二十四日入港のうすりい丸で甘井子丸乘組の三十名が水夫長吉松數馬氏引率の下に來連、直に大汽本社に入つた、一行を代表して吉松氏は語る

日本內地に於ける失業海員の生活狀態は明日のパンにも窮してゐる程で實にみじめなものです、この時に當つて「日本國旗を揭ぐる船舶乘組員は日本人たること」と云ふ海員組合の決議は社會的注意を惹く等と云ふやうなノンキな話ではなく、全く胸奧からの叫びなのです、失業者洪水の時に日本船旗を揭げ、日本に航路を持つ船舶が他國船員を使用するなんて全く日本の失業海員を無視し、殺してしまうやうなものです、幸ひに大連汽船が海員組合からの要求を受け入れて下さつたことは我々感激の外はありません、しかも條件は協定給料なので一同大喜びで參りました

大滿洲國展入場者
十日間で六十二萬人を突破す
きのふ最終日の盛況

【東京特電二十三日發】大滿洲國展十日目の廿三日は愈々今日限りといふので早朝から白木屋の會場目がけて續々と見物人が押しかけた、東京府立第六高女、堀越裁縫學校、三輪田高女の女學生連も大擧して見學したが、大倉商業の學生達は出品目錄と首ッぴきで丹念に研究して行つた、正午迄の入場者二萬八千、午後三萬七千人にして合計六萬五千人に上つた、各種出品見本については相當申込みもあり、頗る好成績を得た、この日最終日とて殊の外繁忙、田口、福士兩幹事、白木屋側樋地、田丸兩委員その他係員は特別參觀者の應接に忙殺されたが、正午より七階大ホールにおいて映畫會を開き福士幹事挨拶をなし建國五卷、滿洲警備の實況五卷を公開し、大いに好評を博した、去る十四日展覽會開催以來今日まで十日間の入場者六十二萬三千人、その內譯は第一日五萬八千人、第二日八萬第三日六萬八千人、第四日六萬人、第五日六萬五千人、第六日四萬五千人、第七日五萬二千人第八日六萬人、第九日七萬人、第十日六萬五千人である

滿洲認識上大に參考となる
石塚前臺灣總督賞讚

【東京二十三日發】政界多忙の折柄二十二日特に來場した石塚前臺灣總督は語る

大滿洲國展覽會は大體において成功したものと思ふ、場內を暫見するにその形式、內容共にこの種の展覽會としては極めて大規模なもので、一見して滿洲國の組織內容が判り滿洲の產業經濟、或は風俗習慣等が良く判るやうに衣食住に關する資料を各方面から蒐集した點は、大いに主催者の勞を多とすべきである、殊に滿洲の產業に重きを置き、特產物、重工業に關するもの藝術的工藝品等を出品して所謂出滿貿易に資した事は頗る意義ある事と考へる、斯くの如き事業をなした事は流石滿洲一流新聞社ならでは爲し能はぬところと考へる兎に角この展覽會によつて滿洲の實情、滿洲國の內容が內地人に最も正しく認識されたものと信じこの展覽會の成功を衷心祝賀するものである

新卒業生の賣込みに
中目大阪外語校長來連

昨春不信問題で學生騷動を起した大阪外語學校々長中目覺氏は二十四日入港うすりい丸で來連したが例の問題は私の不德の至す處で既に圓滿解決した今日充分愼重に努めてゐる、今度は滿蒙國家の建設と共に同國の視察を兼ね新卒業生の賣り込みに來たが、校友も約七十名程在滿活動して居りそれ等は支那、蒙古、露そ の他各國語に亘り今度の事變の際にも相當活躍してゐるのでこれを慰問し且つ新卒業生の就職斡旋も乞ふつもりだ、本年の新入學生の中では將來滿蒙に活動せんとする鬪志滿々たる若い者の多くは蒙古語を志望してゐるのが殊に目だつてゐる、これから奉天、長春、ハルピン等二週間位の豫定で巡ぐつて來る(寫眞は中目校長)

白川大將絕望狀態
けさ十時發表

【上海二十四日發】午前十時派遣軍司令部發表
白川大將は呼吸脈搏全く衰へ今や絕望狀態である

萬一の場合は軍艦で護送

【東京二十三日發】海軍では白川司令官危篤の報に接し萬一の時は陸海共同作戰の功勞者に對し敬意を表するため特に軍艦で橫濱まで護送するに決定した

高野山の別館燒く
本尊寶物烏有

【和歌山二十四日發】二十三日午後四時ごろ高野山別館本山一條院より出火し本堂、護摩堂、大師堂他十三棟、建坪五百坪全燒午後五時三十分鎭火した、原因は風呂場の失火らしい、一條院の本尊彌勒菩薩他三體の佛像始め寶物は全部灰燼に歸した

ハガキ一枚で本明石一反

毎月ヤンヤの人氣ある婦人俱樂部の懸賞、六月號は本明石一千反提供の大懸賞です、早く御覽下さい。

英船舶王逝く

【モンテカルロ二十三日發】イギリスの船舶王ゼームスライルマッケーインチケープ卿は二十三日モンテカルロで逝去した、享年八十

佐藤知明君遂に絕命
砲彈爆破事件

廿三日市內聖德街における步兵砲彈爆破事件で重傷を負ひ赤十字病院に收容された同地一丁目八〇番地佐藤兵逸氏長男知明(十)は遂に同日午後六時半絕命した、右事件につき大內沙河口署長は語る
一寸した子供の遊戲から昨日の如き大慘事を起し三人まで可愛い子供の犧牲者を出したことは誠に遺憾である、日支事變以來かゝる不發彈と稱する砲彈類の入手が容易にあるため、これなどを記念品として貰ふ者も澤山あるであらうが、曩に長春においても同樣犧牲者があり又今回の事件を起したこと等最も好適例であるから今後は斯樣な危險物はなるべく貰はないやうにし若し入手した場合には專門家に鑑定して貰ひ火藥を拔くとか適當な方法を講じゐやうにせねばならぬ、つまり今回の事件も空彈だとは言つて居つたけれどもアヤフヤであつたため藏つておいたのが圖らずも斯樣な事件を惹起したのであるから大いに注意すべきである

鄭總理の次男上海から歸連

家族引纏めのため先月末上海に赴いた滿洲國總理鄭孝胥氏次男鄭禹氏は一家十一名並に一族陳承瀚氏家族六名を連れて廿四日入港の長春丸で歸連、目下星ケ浦別莊に滯在中の令息鄭貴凱氏並に夫人二格姫に迎へられて文化臺の自宅に入つたが、數日中に長春に赴く豫定であると、上海における樣子をたづれると
何しろ身邊が非常に危險であつたので殆んど外出なござせず、大急ぎで一族をまとめて歸つて來ましたが、家族の者は何れも溥儀執政のお國に行くのだと大喜びです
と多くを語らなかつた

環女史母國へ

プリマドンナ三浦環女史は二十三日の獨唱會を名殘として二十四日出帆のほんこん丸で一路故國への急がしい旅についたが、今日のマダム、バターフライは高價な白狐の襟卷に濃艷のドレスといふ扮裝で花束を抱き見送りの竹中滿鐵理事夫人、村岡樂童夫人等と甲板で記念撮影をなし、音樂關係者多數の見送りを受けつゝ五色のテープに名殘を惜みつゝ十一年振りで母國へと旅立つた

西公園町の火事

二十四日午前一時五十分市內西公園町百廿一番地の空家(家主大塚靴店)から出火し木造建のことゝて火の廻り早く同二時三十分同家を全燒鎭火した、出火原因について不審の點あり目下大連署司法係に大塚靴店の主人を召喚取調中であるが同家は元杉山某が居住し昨年八月以來空家となつてゐたもので先月廿八日にも出火してゐる

柳元事件不起訴

柳元尙次郎氏死亡後、遺產をめぐつて惹き起された未亡人柳元イト(五八)有川嘉太郎(五二)兩氏にかゝる私文書僞造行使、公正證書原本不實記載行使事件は大連地方法院井關檢察官係り取調中のところ廿四日不起訴となつた

本社見學

旅順高等公學校附屬小學校高等科生八十三名は羽場尙恕教師引率の下に午前、旅順第一小學校第五學年生百三十三名は泉田訓導引率の下に午後それ〴〵本社を見學した

天氣豫報 二十五日
北西の風 曇り 驟雨模樣後晴
滿潮 午前一時十分 午後一時五十分
干潮 午前七時十分 午後八時五十分
けふの小洋相場(正午) 金百圓は一七二圓四〇錢

聯合運動會の豫行

新國家「滿洲國」の建設を機會に大連各學校の聯合運動會は來る廿六日午前八時三十分から大連運動場に於て擧行されるが、この記念すべき運動會を最も意義深く盛大に行ふべく各學校では目下毎日熱心に練習を續けてゐる、國際親善と民族融和は先づ純眞なる子供達から……のモットーのもとに――【寫眞は運動會の練習】

第十六回關東州庭球大會
申込來る廿六日まで延期
主催 滿洲日報社

武門血笑記 (153)

下村悦夫作　布施長春挿畫

偽御用盗(二)

六兵衞の命令で、奉行所へ手紙を投げ込みに行つた筈の龍圓、どうしたものか、それから一時ばかり經つた八ツ半頃、本所緑町の刀屋善右衞門の奥座敷で、主人の善右衞門と作樂を相手に、何事かしきりに囃し立てゝゐる様子。

「……と云ふやうなわけで、儂しや六兵衞の男らしくない遣り方につくづく愛想が盡きました。それで奉行所へ訴人するやうな顔をして、その足でこうして此方へ上つたやうな始末で」

と、龍圓餘程急いで來たと見えて、早口に喋り立てながらふうふう云つてゐる。

「うむさうか、よく云つて來て呉れた」

善右衞門は凝乎と腕を組んだまゝ一向に驚いた風もない。

「へえ、儂しや親分、いや、旦那にや以前お世話になりました上に、此間しみじみお意見を伺つて、もうふつつり惡い事を思ひ切つて、せめて疊の上で往生してえ、こう思つてゐた矢先なのですから、せめてもお恩報じにと思ひまして」

「有難う、私の意見で、そんな氣になつて呉たのは何よりの事だ」

「が、早い事にしませんと、あつしが、こうして伺つた事を感附いたら、彼奴等あ旦那方にどんなお迷惑な事を……」

と、龍圓氣ぜはしさうに、息を呑む。

「白井さん、あんたの御意見は」

善右衞門は先刻から黙つてゐる作樂の方へ話しを向ける。

「どんなものでせう、打つとなれば六兵衞はお梨花殿には親の仇敵、陣野氏とお梨花殿に知らせてやつたら。その上で私達が第二の備へをして出る事にしては」

「成程、お尤もなお話」

「が、その前に聞いて置きたいのは、お蓮と露木の住家は解つたのか」

と、作樂が龍圓に訊く。

「それがその、大崎村邊にゐるらしいつて事だけ妙な事から嗅ぎ出してゐるんですがね、尤も六兵衞の奴あもつと詳しく知つてゐるのかも知れねえんです。此間中から頻りに手出しをしたがつてゐる樣子でげえすから」

「では、それはそれとして、手紙を一本書くから、御苦勞だが金杉濱町の因州屋敷まで、届けて貰えぬか」

「ええ、ようございますとも」

龍圓の返事に、作樂は、料紙と硯を取寄せて、さらさらと一通の手紙を認めて

「これを、御門番に届ければよい。急いで駕籠で行つて呉れ」

と、小粒を紙に捻つて、手紙に添へながら。

「それから手紙を届けたら、何喰はぬ顔をして、一先づ六兵衞の處へ歸つて、今晩の五ツを合圖に天王寺の境内まで來て貰ひたい」

「へえ、承知致しました」

龍圓が、いそいそと大急ぎで出て行くと、後は作樂と、善右衞門の二人、

「今晩は、また飛んだ芝居が見られますぜ」

と、善右衞門、相變らずにこにこ顔。

「はつはつは……見物にいらつしやいますか」

「是非久しぶりで、貴郎の成田屋張りの處を」

「私は、せいぜい三枚目、が、内裏雛のやうな立役者が揃つてゐます、それで木戸錢入らずですから」

「いやに、燗てますれ」

「その實一役、買はせやうと思ひましてれ」

二人は面白さうに輕口を叩きながら、大きな聲で笑つた。

帝國館の再生装置　完成し廿六日から使用

帝國館では既報の如く日活映畫のトーキー化により古河電氣を通じてクランク・トービス再生機Z型を購入し過般來、裝置中であつたが、いよいよ完成したので今明日中に「時の氏神」と「女國定」を試寫、檢閲を受け豫定通り來る廿六日から前記二作品を以てトーキー興行に乘出すことになつた、なほ第二回は「上海」の豫定で都合プロ上映計畫があるが未だ具體化してゐない、因にトービス再生機は常盤座、中央館、帝國館、奉天平安座(近日裝置に着手)の四館となる譯である

ゆふべの協和會館に於ける三浦環女史の獨唱會は果然大成功を納めたが▲女史は「お蝶夫人」をはじめ得意の「三十三間堂」や「梅にも春」をゼスチア入りで唄ひ▲タマキ・ミウラの面目を舞臺にみなぎらし聽衆は大喜びで恐らく協和會館はじまつて以來の特異な雰圍氣をつくつた▲帝國館にトービス再生機が据はりいよいよ日活の發聲映畫が配給されて來るので▲奉天と撫順も何とかしたいと伊藤出張所長が名案を思ひついて曰く▲ポータブルを二館で購入して負擔を輕くして掛けもちするとい、

◇◇蒲田作品勝敗◇◇　朝日新聞連載の菊池寛原作の小説を北村小松脚色島津保次郎監督田中絹代、川崎弘子主演で映畫化したパート・トーキーである(次週中央映畫館上映)

高橋藏相留任説に財界各方面は好感

難局の乘切りを期待　數日來の不安薄らぐ

【東京二十四日發】政局の不安につれて財界一般も數日來不安に襲はれ齋藤子に大命降下をみてもなほその財政經濟政策が判らないために尙暗中模索の狀態を續けてゐたが、高橋藏相の留任が大體確實なりとする觀測有力となるに從つて財界各方面では漸く安心したかの色がみえて來た、卽ち高橋藏相の留任によつて急激な變化を來すべき政策の實現は先づないとみたのとさきに犬養内閣の立案した日銀制度改正案、爲替管理案、不動產金融對策、關稅改正案等が大體において實現をみるべしとするにいたつたのと更に齋藤子は政民兩黨を始め各方面から閣僚を求めんとしてをりまた政民兩黨においても大體閣員を送つて援助せんとすること略明らかとなつたために齋藤内閣は政友會のインフレーシヨンにも民政黨の緊縮にも陷らず中庸を得た政策によつてこの難局を乘り切るものとの期待をもつにいたつたこと等によつて大體齋藤内閣の成立特に高橋藏相の留任を歡迎してゐる如くである、財界各方面の觀測左の如くである

各方面の觀測

各務謙吉氏　現下の財界の情勢では高橋藏相に從來の政策を踏襲して貰ふ外ない、又同氏の堅實な手腕と閱歷の重みは軍部に對しても好條件であらう、要所には多少煙い人がゐるのは必要だかられ

松永安左衛門氏　この際急激な政策の轉換は困る、高橋藏相留任は爲替の安定にも望ましいし電氣事業にとつても有利である

串田萬藏氏（三菱銀行）高橋氏の留任を見ることは眞に當を得たことゝ思ふ、犬養内閣の立案した日本銀行制度の改正爲替管理、不動產金融對策等は高橋氏の留任に依つて實現性が確實となり其の他の政策についても高橋氏なれば無理なことはしないので金融界は一先づ安心するであらう

牧田環氏（三井鑛山常務）財界の對策中產業の開發振興が最も肝要だ、これに依り失業も救濟出來る、新内閣は早く政綱政策を決定し斷乎として實行して貰ひ度い、吾々が政界に望むところは選擧法を改正してこの際政界の革新を圖ることだ

乘り切るものと確信する

結城豐太郎氏（興業銀行）高橋氏は政友内閣に在りても一に國家本位に依り金再禁止後の對策を講じて居られた、金融界の重要政策を實行するには是非必要な人で氏の留任は國家のため財界のため眞に喜ばしいことゝ思ふ

大川平三郎氏　實業家として新内閣に對する希望は

一、產業の振興

二、海外貿易の振興

三、農村窮狀の救濟

その他通貨政策、關稅改正等云ふべきことは非常に多いが要するにことを決する上には極めて愼重に研究し禍を殘さぬやうに希望する、老軀を押して留任される高橋さんの責任は重大である

森廣藏氏（安田銀行頭取）懸案になつてゐる日銀制度改正爲替管理不動產金融對策等は誰が藏相になつても實行せねばならぬと思ふが夫れには高橋氏の藏相留任が最も望ましい、同氏は眞に國家本位の政策を執る人であり現下の財界は手腕力量のみならず人格聲望の秀でた人が出て人心を安定せしむることが肝要なるに於て特に同氏の留任を望む次第である

木村久壽彌太氏　私は後繼内閣には高橋是淸氏を首班とする政友延長内閣の出現を望んでゐたが齋藤子の出馬を見たのも結構だ、高橋氏が藏相として留任されるならその政策は政友會のインフレイシヨンにも民政黨の緊縮にも陷らず中庸を得た經濟政策に依つてこの難時局を

失望人氣もあり各市場保合

今朝何等變化なし

【東京二十四日發】齋藤子の擧國一致内閣組織で人氣安定の筈であるが市場では先週末既にフミ上げ相場を現し新内閣に對して實質的に無力とみる失望人氣もありて昨日の市場は新東百五十圓飛び臺の安値をみせたが今朝は各市場共引續き保合何等變化なし

【神戶二十四日發】爲替は滿鐵、捗々しくないが輸入取きめも全然見送られ閑散であつた

米價慘落

新内閣期待薄

【東京二十三日發】政友内閣の米價政策が打切られ而も新内閣に積極政策期待薄き氣配から米價は慘落し先物二十二圓八十六錢と暴落新安値を示し引際漸く九十一錢と戾した、引跡氣配は九十八錢である

爲替氣配强調

【神戶二十四日發】對外爲替午前の氣配は入電米日高と高橋藏相留任決定に好感を呼び氣配すこぶる强調であつた

【神戶二十四日發】對外爲替十時半變らず氣配寄鼻一部に下唱へもあつたが市況漸次好感ビル出廻り

銀市場に響く爲替管理

結局狹い意味の管理　資金逃避の防止程度

（上）

後繼内閣の藏相は略高橋是淸氏に内定した模樣であるが同氏留任となれば經濟政策としては大體前内閣當時の政策を踏襲することになるべく殊に爲替政策に對してはさきに聲明した通り爲替管理法制定に努力するは瞭かである、政府の爲替政策は直接的に當地銀市場に多大の影響を齎らすものであるから此際傳へられる爲替管理について考察することは徒爾ではあるまい

◇

暫く止まつてゐた資本の逃避は、上海事件の解決で國際關係の不安が除かれたのと、内地金融が引緩んで來たゝめに又復始まつたのである、然るに財界の現狀は既に昨年末巨額の資金が逃避したゝめに極度に困窮の事態に至つてゐる上に本年は滿洲への投資は是非行はればならぬし、外債の支拂には外國で起債が出來ないために可なり巨額な資金が出るものと豫想されるので財界は前途不安にかられてゐる、それにも拘らず尙この上に資金を持ち去られる樣な事があつては、財界は勿論、國家經濟の破綻を招來する外ないので、之は經濟の自由を束縛しても取締られねばならないことである

◇

實際資金の逃避を防止する事は財界の緊急事であり、之が出來なければ財界の救濟も、資金の救濟も、資金の供給も有效とならないのですから、その原因を除去するに努める一方之れが防止の方法として爲替管理が出現するは當然の成行である、故にこの爲替の管理はそれが完全に行くか行かないかは別としても、財界當然の處置として行はればならぬ事である、從つてそれが經濟の自由をある程度まで束縛するものであるから、必ずや財界にある變化を與へることは必要であると共に、惡い影響を受くる方面もあることは覺悟せねばならないことで、それがどんな順序でどんな形で財界に變化を與へるかといふことを考へるのは最も必要なことであらう。

◇

然らば之れが豫測は何に依つて立てるかと云ふに、各國の先例を參考とすることは勿論必要であるが國それ〴〵管理の目的も理由も異なり又同情も違ふことであるから一概に各國と同じ結果を齎すものであるとは考へられない、我國の狀態から立脚してその管理がどの程度まで行ひ得るかと云ふ豫測を立て、獨自の立場から考察すべきものであらう、そこで今日本が爲替管理を行ふ場合どの程度のものであるかと云ふに、爲替管理は貿易管理を伴ふでなければ不可能であることは云ふまでもない事であるから、政府は始めの内は對外投資の取締りと買爲替（輸入爲替）の管理位の積りであらうけれ共結局は貿易管理に至るであらう事は豫測して間違ひない所である

それから爲替相場の安定といふ事は一般も希望する所であり、爲替管理の目的が、こゝにあると見らるゝ位であるが、それには巨額の資金が必要であり、日本の現狀としてはそれは出來ない相談であるから廣い意味の管理は、經濟原則からして日本では到底行ひ得ない只資金逃避の防止といふだけの狹い意味の爲替管理が行はれるに過ぎないであらうとは想像せられる

東南行貨物數量七年は全然逆轉

總量は著しく減じたが　五月は南行の獨占

本年四月以後の滿鳥協定による北滿貨物東南行比較を示せば

		六年四月	七年四月
東	行	三三、三〇五	五五、四四六
南	行	三二、五四〇	八五、三三三
	計	一五三、八四五	一一〇、七七九

		六年五月上旬	七年五月上旬
東	行	四八、九一四	〇
南	行	六、五六二	二一、六四六
	計	五三、四六六	二一、六四六

		六年五月中旬	七年五月中旬
東	行	二三、三三〇	〇
南	行	一五、二七九	二七、九九九
	計	三七、六〇九	二七、九九九

となるが、右表の如く輸送量が著しく減少した原因は東支東部線の不安にも因るとはいふもの、六年十月の特產出廻期以後七年三月までの輸送量が前年に比し相當の增量であつたことが大きな原因で卽ち六年の出廻期以後七年三月までの滿鳥協定による北滿貨物の出廻總量は百四十六萬噸に達するが前年同期は百二十四萬五千噸にすぎず二十一萬五千噸の增加である

また本年四月以後の東南行に就て見るに六年は東行斷然優勢を示したに反し七年は全然逆轉の形であるがこれは全く東支東部線の不安に原因するもので五月以後の東行皆無は同線の不通の結果であるとなほ五月上旬の北滿貨物在貨噸數は約三十五萬噸であるが前年に比し約四十萬噸の減である

輸組の貸出擴張本年は絕望

未だ其時機に非ずと　滿鐵、組合員に戒愼を促さん

滿洲輸入組合聯合會の定時總會は六月三日大連において開催されるが、事變による各種の影響を深刻に體驗して以來の最初の總會である丈けに相當各地組合員側から今後の組合の滿蒙新狀勢に對應した活動方針、組織其他貸出事務の改善等につき積極的な提案が行はれるものと觀られ注目されてゐるが就中例の每年提出されて保留となる貸出限度の擴張並に擔保範圍の擴大問題は可成り熱心に實現を要望されてゐる、右に關する滿鐵側の意向を仄聞するに擔保物件の範圍の擴張に就いては實施方法の如何によつては充分考慮の餘地あるものとせる如くであるが貸出限度の擴張に就ては滿洲經濟界の現狀に鑑み未だ輸組聯合會として積極的轉換策を講ずべき時機に非ずとして極力各地組合員の戒愼を促さんとしてゐる模樣であるからこれが本年度よりの實現は殆ど望みなきものと觀られてゐる

四月大連外輸組業績

貸出は增加

滿洲輸入組合聯合會調査＝大連外十六輸入組合の四月中における業績を見るに

三月末貸付殘高 三、一四〇、一七八、二五七
四月中貸付額 一、四四〇、七五六、五一一
四月中回收額 一、四五五、七七一、〇一一
四月末貸付殘高 三、一二六、一六三、八七

にして前月末に比して一萬八千九百八十四圓五十錢の貸出增加となつてゐる、各地別內譯左の如し（單位圓）

組合別	貸付額	回收額
大連	三五〇、六七〇	四四三、〇〇七
旅順	二八、九〇三	三一、三四七
大石橋	一〇、四一八	一六、八二二
營口	四四、〇六一	四〇、〇四四
鞍山	六六、〇九九	六七、一三六
遼陽	一三五、八六九	一二六、三一〇
奉天	一八二、六九八	一八三、九四〇
撫順	七四、二一五	七七、九二一
本溪湖	一〇、一四五	一七、〇三三
安東	一三四、九四一	一三六、八四〇
鐵嶺	三三、七七八	四五、四四一
開原	一一、三七七	一六、八二七
四平街	三九、一六六	五四、一六九
公主嶺	一八、〇一一	一〇、八六三
長春	一一五、三六四	一〇三、八八八
吉林	一五、三三五	一一、八四八
哈爾賓	一四三、六〇〇	一三八、八七六
合計	一、四九四、七五六	一、四五五、七七一
（信用）	一、四二七、〇八五	一、四二五、九三五
（擔保）	六七、六九一	二九、八四七

五百萬弗現送

【東京二十四日發】政府の產金買上は前週末迄に二千七百五十九萬圓に上つたので政府は曩に二回米國へ現送したが來る三十日發額五百萬弗を神戶發の氷川丸で現送することゝなつた

東拓の外債償還資金及び多額の外債クウポンを手持ぜる外銀賣進すに對米三十一弗八分七の唱へもあつて氣配強く推移した

產金買上値段

【東京二十三日發】本週中內地產金買上値段は七圓三十八錢（前週より十錢高）と決定發表された

金融組合聯合會定時總會

初めて配當

滿洲金融組合聯合會定時總會は二十四日午前十時半より大連商工會議所において開催したが關東廳より横山財務課長、近藤理事官、張臨席し大連金融組合以下全會員二十組合の組合長並に理事出席の上定刻天滿理事長開會の辭に次ぎ理事就任挨拶あり議案審議に入つたが

天滿理事長議長席に就いて六年度財產並びに事業報告、剩餘金處分案及び監事の意見書承認の件等異議なく可決、定款「監事二名を三名に增員に變更の件」も同樣滿場一致可決、引續き監事改選の結果は大連金融組合理事奥田種彥、旅順會屯金融組合理事橘辰之助兩氏何れも重任に決した、終つて横山財務課長一場の訓示あり午餐の後各地組合の狀況に就き懇談、午後一時半無事散會したが

數年來繼續せる世界的不況と金輸出再禁止、圓價暴落、銀價向上の折柄北滿、上海兩事件の勃發に各市況沈滯を極めてゐる際、同聯合會各組合の業績は一般の不況にも拘らず良好にして關東廳の補助金も受けず相當の剩餘金を生じ初回の配當を爲すに至つた、因に聯合會の剩餘金處分案を示せば左の通りである

本年度純剩餘金　九千參百七拾五圓五錢也
前年度繰越金　壹千四百八拾四圓五十五錢也
合計本年度剩餘金　壹萬八百五拾九圓六拾錢也
　內譯
缺損補塡準備金（本年度剩餘金の四分一强）金參千圓也
特別準備金　金參千圓也
翌年度繰越金　金四千八百五十九圓六十錢也

また總裁がお見えになるがそれまでには調査も濟み着手することゝならう

鹽田、酒精工場を先づ大擴張

東拓の新規事業決定

朝鮮及び滿洲各地を約一ケ月に亘つて巡視各地の實情調査中であつた高山東拓總裁は去る十八日歸京、愈々現地調査の結果に基き、着々新規事業に着手することにあつたが、先づその第一着手事業として關東州の鹽田擴張並にハルビンの酒精工場の

擴張

を行ふことゝなつた卽ち前者は既に東拓が大正十二年以來登沙河に於て着手現在四百五十餘町步の鹽田を有する外旅順に精製工場を設立、專門家を擁し事業に對し可成りの經驗を有せるとの不安なきこと、また内地における鹽の自給を圖る國策的見地より關東州は極めて安全にして投資上愈々擴張することとなつたもので既に大連支店より大體の計畫案が本社に提出されてゐる模樣であり少くとも現在の三、四倍の擴張卽ち千五百町步乃至二千町步を新規に開拓する模樣で近く本店より測量班の一行が來連實地につき調査を遂げることとなつてゐる

後者

の酒精事業に關しては約三百萬圓の投資をなしてゐるが舊軍閥の壓迫により製品の販路を閉ざされ休業の止むなきに至つてゐたが、今日の事變により周圍の情勢は一變し極めて有望なる將來のある事業となつたもので、現在の設備を更に擴張し年產三萬石の製造能力をもたせ包米を原料として大々的に工業化せんとするものであるから

今秋迄に着手

中澤支店長談

右鹽田擴張に關して中澤大連支店長は語る

まだ正式にどうするといふ具體案は出來てゐないが、先般總裁が來連されたとき、鹽のことについては詳しくお話しておいた愈々着手することゝなつても千五百町步になるか二千町步になるか、實際に測量して見ないとわからない、本店には專門の測量技師もゐることだし、近く實地に就て測量して決定的具體案が出來上ることゝならう、今秋

河豆取引はまだ

大野氏視察談

三井支店長代理

三井物產大連支店長代理大野敬信氏は先般來ハルビン、チチハル方面の實情視察中であつたが二十四日朝歸連左の如く語る

河豆の出廻りについては或は二十萬噸といひ、樂觀視する人は三十萬噸位は出るように言はれ各人の觀測はそれ〴〵に異つてゐる、然しながら御承知のように兵匪の跳梁は益々熾烈なるものがありこれに對する皇軍の徹底的討伐等の關係で商人自體としてはまだ河豆の事實上の取引を如何にするかについては目下の處頭が向いてゐないようである、松浦鎭方面はあれだけの激戰であつたに拘らずハルビン市場は極めて平靜であり、チチハルまた同樣であつた、東支西部線は現在危險狀態にあり列車は運轉を停止してはゐないが日本人の乘車が危險であるので憲兵隊に於ても日本人は乘込ませないことにしてゐる、自分は幸ひ飛行機に便乘することが出來、ハルビンよりチチハルに行つたのだが、危險地域はハルビン、滿溝間であつてこの方面は農安地方に主力を集中する李海靑の率ゆる兵匪が跳梁してゐるようである、今年度の作付段別は例年と大差なき模樣だが肝腎の資金が乏しいために苦力を使用することが出來なかつたり、甚しいのは種子の缺乏等で收穫減は免れまいと觀られ、悲觀說を唱ふる向は四割減等と言はれてゐる、皇軍の兵匪討伐は着々進みつゝある模樣だからハルビンより東北方面に伸びる松花江の河豆が間もなく出廻つてくるのではないかと思ふ

苗塵

◇…無際限に惡化して行く世界的恐慌を喰止めんがために各國經濟界は種々な形態で計畫經濟への轉向を示してゐる。

◇…我國に於ても財界の局面打開策として統制ある計畫經濟政策等が昨今盛んに唱へられ出したかといふ具體案は未だ確定してゐない。

◇…滿洲を本邦經濟圈の延長として扱ふことが說かれるのもその一つの現れだが、只如何にする

◇…尤も内地有力實業家方面では滿洲は日本内地に對する原料供給地とすることが得策だといふ意見は大體一致してゐるやうだ

◇…しかし滿洲において大規模な工業を起すことが内地產業を脅威するといふ見地から在滿工業を原料生產事業に限定せんとするものならば謬まれるも亦甚だしと云ふべきである。

◇…たとへ邦人の在滿企業計畫を原料生產だけに限定したとしても歐米諸國が原料以外の大工業を計畫した場合は果してどうするつもりだ。

◇…門戶開放を標榜する滿洲國において邦人企業を斯うした狹い範圍に限定せんとするは餘りに短見でもあり又虫の良い考へである。

◇…日本の金融資本家や企業家がソコまでも斯うした偷安に眠り仕事をしようとするから國民的反感を招き自らの墓穴を掘ることになるんだ。

貨物在庫頭埠

5月12日（單位噸）

品目		本年ノ本日	昨年ノ本日
大豆	混保	262,896.2	165,763.8
	非混保		
	白眉豆	8,213.1	
	靑豆	2,245.6	
	合計	373,354.9	165,763.8
小豆		5,926.6	10,660.9
吉豆		1,073.4	1,521.3
高粱		55,379.5	22,121.0
包米		2,086.6	2,154.6
大米		2,070.2	974.3
小米		516.7	451.9
麥子		18.1	
蕎麥		305.9	768.7
芝麻		435.6	76.7
大麻子		552.4	23.0
小麻子		2,305.7	576.1
蘇子		3,044.1	2,234.2
落花生		3,446.7	7,734.8
雜穀		1,148.1	1,933.7
豆粕		115,520.5	36,091.4
雜粕		770.4	1,691.7
獸骨		163.8	145.7
豆油		2,348.8	4,441.8
其他ノ油類			
麥粉		7,148.9	4,505.8
燒酎		3.0	
セメント		671.3	3,164.1
飫子		3,350.2	3,111.5

市況（廿四日）

特產

買氣なく豆と粕軟調

今朝の定期は大豆と豆粕は輸出筋の買氣なく軟調を辿り豆油、高粱も人氣引立ず弱保合を呈した

◇定期前場（銀建）

▲大豆（軟調）單位厘

限月	寄付	高値	安値	大引
三月末	五三二〇	五三二〇	五三〇〇	五三〇〇
六月末	五四〇〇	五四〇〇	五三六〇	五三六〇
七月末	五四一〇	五四一〇	五三八〇	五三九〇
八月末	五四八〇	五四八〇	五四四〇	五四四〇
九月末	五五三〇	五五三〇	五五〇〇	五五〇〇

出來高 百九十三車

▲普通大豆　出來不申

▲豆粕（軟調）單位厘

限月	寄付	高値	安値	大引
六月限	一七〇	一七〇	一六三〇	一六三〇
七月限	一七五	一七〇	一七四五	一七四五
八月限	一八〇	一八〇	一七〇	一七〇

出來高 八萬三千枚

▲豆油（弱保合）單位錢

限月	寄付	高値	安値	大引
六月限	一四五	一四六〇	一四四〇	一四四五
八月限	一四九〇	一四九〇	一四九五	一四九五

出來高 四千五百箱

▲高粱（弱保合）單位厘

限月	寄付	高値	安値	大引
五月末	二六四〇	二六四〇	二六四〇	二六四〇
六月末	三〇一〇	三〇三〇	三〇一〇	三〇三〇
七月末	三一七〇	三一七〇	三一七〇	三一七〇
八月末	三二七〇	三三〇〇	三二七〇	三二七〇

出來高 七十五車

▲包米　出來不申

◇現物前場（銀建）

	寄付	大引
混保大豆（裸物）	五三八〇	五三五〇
普通大豆（裸物）	五一〇〇	五〇七〇
豆粕	一七三五	一七二五
豆油	一四四五	一四四〇
高粱	二八四〇	二八四〇

包米　出來不申

定期喰合高（廿三日）

		前日對比
大豆	四九四七車	△六六車
高粱	一四八九車	五車
豆粕	二五一七千枚	二三千枚
豆油	一八二五百箱	三〇百箱

豆粕生產高（二十四日）七一〇〇〇　一二五軒

錢鈔

當市强保合　材料に逆行す

今朝海外銀塊區々、上海標金强保合、日米第一回十六分の一高、第二回同事、第三回八分の一高の三十一弗四分の三、米日三十一仙高の三十一弗六十八仙と當市弱材料揃ひしも頭打ち氣迷ひ人氣なるため却つて强保合に終つた、滙申七十二兩五五、滙烟七十兩九七五、大洋九十七圓十錢

◇定期前場（單位錢）

	寄付	高値	安値	大引
近期	六九五	六九四〇	六九〇	六九三〇
遠期	六九四五	六九七〇	六九一〇	六九六〇

出來高（期近二百五萬圓、遠期二百九十五萬圓）

◇現物前場（單位錢）

	銀對金	銀對洋	金對洋
九時	六九〇五	一九〇五	一七三四〇
十時	六九〇五	一九〇五	一七三四〇
十一時	六九二〇	一九〇〇	一七二九五
十二時	六九三〇	一八八〇	一七二八〇

出來高（銀對金十五萬五千圓、銀對洋二萬八千圓）

商品

綿糸保合　麻袋小碇り

定期　株式出來高（廿三日）

定期	一、七二〇枚
延期	一、〇八〇枚
糶合計	五〇枚
早渡手形	一、八五〇枚
金額	九二〇枚
早受	一九、九〇五圓
金額	一、〇二五圓

●麻袋　產地入報によれば靑筋四分一安、鐵筋八分一安、爲替二分一高に當市先限は相當上値に買煽はれ氣配二三厘方昻騰を見せた引際氣配は現物二十六錢五厘、五月二十五錢五厘、六月二十五錢三厘七、八、九月二十五錢三厘、十月二十五錢四厘見當

銘柄	約定期	値段	數量
鐵筋	十月限	二五二	一〇〇
同	同	二五三	一〇〇
同	同	二五四	一〇〇

出來高 三萬枚

●綿糸　米棉現物十高、圓先限七高と反撥好轉を傳へ大阪三品は各限に一圓方碇りと寄付いたが、株式市況の不活潑と氣迷氣分濃厚なる折柄とて各限五、六十錢安とボンヤリに引けた、當市はマバラ筋の期近轉賣物と先限には小口新規買ありて小手合せを見せた

銘柄	約定期	値段	數量
福助	七月限	一二八八	三〇
同	同	一二八七	七〇
同	九月限	一三三五	三〇

出來高 百三十梱

上海標金　寄値 七二八兩二　高値 七三二兩四

株

北濱の寄は小碇りであつたが引はボンヤリとなり東新も寄二圓臺の保合引は一圓臺と不冴えを入れた▲當市も氣乘薄で定期の五品は六七十錢安乍ら延は安値には買氣あり保合であつた▲後繼内閣の藏相は高橋氏の留任說が有力となつたので結局經濟政策は前内閣と變りないものとみて强力内閣を期待したゞけが失望さるといふ譯で株式は冴えない▲何人が藏相となつても現下の財界不況が急に良くなる道理はなし内閣の顏觸れに一喜一憂するよりも財界の實勢を再吟味して賣買双方共大方針を決定する方が得策であらう。

糸

米棉市況は現物十ポイント高先七八高と强調を示した▲情報は產地に降雨が多過ぎるので賣り物が出たため市況閑散乍ら碇りとあり▲大阪三品は各限一圓掴み高に寄つたが株式の不冴えに引はボンヤリを入れ當市はマバラの期近轉賣と先物新規買で小手合せをみた▲綿糸に下値氣しとみられてゐるが原棉及爲替共不透明な商狀にあるので氣迷ひを免れず結局株式次第で一高一低と繰返してゐる。

株式

當市弱保合　内地變らず

北濱定期の前場寄は大株七十錢高大新二十錢高鐘紡二圓二十錢高鐘新同事と碇りを示したが引はボンヤリ東京短期の東新は二十錢高の保合に寄つたが引は軟弱を入れ當市の五品は定期五六十錢安延は保

◇前場　◇定期（單位十錢）

豆

今朝大豆は輸出筋の買氣なく加ふるに南支筋の利喰の賣物續出して低落商狀を辿つた▲豆粕は內地米價安を入れて買氣なく南支筋の小口買も利かず軟弱を示した▲埠頭の在高も大豆は十二、三萬噸餘も減少したが豆粕のみは依然として四百二十萬枚を越えて居り▲而も內地筋の買氣が皆無の狀態だから豆粕屋サンの困惑が察せられ擧國一致の齋藤内閣にもさして期待が有てぬらしい▲當分この閑散は續くものとみればなるまい。

銀

今朝海外銀塊は倫敦近物同事先物十六分の一安に對し▲紐育八分の一高と區々を入れ漸く氣迷商狀の傾向にあり▲一方日米は二回に亘つて十六分の三方濟騰を入れ卅二弗臺に迫らんとしてゐるが▲これまた那邊まで伸び得るか甚だ疑問であり▲一般には大勢安見込みと目先きも頭打ちと見るものが多いやうである▲そこで今朝の材料からすれば弱かるべきところを▲昨後場低落のあとだけ却つて强保合を呈した。

合東新は寄二十錢高引二十錢安の釘付商狀であつた

滿鐵株（保合）

△東短前場 滿鐵新株	二十六圓十錢
△大阪現物 滿鐵舊株	五十三圓七十錢

◇爲替及受渡日步

品	爲替	受渡	代引	代渡	日步
五品	一九五	三三〇		四〇	
新豆	一九五	一〇			
錢鈔	一四〇				
氷新	一三〇				
東新	一三五	六〇			
鐘新	九〇〇				
大新	六〇〇				
滿鐵新	二三五				

◇延取引

銘柄	寄値	高値	安値	大引
五品	一二三	一二三	一二一	一二三
新豆	—	—	—	—
錢鈔	三三四	三三四	三三四	三三四
東新	一三三五	一三三五	一三三三	一三三三
滿鐵新	二三七	二三七	二三七	二三七

銘柄	當限	先限
新豆（寄・引）	—	—
五品（寄・中・引）	九三 九二 九二	九五 九五 九四

鮮銀帳尻（廿一日）

發行高 七一、八一九、九〇〇
正貨準備 三三、九六六、〇〇〇
保證準備 四七、八五三、八〇〇

安値 七二一九
止値 七二一九

手形交換高（廿四日）

金 九三〇枚　二、六九四
銀 四九五枚　二、七七八

爲替相場

鮮銀（金勘定）

倫敦向電信買（一円）一志六片
紐育向電信買（金百）三二弗
上海向電信買（同）一〇〇兩
日本向電信賣（銀百）
同 賣（同）
同十五日拂買（同）

奧地市況

錢鈔

奉天（奉票）	（先物）	九〇、〇〇
奉天（現物）		
大洋票（定期）		
開原（大洋）	（當限・先限）	
安東（鎮平銀）	（當限・先限）	
哈爾濱（大洋）	（現物）	

特產

▲大豆　寄付　大引

哈爾濱（六月限・七月限・八月限）
▲小麥
哈爾濱（六月限・七月限・八月限）

各地特產發送高

▲開原　大豆 四二車　高粱 九車　豆粕 — 雜穀 六車
▲四平街　大豆 一〇
▲公主嶺　大豆 九車　高粱 一三車　豆粕 —　雜穀 二車
▲長春　大豆 一四

大連埠頭到着高

大豆　高粱　豆粕　雜穀

市場電報（廿四日）

銀塊及爲替

倫敦銀塊	一六片八分五
同 先物	一六片八分五
紐育銀塊	二七仙四分三
孟買銀塊	—
スチール	二六弗八分七
アナコンダ	四弗三分一
英米爲替	三弗六七仙四分三
米日爲替	三一弗六八仙
米支爲替	二〇弗八分五

神戶日米

	賣	買
▲第一回	三一弗十六分九	三一弗八分七
▲第二回	三一弗八分五	三一弗八分七
▲第三回	三一弗十六分十一	三一弗八分七

棉花

●米棉　現物 六仙九五

●印棉

五月	五仙六八
七月	五仙八二
十月	六仙〇八
十二月	六仙一九
一月	六仙二七
三月	六仙四〇

ベンゴール —
ブローチ —
オムラ —

大阪株式

銘柄	前場寄	前場引
大株	七四一〇	—
大新	六六三〇	六六二〇
鐘紡	二〇一〇	一九九〇
鐘新	八九〇	八九一〇
日糖	—	—
郵船	—	—
東株	—	—
東新	一三三九〇	一三三〇〇

（短期）大新東新

寄値	六六二〇	一三三四〇
引値	六六〇〇	一三三〇〇
高値	六六〇〇	一三三一〇
安値	六六〇〇	一三三〇〇

東京株式

銘柄	前場寄	前場引
東株	一三三一〇	一三三〇〇
東新	一三三二〇	一三三六〇

五品（當・中・先）　一八九〇 — —　一八八〇 — —
豆新（當・中・先）　一九一〇 — —　一九二〇 — —

（短期）東新　滿鐵新

寄値	一三三二〇	二六一〇
引値	一三三一〇	二六一〇
高値	一三三〇〇	二六一〇
安値	一三三八〇	二六〇〇

大阪期米

	前場寄	前場引
當限	二三三〇	二三二〇
中限	二三六六	二三三五
先限	二三二〇	二三〇八

東京期米

	前場寄	前場引
當限	二三〇六	二三〇一
中限	二三六九	二三六五
先限	二三〇一	二三九八

神戶期米

	前場寄	前場引
當限	二三三〇	二三三八
中限	二三〇六	二三六〇

大阪綿糸

限	前場寄
先限	一三三三
五月	一三六〇
六月	一三六〇
七月	一三三〇〇
八月	一三五〇〇
九月	一三三〇〇
十月	一三四〇〇
十一月	一三三九〇

大阪棉花

	寄付
當限	一六六〇
先限	三三五〇

橫濱生糸

限	前一節
五月	四四〇
六月	四四〇
七月	四七〇
八月	五〇一〇
九月	五〇四〇
十月	五九〇

印度麻袋

鐵筋直積　二三留
靑筋直積　二六留
爲替相場　二六留

滿洲日報

齋藤子組閣に奔走

【東京二十三日發】齋藤子は廿三日午後一時四谷の自邸を出で丹後町に倉富議長を訪ひ大命降下の挨拶を述べ、三田臺町の官邸に牧野内府を訪ひ挨拶後組閣方針を披瀝し内府の意向をも聽取して二時十八分辭去、同伯より激勵あり二時四十五分辭去、三時八分大森山王の私邸に清浦奎吾伯を訪ひ會談、意見交換、見舞かたぐ〳〵挨拶を爲し此處に一通り重臣との會見を終り四時十五分自邸に歸つた

【東京二十三日發】齋藤子は廿三日閑院公始め重臣を歴訪し現下重大事に處する根本方針につき意見交換、等と會見し政黨方面の意向も大體明瞭となつたので午後六時私邸で湯淺、兒玉、丸山、赤池、等と會見し政黨方面の意向も大體明瞭となつたので閣僚詮衡入閣交渉を開始することゝなつた項に就き聽取したが愈々二十四日より閣僚詮衡入閣交渉を開始することゝなつた

鈴木總裁を訪問し 政友會の援助懇請
即答を避け、けふ回答

【東京二十三日發】齋藤子は重臣との會見後午後四時三十分鈴木總裁を内相官邸に訪問、先づ大命を拜した挨拶を述べ時局重大の際擧國一致内閣を組織し難局匡救に當る決心に就き政友會の援助を請ふと共に鈴木總裁の入閣を懇請したるに鈴木總裁は黨の機關に諮る必要があるから確答を避け改めて回答することゝし齋藤子は午後四時五十五分辭去した

【東京二十三日發】齋藤子が鈴木政友總裁を訪問し援助を乞ふた際鈴木總裁は

一、新内閣は如何なる政策を樹立するか
一、組閣方針
一、政友會より何名の入閣を希望するや

等につき質したところ齋藤子は今のところ具體的政策については考へてゐない、組閣方針は政民兩黨と貴族院側より適當の人材を入閣せしめる方針で何名取るかは決めてゐない、政友會よりは比較的多くの閣員を入閣せしめ度い

と答へた、鈴木總裁はこの趣旨を二十三日午後五時の最高幹部會に報告協議した

助をして呉れとのことだつた自分はこれに對し考慮の上お答へすると答へた、黨のことは黨の機關に諮つた上で決める、誰彼を入閣して呉れといふ具體的な話はしなかつた

總裁に一任
政友會幹部會の決定

【東京二十三日發】政友會は齋藤内閣に對する態度決定のため廿三日顚末を報告し承認を求めた

【東京二十三日發】鈴木政友會總裁は二十三日午後の政友最高幹部會で齋藤内閣に對する一切の裁量を總裁に一任されたので午後八時相官邸に床次、望月、久原、岡、小川五長老を招き懇談し政友會の今後の態度は

鈴木總裁は絶對に入閣せず一、誰を入閣させて呉れと人を指して來ないので黨内から誰を出して貰ひ度いと要求して來た際は總裁は黨内の實情を慎重考慮し總裁の裁量に依つて入閣せしめる

黨機關で決定
鈴木總裁談

【東京廿三日發】鈴木總裁は齋藤子の訪問を受けた後左の如く語る子は政友會總裁として自分の入閣を望み又黨としても何分の援

齋藤子訪問者

【東京二十三日發】本日の齋藤子邸訪問者は左の如し

湯淺倉平會計檢査院長、宇佐美勝夫資源局長、柴田善三郎前大阪府知事、樺山愛輔伯

大塚惟精氏
清浦伯等訪問

【東京二十三日發】貴院議員大塚惟精氏は二十三日午前及午後に亘り清浦伯を訪ひ齋藤子の組閣準備の状況その他各方面の情勢を報告し安達氏の入閣可否に就いて種々

二十四日中の 組閣は困難
清浦伯談

【東京二十三日發】齋藤子の訪問を受けて懇談後清浦伯は語る

今日はほんの挨拶に來ただけである、何分にも大命を受けたのが突然だつたゝめ閣員の人選についてはまだ何等腹案を持つて居らぬと云ふ話だつた此難局を引受けられたのは甚だ御迷惑とは思ふが國家のため充分勉強を願つて置いた、閣員については明日中に組閣を終るのは困難ではないかと思ふ、なほ高橋藏相が留任されるとの噂さがあるが事實とすれば國家のため慶賀に堪へない

私は急がぬ
廿四日からは捗らう
齋藤子は語る

【東京二十三日發】齋藤子は語る

未だ組閣の方法も何もお話するだけの事柄に達して居らぬ、今日は漸く重臣方面と政民兩黨總裁にお會ひした位で第一日は終つた樣な次第で明日から段々人にお目に掛つた上で組閣に着手する積りで未だ政策等も極つて居ないが何れ決定して公にする時期があらう、新聞は非常なスピードで先へ〳〵とやらうとするが私はスローでやらうとする流儀で諸君と私の流儀は多少違つてゐるからその點は諒解して貰ひ度い、今夜は別に會見する人もない、何れ明日から段々捗取ることゝ思ふ

民政、入閣して援助
若槻男齋藤子に回答

【東京二十三日發】齋藤子から入閣及び援助を懇請された若槻民政黨總裁は幹部會から一切の處置を一任され更に山本男とも協議諒解を求めた結果二十三日午後五時四十分四谷區の私邸に齋藤子を訪問正式に

民政黨は齋藤子の組織されんとする内閣が政黨内閣ならざるを以て反對することは致さぬ、又政府の政策を良く理解せしめられた上は同内閣を援助する考である、入閣に就いては黨員を閣僚に出し自分は此際出でず黨に留まつて政府と黨との連絡の任に當つたが良いと思ふ

と回答し自分自ら入閣するを拒絶し代つて黨員を入閣せしめる旨を述べたる上、入閣黨員の人選は改めて具體的に相談することを述べて四十八分辭去した

山本男推薦
若槻民政總裁の意向
但し山本男は望まず

【東京二十三日發】齋藤子より入閣援助の交渉を受けた若槻總裁は廿三日午後零時半自邸に顧問幹母木、俵、原三氏を招き齋藤子との會見内容を報告し黨としての態度につき協議したが齋藤子が鈴木政友會總裁との會見の後指名でか若しくは何名と具體的に入閣の交渉があつた場合は他黨の顔觸れその他に應じて態度を決定することゝなつたが若槻總裁としては黨の顧問山本達雄男並に町田忠治氏を推薦する意向であるが山本男は若槻總裁自ら入閣する場合はいゝが左も無き場合の入閣は希望せず他の何人かを推薦することゝならう

山本邸を辭去

【東京二十三日發】若槻民政黨總裁は廿三日午後二時二十五分山本達雄男を訪ひ三時卅五分辭去した

山本男決意か

【東京二十三日發】若槻總裁は齋藤子より援助を懇請された結果黨の長老山本達雄男を訪問、右會見顚末を報告協議の後山本男の入閣を勸説したが、山本男も此の際四圍の事情より入閣已むを得ずと決意せる模樣である

民政黨幹部會

【東京二十三日發】民政黨は若槻總裁の代りに黨員の代表者を入閣せしめ齋藤内閣を援助することに決したるため若槻總裁は二十三日夜永井幹事長を自邸に招致し齋藤子との會見顚末を説明諒解を求め町田、川崎氏等は同夜日本倶樂部に會合協議の結果二十四日午後二時幹部會を開き總裁の態度を是認し援助を申合せる筈である

陸海兩相決定す
岡田、林兩大將

【東京二十四日發】齋藤内閣の閣員の顔觸に付いては目下頻りに各方面と折衝決定を急いでゐるが陸、海兩相は左の通り決定した

海軍大臣　岡田啓介
陸軍大臣　林銑十郎

猶ほ入閣確定せるものは永田秀次郎、水野錬太郎、山本達雄男、望月圭介、町田忠治

外相に内田伯を交渉

(東京二十四日發) 外務大臣は内田康哉伯に交渉中

政友會の回答を待ち 組閣準備に着手す
有力視される閣僚候補者

【東京二十四日發】齋藤子は政友會の回答を待つて愈々正式に組閣準備にとりかゝるが目下の處有力視さるゝ閣僚候補は左の如くである

外務　齋藤子は内田伯の蹶起を希望して居るが若し滿鐵と離れ難き時は松井慶四郎男、松平駐英、吉田駐伊兩大使邊から詮衡の筈

内務　山本達雄男は動かぬ處

大藏　高橋是清の留任確定的

陸軍　荒木中將は留任を肯んぜず眞崎參謀次長も入閣を喜ばぬため林朝鮮軍司令官となる模樣

海軍　岡田、安保兩大將の中から選ばれる模樣なるも岡田大將來年停年に就き安保大將有力

司法　湯淺倉平確實と見らる

文部　永田秀次郎説は動かぬ處

農林　町田忠治説ありしも新内閣の農政關係…

商工　…

遞信　望月圭介…

鐵道　町田忠治…

拓務　兒玉秀雄…

海相内相を訪問

【東京二十四日發】齋藤子は本日午後二時四十五分大角海相を海軍省に訪ひ約三十分會談、三時十五分辭去し二十分霞ケ關内相官邸に鈴木政友會總裁を訪問した

入閣を懇請
齋藤子、高橋氏に

【東京二十四日發】齋藤子は鈴木總裁を訪問の後高橋是清氏を訪問入閣を懇請正式受諾を得たる上、直に組閣に着手する

政友會の回答を督促

【東京二十四日發】齋藤子は今朝鈴木政友會總裁に對し組閣の進行に支障ながらしめるため政友會の回答を至急願ひ度いと述べたが荒木、大角兩相訪問後内相官邸に鈴木總裁を訪ひ回答を求めることゝなつた

政友よりの入閣者
高橋、水野、望月の三氏

【東京二十四日發】政友會よりの入閣者は高橋是清、水野錬太郎、望月圭介三氏に内定四人の場合は床次竹二郎氏が入閣すると觀らる

『新内閣を援助する』
鈴木政友總裁より回答

【東京二十四日發】鈴木政友總裁は二十四日午前齋藤子と會見後右に基き各方面と協議の結果同日午後三時内相官邸で齋藤子と會見進んで新内閣援助の旨回答した

高橋藏相、正式に 留任承諾を表明す

【東京二十四日發】高橋藏相は正式に留任を承諾した

湯淺、兒玉兩氏
入閣を承諾せん

内相、就任を固辭
第一候補の湯淺倉平氏

「交渉を受けたが斷る」
湯淺院長談

首相、外相を兼ね
對滿政策を確立せよ
食知鐵吉氏齋藤子に進言

陸軍問題を懇談
陸相を訪ひ

陸海兩相を 齋藤子訪問

陸相問題と 陸軍の異動

【東京二十四日發】新陸相は大體…

湯淺氏の 法相確實

【東京二十四日發】會計檢査院長湯淺倉平氏の司法大臣就任は確實である

政友内閣 最後の閣議

【東京二十四日發】政友會内閣最後の閣議は廿四日午前十一時開會紙に關する項目を削除するに決定午後零時半散會し最後の別れの午餐會を開いてシャンペンを抜いた

臨時議會の 法律案決定

【東京二十四日發】二十四日閣議は臨時議會に提案すべき左の法律案を決定した

一、兌換銀行券條令中改正法律案
一、國債の價格維持に關する法律案
一、日本銀行參與會法案
一、日本銀行納付金法律案
一、資本の海外逃避防止に關する法律案
一、昭和七年度一般會計歳出の財源に充つる爲め公債發行に關する法律案(赤字公債に關するもの)
一、昭和七年度以降國債償還資金の繰入れ一部停止に關する法律案
一、昭和七年度法律第一號(滿洲事件に關する經費支辨の爲め公債發行に關する法律)中改正法律案

齋藤子邸の 朗かな晩餐

【東京二十三日發】重臣の歴訪、若槻男の來邸など華々しく組閣の第一線に乘出した齋藤子は、午後七時から賑やかな晩餐に臨んだ、晩餐の數々は麴町寶亭のコック十五名が朝來擔ぎ込まれた數々の御祝品を材料に腕を揮つた刺身(鯛)中皿(鰹燒)…

失望した證券市場
俄然反動安を惹起
昨日諸株一齊に低落

【東京廿三日發】政黨を基礎とせぬ齋藤新内閣の出現は證券市場にとつて積極的の樂觀材料とならず兩三日來の強氣社を裏切つて廿三日の東株前場立會ひは新内閣の失望人氣に俄然反動安を惹起するに至つた、即ち當面の對策としては

財界 の建直し、滿洲問題の確立が急務とされてゐるが新内閣の政策が消極的と觀られて氣勢全くあがらず殊に市場の待望する強大なインフレーションも望み薄とされてゐるため著るしく警戒期に傾きかたがた早朝の短期新東株百五十四圓と二圓六十錢安によりついて一圓臺へ漸落し長期諸株は鐘紡の三圓餘安を首め一般事業株も暫く時局を靜觀するといふ人氣で買方の手仕舞ひ賣に壓せられ一圓内外安のもの多く日産は政友會の期待外れで特に賣られたのがめだつた、東株も例の

愚案 である増資問題が新内閣となつては全く望み薄となるのでこれらの悲觀人氣を加味し舊新各五圓三十錢方の暴落を演じた施政方針や藏相の顔觸れ等が問題となつてゐるが何れにしても急激の財界好轉を困難視せられて買氣は著るしく萎縮して來た

藏相の留任
財界に好感

【東京二十三日發】高橋藏相留任に決すとの報は財界の齊しく好感を以て迎ふる所で、高橋藏相は既に實行しつゝある日銀の制度改正、爲替管理法制定、不動産の資金化、産業保護を目的とする關稅引上げ其他積極的方針を遂行するは必然であるが財界としては何等從來と變りない譯で若槻、山本兩男等の入閣に依り萬一執かゝ藏相をなす曉は經濟政策が根柢から編改をみるべしと杞憂されて居ただけ高橋藏相の留任は財界に安心を與へたものとされて居る

爲替強調

【東京廿三日發】廿三日東京の爲替相場は齋藤子の大命拜受によつて政局安定の見込みたつたので前週中の氣迷ひ状態を脱して強調を示し寄付は對米卅一弗四分一對英一志八片一六分七と略前週末と同樣の唱へに始まつたがその後漸次昂騰して午前十一時半頃對米卅一弗二分一對英一志八片一六分九で買手は更に一ポイント高の對米對英共に八分五を唱へインターバンクの出會ひが多少あつた、尚正金銀行は對米卅一弗八分三對英一志八片二分一でマーチャントに賣應じて居る

南京政府疑ふ

【南京二十三日發】齋藤子に大命降下の報は當地要人達に大衝動を與へてゐる、即ち齋藤子は朝鮮統治の功勞者で滿洲を第二の朝鮮とする日本の野心の現れだと疑的見解を下し若し超然内閣出現せば之は國粹派と政黨との正面衝突を避けて國粹派の政府を作る一時的方便と見、日支兩國は永久に對立の外なきに至るであらうと多大の疑惑の念を抱いてゐる

米國は好感

【ワシントン二十三日發】齋藤子に大命降下の報道は當地の報道に對しワシントン官邊では一般に同子が國際外交の經驗者にして日本今日の困難打開の手腕を有すとなし朝鮮統治及び壽府に於ける日英米三國海軍會議當時の努力を賞めて居る

林軍司令官に 招電

【東京二十四日發】林朝鮮軍司令官は陸軍中央部の招電により近く上京する筈である、右は武藤教育總監の辭任に伴ふその後任就任方交渉のようであるが、眞崎中將の陸相就任が萬一實現せざる場合には、同大將に對して陸相就任が懇請される模樣である

林大將急遽東上

【京城廿四日發】林朝鮮軍司令官は昨夜、荒木陸相よりの招電に接し今朝十時七分龍山驛發急遽東上した

社説

經濟國難と生活との矛盾

近時の我國情は實に内外多事就中經濟國難の危機に直面して居る。かくの如きは獨り我國のみでなく、世界各國共に苦み惱んで居る共通問題だが、殊に急テンポで日本の前に置かれた重要課題となつた。人心の混亂から發生した不祥事の頻出、並にそれが齎らした政局の不安定など、實に一歩を誤らば國運の大頓挫を來すべき險相である。最近犬養内閣の瓦解後、強力政府の出現が朝野の間に提唱され、區々理論を排して實際に卽した政權の確立を仰望させたのも、その因一に玆にある。

◇

唯夫れ政界のこの趨勢に準じて國民自體の反省すべきは、日常生活上の弊風改善である。否な弊風といはんより寧ろ樣式の矛盾であつて、一面財政の缺乏を訴へながら、他面にさうした缺乏を大ならしむべき流風を、無關心で取入れて居ることである。目前の政治的諸問題から見れば、今の國際關係は些細の事件にも互ひに神經を尖らせ易い殊に東洋問題を中心とする日支日米諸國間の傾向は、恰も歐洲に於ける佛獨、露英のそれと同じく尖鋭化して居る。併し民族の日常生活からいへば、最も心して取り入れらるべき事柄が、幾んど無批判で國人の間に渴仰心を高めて居る。就中米國方面からのジヤズ文明の如きは、それが如何なる經濟的道德的影響を各人の私生活に及ぼすかを論ぜず、相率ゐてこれに追隨し、阿附し、模倣して後れざらんことを競ふ有樣である。吾人はダンスや、活動寫眞や、カフエの流行に對して、或る保守論者のやうに頑固な主張を墨守する者でない。併し國民が不景氣の生んだ生活苦を囂々し、或は階級鬪爭、或は思想惡化を嘆息し合ひながら、事の娛樂遊行に騙するものは、何は扨て置いても其間に陶醉せんとして居る狀態を甚だしい撞着矛盾だと評せざるを得ないのである。

◇

かうした流行は或る意味に於て文明普及の必然的傾向である切言すれば文明の感化には人類相互の流行が因だといひ得る。併し外來流行の善惡を甄別して之を咀嚼し體用し得ると否とは直ちにその國民精神の健不健をトすべき測定器である。卽ち例を右の米國と日本との關係に採つても、同國が有する文化には公平に追隨採擇すべき長所がある。併し審かに他の社會相を解剖すれば、國内の識者すらその始末に困つて居る弊風があり、健全な富强の實を蝕害する者として排斥して居る流行も少くない。それを日本國民は無關心に輸入して、自から文明人になり濟まして居る。これ猶ほ或は可なりとしても、その國が誇りとする文化の良方面に對して、却つて頓着して居ないが如きは間違だと思ふ。現に滿洲今後の開發策に就ても、地理風土の相似點から見て、國人が取つて以て今後經營の範とすべき者は非常に多い。就中農本狀態にあるこの地產業の如き、氣候順和にして而も山岳重疊する日本に於てよりも、南北米國の大陸に於ける植民史、並にその時代から今日の壯觀を呈するに至つた經綸に徵して、之を採擇轉用するの利を思はしめる事相は枚擧に遑ないのである。

◇

かうした他國の文化を資料とした日本人の努力は、滿洲の農と工とを問はず、國人自から繁榮の基礎を樹立し、更に現地の福利を增進する根本たる所以である、國際間に交流する相互の啓發力は、外觀と實質と總てに亘つて浸潤さすべきだが、若しこの消息を究めずして唯だ不生產的流風のみを趁ひ、自家の生產的方面に利用し得べき實質的長所を無視せんか、國民の努力は智識的にも、精神的にも樂譟せざるを得ない。之は蓋し最近の世風を慨嘆し、國民生活の不安を憂慮し、更に海外發展の必要を高唱する者の、均しく深く省察すべき重要問題の一ではなからうか。

滿鐵正副總裁には主に鐵道問題を質問
二十六日來連の調査員

聯盟調査團一行は二十五日夜奉天發大連に向ふが、内田滿鐵總裁、八田副總裁と會見の内容は鐵道問題、滿蒙一般の經濟問題に關して相當深い質問を發する模樣で、殊に鐵道問題に關しては日滿兩國の關係および未設鐵道について詳細なる聽取を行ふ筈、八田副總裁はこれがため豫定を變更し二十五日夜八時半長春發の列車で歸連することになつた、委員一行は約一週間大連に滯在し再び歸奉、チチハル調査の專門委員一行と合體の上撫順、鞍山および瀋海線、奉山線を視察の豫定である【奉天電話】

八田副總裁を招待
鄭國務總理が

滿洲國々務總理鄭孝胥氏は二十四日午後一時八田滿鐵副總裁、山崎總務部次長、宇佐見奉天事務所長木全文書課員、白井長春鐵道事務所長、橋岡長春地方事務所長六氏をヤマトホテルに招待し午餐會を催したが滿洲國側より總理の外謝外交部長、駒井總務長官、丁交通部總長、張實業部總長等各部總長金市長その他首腦部出席し同二時半まで會談して散會した、駒井總務長官は閉宴後八田副總裁と別室において會見するところあつた【長春電話】

鐵道問題聽取

【チチハル二十三日發】一行中の鐵道專門委員ハイアム・コッツエ氏は二十三日洮昂鐵道問題に關し洮昂鐵路顧問石原氏及び范洮昂鐵路局長と會見し一時間に亘り齊克線の延長問題並に東支、洮昂鐵路のクロス問題に就き聽取した

白系露人陳情

【チチハル二十三日發】聯盟調査委員來齊を期に舊東北政權の暴壓にあえぎつゝあつた滿蒙人及び白系露人代表と會見各自民族的立場による陳情を爲した

滯連兩三日後錦州へ

聯盟委員一行は廿五日奉天發大連に向ひ、リットン卿は同地で來連するランプソン公使と廿六日重要會見をなすが一行は兩三日大連滯在の後再び來奉錦州視察に赴く筈である【奉天發】

大興・三間房の戰 原因其他を聽く
わが軍部代表と會見

【チチハル二十三日發】聯盟隨行員アスター、ピッドル、モスの三氏は二十三日午前十時〇團司令部を訪問我軍部代表と會見し林特務機關長よりは大興、三間房の戰ひの原因及其後の軍狀に就いて說明當時同地の戰ひにて奮戰せし濱本〇隊長は當時の戰況及び皇軍のチチハル入城の模樣を詳さに說明した、天野〇團長は現在に於ける黑龍江省軍事狀態や匪賊跳梁の模樣を說明せるが隨行員は何れも滿足裡に三時間に亘る會見を終つた

鮮人問題を聽取
奉天に歸つた調査團 森島總領事代理訪問

二十三日總領事館において午餐を共にした調査委員は午後引續き森島總領事代理より土地商租、鮮人問題の各般の狀況、特に鮮人の移住、歸化問題に就いて、又間島條約に就き詳細なる說明を聽取し午後四時ホテルに歸つた、なほ二十四日も同樣委員は午前十時より森島總領事代理と會見、附屬地の課稅問題、内鮮人の匪賊より被つた被害及び主なる事變前の出來事、特に滿鐵關係の問題に就いて說明ある筈、また當日を以て質問書の說明終らなければ一應切り上げ委員は二十五日奉天發大連に赴き再度歸奉後森島總領事代理との會見を續ける筈【奉天電話】

歡迎準備打合

國際聯盟調査員一行は二十六日朝來連するので廿三日午後二時から關東廳日下内務局長、御影池文書課長、田邊國勢調査課長、高田外事課囑託、竹内大連、米内山旅順兩民政署長、小川市長、石井大連三浦小崗子、大内沙河口各警察署長、林滿鐵秘書その他大連民政署

行政整理に伴ふ大連市の勤務替
一昨日異動發表さる

大連市役所に於ける行政整理の内容は二十三日午後三時三十分眞鍋臨時市政調査課長の手から發表されたが整理による勇退者の氏名は既報の通りでまたこれに伴ふ廳内各課に勤務替の異動行はれたがその內容は左の通りである、因に總務課長は當分眞鍋臨時市政調査課長の兼務にするさ

總務課主事　眞鍋　良助

臨時市政調査課長兼總務課長を命ず（各通）

總務課書記　鈴木　行衛

臨時市政調査課兼務を命ず

財務課書記　田代　直喜

會計課勤務を命ず

社會課書記　大内　喜光

職業紹介所兼社會課勤務を命ず

臨時市政調査課兼社會課書記補　牛島　正茂

同　中島　茂

社會課兼職業紹介所勤務を命ず

社會課書記補　入江　鍛

大連屠場勤務を命ず

財務課書記補　富田　正男

臨時市政調査課兼財務課勤務を命ず

財務課書記補　岡村　敬止

社會課兼務を命ず

會計課事務助手　富田　登松

財務課事務助手　佐々木俊夫

同　池上　正路

同　綱木　守

大連市書記補を命ず（各通）

衛生課巡視　高木　範一

同　松田　宗雄

大連市衛生監督に任ず（各通）

衛生監督　高木　範一

同　松田　宗雄

衛生課勤務を命ず　柴田　一勝

大事市主事に任ず

主事　柴田　一勝

財務課長を命ず

滿洲國民衆委員會 國務院に設立認可申請

過般各省代表者によつて組織された民衆委員會が組織されたは人民をして各自その正業にしめ以て秩序を維持し滿洲を鞏固ならしめんとの趣旨にづいたもので、この程その項の作成を終つたので二十務院にこれを提出認可方を【長春電話】

國民は此う見る
櫻霞散人

（投書歡迎　中陽はさらす　五十行以内）

◇ファッショ運動や、議會政治政黨政治否認の運動漸く熾烈なるに當つてや、其禁遏、對抗の命令又は宣傳が頻りに飛ぶ。其言ふ所を綜合するに、畢竟「國民の政治知識、政黨認識の不足」を責むるもの丶樣で有るが、ジヨウダンぢやない。

◇政友といはず民政といはず、今の政黨なるものは一體何を爲して來たか、何を爲しつゝあるか彼等罪惡の跡は既に中外の俱に瞻る所。若槻氏は五月十日鶴見における神奈川縣支部發會式演說中「政黨を否認して立憲政治なし」と大見得を切つてゐるが今の政黨を肯定せねば、立憲政治でないなど丶馬鹿氣切つた事である。

◇我々國民は固より立憲政治を否認するものでない、從つて政黨を否定はしない、唯今の政黨政治を排斥するものである。國家は政治なしには一日も行けない併し今の政黨政治は斷然いやである。だから或他の形式に依る政治を渴望して居るのである。然るに今の政黨をイヤがる樣では立憲政治は望まれないなど串戯云つちやいけない。

◇又若槻氏は「政治問題を脅威に依り解決するは非なり」と云つて居る、勿論である。が、直接行動で政治を議することは、政友會民政黨所屬代議士が堂々と議政壇上に於て範を國民に垂れて居るので有つて、言論を以て意思を表示し得ぬ時の最後の處置は暴力に依るべしとの定義を議會で示して居るではないか。

◇政治屋、政黨員、惡資本家共が散々國民を愚にし、其政治智識の發達を阻碍して置き乍ら、國民自然の覺醒に依り、彼等の政黨政治を否認し、かつ其範に則つて行動を起すに至り周章狼狽今さら國民の無知呼ばはりは片腹痛い。國民豈政黨政治を否認せんや、唯似非政黨政治を退治せんと欲するのみ豈他あらんや

陸大旅行團旅順に到着

陸軍大學滿鮮戰史旅行團二名は牛島校長竹内中佐以下二十三日午後十五分旅順着列車で來旅に隨行社に於ける安藤要塞司令官の招宴に臨み在旅陸軍武官接待を受けて歡談の後歩兵第三十聯隊兵舍に一泊中將以下各教官は旅順ホテル泊した、一行は二十四日午より戰利品陳列館及び背面

銀問題に對する世界の關心
英米兩國における代表意見

大連市吏員の新採用

大連市役所では行政整理により吏員の缺員を來したので之れが補充すべく各方面から集つた履歷書により人物詮衡中であつたがいよいよ二十四日中に決定を見たので二十五日に發表し辭令交附の豫定である、因に補充として採用する吏員は十二三名である

レ氏再組閣

【ブラッセル二十三日發】ベルギーのレンキン内閣は全國的ランダール語を教授すべきの問題で去る十七日總辭職結局レンキン氏が再組閣

齋藤氏に祝電

滿洲青年聯盟は五月二十實子に後繼内閣組織の大るや直に左の如き祝意を電を發した

國家の重大時機に際會致の大任を負ひ組閣せ當り謹んで祝意を表す速かに滿洲國を承認し積弊を打破し統一的の確立を期せられんこ

第十九路軍福建移駐

【上海廿四日發】蔣介石する南京政府軍事委員會で十九路軍に對し福建移たこのため目下崑山よりある部隊は二、三日中に始し既に南京方面に引揚は廿八日迄に福建へ出發斯くて日支紛爭の元兇た軍は上海の周圍から完全

南滿瓦斯總會

南滿瓦斯會社では去る四議を開催、六年度下半期に利益金處分案を附議來る三十一日午後二時よ會を開催すると

米艦隊廈門に

陸戰隊輸送

市の屎尿代金取立狀況

陸大校長等を滿鐵總裁招待

大連市參事會

滿鐵決算說明

滿鐵會計檢査 廿九日より開始

第三回地金現送 千五百萬圓を

滬寧鐵道開通

末延道成氏逝去

商船幹部大異動

ヴイスコース製系工場閉鎖

大のレーヨン會社たるヴイスコース會社はヴイスコース系工場全部を閉鎖することゝ

陸軍異動

陸軍辭令

武安氏送別宴

人事

中村中將來連

市況

株式

內地變らず當市弱保合

特產

南支筋買ひ大豆强調

商品

麻袋見送り綿系保合

錢鈔

材料變らず保合閑散

奥地市況

市場電報

神戶特產　東京株式　東京株式（短期）　大阪株式　橫濱生糸　大阪綿糸　大阪期米　神戶期米　東京期米

滿蒙　六月號

五月二十五日出來　發行　滿洲文化協會

滿洲國の認識不足は果して誰にあるか……川合正勝

新滿洲の資源開發問題の考察……井村薰雄

在滿諸民族融和の機構

滿洲國諸民族は如何にして融和するか……金崎賢

滿洲植民政策概論……梅原顯一郎

米國の對支外交政策に於ける基礎命題……林田和夫

樂土滿蒙の建設と國際用語……渦田多穗理

乾隆帝の東巡沿路考……園田一龜

新滿洲國建築史……伊藤清造

滿洲金融の今昔物語……木内一彥

陰陽應像離合論……今牧白鈴

支那の獅子舞……村田治郎

南滿洲平原の相觀……野田光藏

寺兒溝の中國人生活風景……中村秀男

支那映畫界雜記……中條長雄

『老殘遊記』を讀んで……松井秀吉

杏花頌……郡逸三蔵

狐美人と美人……柴田天馬

子供が大よろこびの
それはおもしろいカニ釣り

釣の妙味 さて何處へ……（下）
家族連れの樂しみに 夜明け陽の入りの太刀魚釣り

この頃市場へ出てゐるあの大きな蟹もボチ／＼これから夏家河子で釣れます。これは糸の先に牛肉の小片をしばりつけておもりをつけ岸から五六丁沖に糸をおろします蟹がしつかり肉をはさんだ時船を岸までもごして蟹を海岸に引よせ網でしやくつてとるので、子供には特によろこばれます。關東州内で一番おもしろいのはチヌ釣で

こ れは關東州の沿岸ほとんど全部で出來ます、ここに多いのは旅順の双島灣や柏嵐子、旅順港外、柳樹屯、十一月頃には小平島や老虎灘附近で面白いやうに釣れます。これから釣れるのは四五寸のもので秋になると七八寸にもなりますが、船からばかりでなく岡づりも出來ます、チヌ釣りは竿で人造テグスの先へ本テグスを一本つけ、その先へ小さいおもりをつけて針をつけるとさはゴカイを用ひます、小さいものは砂原の岡に近いところでよく釣れますが、少し大きいのは底が細い小石原で藻の生えてゐる所に集つてゐます、岡べりはチヌ釣の外に普通は

メ バルやアヒナメの小さいものを竿で釣るので大連港の防波堤の外側など初心の人には最もよい場所です、この他大物釣りで愉快なのはヒラス、スズキ、サワラ等で、ヒラスの大きいのになると一尾二貫匁から二貫五百匁もあり糸一本ではなかなか釣れれません、この最もいゝ方法は漕釣りといつて、針に鳥の猪、海草、フグの皮、三味線の皮などで造つた擬餌をつけて海に投り込んで發動汽船で早く走ることで、かうしますと

魚 が非常な勢ひでとびついて來ますから樂に釣れるのですこの漕づりは元の滿鐵衛生課長の金井さんが最もお得意でした、漕づりといへばこれから出て來る太刀魚も漕づりが一番よくかゝります、これは太刀魚釣り用の特別な釣具がありますから針にどぢようをしばりつけて海の上へ流し乍ら船を漕がして喰ひついた所を引つぱり上げるのです、これは日中や夜は駄目で夜明けや日の入りの約一時間ばかり間が釣り時ですが、女にも子供にも容易に釣れる上にかさもありますから家族づれのたのしみによいでせう、場所は

老 虎灘から星ケ浦の沖、ロシア町海岸から一文字附近に多いのです、しかし沖づりは船に弱い人には絶對に禁物ですから何處までも岡づり專門でお進みになることを希望します

あなたの帽子は
しつくりお似合ひ…… 横から見た恰好は…… おぐしの結ひ方は…… ？
これで斷然シークに

ショーウインドウに飾られた殿方のカンカン帽に色とりどりの輕快な婦人帽は清々しい夏の氣分を現す快よいものゝ一つでせう、で殿方のカンカン帽は際立つた流行も見えませんのに流石に華やかなレディものはめまぐるしい變化を見せてゐますが、次に帽子の求め方、被る時の髮の結方、被り方などについてアラモード帽子店主のお話を御紹介いたしませう。

▼…**大連の** お婦人方の洋裝は大分洗煉されて居り、デザインなど非常に凝つたものを召して居られますが立派な服裝に比して帽子には少し無關心の氣味ぢやないかと思はれます、帽子を求められる場合第一考へておかなければならない事は、店頭に飾られてある帽子が如何に變つた流行の型でありましても、それを被つて見てそれが自分にしつくり合ひその人の個性にぴつたり合つてゐるかを見ることです、次に

▼…**サイズ** です、ゆるからず、かたからず召し心地のよいものを選び、品質の精選されたもので耐久力のあるもの例へば最近流行してゐます麻製の帽子は、クリーニングも利き、又ペーパーに蠟引してある帽（ちぐさ）など裏返しも利きまた強く經濟的と思ひます、普通帽子を求められる方はいつも額の恰好だけを注意され横の恰好には割合に無關心のやうですが帽子は額と共に襟足に快よい感を出すことが最も大切ですから、ツバにもつと意を注がれて欲しいのです、ツバの如何によつて身體全體を引しめたり、又滑稽な感を出したりします、一體に頸の長い方はツバの長目のものを、短い頸の持主は短いツバのものを用ひますと襟足がすつきり現れて短所を補ふことができますからその積りで求められたらよいでせう、次に

▼…**被り方** です、最近ヴエレーが大分被られてゐますがこれはアフターヌンのものですが夕方の散歩には又輕快で相應しいものです、でヴエレーでの被り方ですが、これは帽子が帽子だけに少し一方に寄せ氣味にかぶり横の方にダブラせますと可愛くまた捨てがたいものです、これを正直に眞つ直横に少しも傾けず被つたらそれこそさつぱりです、この帽子のもつ獨得の感は失はれてしまひます、又耳に髮の毛を挾んで耳現をはにしてこの帽子を淺く被つてゐられる方を多く見ますがこれではフラッパーを思はせ餘り面白くありません、次には、普通婦人帽の

▼…**被り方** ですが、その前に髮の結び方に意を注いで欲しいと思ひます、外人は帽子を被り易いやうに結んでゐますが日本婦人も洋裝される方は帽子に相應しい結び方をされて欲しいのですそれには先づ前部を好みにより七三か、六四に分け多い方に澤山ウエーブをかけて形を作り根は心持高くとり、鬠は小さいので二回位で止めて、鬠は後頭の低くなつたところに平にうすく卷き出來るだけピンを避けお下げに用ひます留で止めるやうにしますと帽子をピンで突き破る恐れもなく、また格好もよいものです、被るときは別けた髮の多い方を額から二吋位現はし少い方は少し出す位にして被りますと淺からず深からず大抵の方に似合ひ無難だと思ひます

▼…**帽子は** その種類によつてそれ／＼被り方が違ふもので、ツバなしで額のところをピッタリ上にあげて少々裝飾を施してあるものは心持ち横に模樣をやりますとシークになりますが、ツバ廣のものは眞正面に被るに限ります、後部の頸にくつゝく部分を頸より離しますと少し拔けた感になりますから後のつばはピッタリと頸にくつつけることです、肉付のよい人や頬骨高い人は前のツバが上り横の出たものがよく顏の小さい方は横が丸味を帶び少し開き加減になつたものがよろしいのです、額が廣く眼の小さい方は

▼…**ツバを** 二吋ほど出した上り加減のものをといつた風に選ばれましたら無難です、帽子を脱いだ時の注意ですが決してツバの方を下にしておかれないことです、さうしますと型が壞されてゐつて來ますから下におく場合は必ず横において下さい

32年の海水着

第十回オリムピックは七月末からロスアンゼルスで盛大に開催されますが主催地で

今はから熱狂的に之れが歡迎やら宣傳やらで大童の態、それに流行物まで出來てトテも大人氣だ、東京ではこれから……といふ程度の裡にも各デパートではそれ／＼計畫中とありますが、その中に逸早く松屋で賣出したのがご覽の通りの海水着なんです生地は純毛ゴム織、色はスカート小豆色、上オレンヂ、柄はハギ合せ下二ツ小豆と黃、上二つ白と黃のオリムピック・マークといふわけ、値段は五圓四十錢位ださうです

乳兒養護（下）

旅順醫院小兒科部長醫學博士　玉置周介

身體に異常のある場所に於きまして其の部分が何處であらうとも關係なしに其異常を取除くためには普通即ち生理的以上の働きをなさなければならなくなつて參ります。一方に於て生理的以上の働きをなしますと他方には生理的以下の働きをなさなければならぬ樣に影響されます。この理由を姙婦の場合に押進めて參りますと胎兒に於きましては大なる營養の配給不足を來して參ります、然しその影響が只一時的のものであつて短時間の間にその影響が取除かれて參りますと、後にはその影響は殆ど何ものも認めないで健康の狀態に復して參りますが若しその影響と異常とが長い間或は同じ間隔を以て反覆して來る樣な場合であつたならば姙娠の場合にその精蟲及び卵が健康な異常のないものによりまして受胎した受胎卵でありましてもその長い間には是等の影響によつて胎兒の何處かに缺陷を生ずると言ふ事は明かになつて參ります。まして始めから缺陷のあつた場合には其部分を除外しやうとしても除外作用が充分に働き得られないと云ふことの爲に遂には生れ出たる後には畸形として生れなければならない狀態になるのであります。實際問題と致しまして我國一ケ年間に出産平均數は二百萬を突破して居ります。其の内に一年間に於て先天性弱兒のために死亡する割合は其の一部即ち二十萬に達して居るのであります。

× ×

倂其の他に不完全ながら生れ出でたと致しましても或疾病に依り直接の原因は呼吸器病とか或は消化器病に致しましてもその個體即ち子供そのものに先天的に存在している根源は先天性異常と云ふ事の爲に死する場合更に出産の前後に於きまして約一年間母性及其の家庭の標準問題と云ふ事が加つて參りますと單に之は母のみならず男性に於きましても詰り肉體的、精神的異常と云ふ事は人爲的に生れ出でた後に於きましては一本の毛の縮れて居ると云ふ事さへも直し得られないと云ふ事をお考へになつていたゞいて異常は主として母性に依る事が多大でありますが男性におきましてもこゝに日常生活に何の障害と云ふ事も今日現在は認め得られないと致しましても一度或る種の病氣即ち例を擧げますと黴毒と云ふ樣な傳染病に罹つた事がありましたならば現在は外觀に少しも現れて居ない健康狀態でありましても現在の醫學の證明し得られる範圍に於て完全に治療しおかなければならないのであります。殊に近來「アメリカ」に於て或學者は酒吞みの子孫にはその子供は二三代は惡い、即ち祖先の形と云ふものを全く棄てゝしまつて新たなる個性がこゝに出來ると云ふ事を證明してゐるのであります。

× ×

即ち肉體的精神的にも自分の姿を受けた所の子孫は生活し得られない狀態が母體から出た時、或は生後に異狀を持つてたとへその異狀が肉體的の畸形として或は又一定の日數がたちまして精神的に低能兒、變質兒或は神經質兒と云ふ狀態でありまして家庭に於て他人には口を出す事の出來ない樣な涙にむせぶ時に眞に親として、母性として男性として自分を省みまして、兩親の素因、生理的な狀態及び現在の環境と云ふ事、是等色々の動機に依ります所の死産兒、或は早産兒、更に子供、その根本をなす精蟲、卵と云ふものに與へる影響に對して向上し優秀な發達を求め得たならば自分の姿、自分の肉體的或は精神的の狀態が科學的に現在より永久に生きまして自分の家は榮え新民族は發展し亡びないものと私は深く深く信じます

滿日各地版

金山好なほ生存し 頻りに鐵嶺縣を騷がす
日滿兩國で討伐の準備中

【鐵嶺】金山好、方振國の戰死說以來全く平穩に歸し兵匪出沒の噂を聞かなかつた鐵嶺縣下に最近又復警報頻りに傳はり而も金山好生存說有力なると共に其總指揮は金山好なりといふ說が多く日滿官憲極力警戒中のところ二十二日午後十一時頃大高力屯公安隊より

金山好　の一團二百名目下小高力屯に滯在し密偵を鐵嶺城內に潜入せしめ警備狀況を偵察せしめ城內襲擊を畫策中なりとの情報あり續いて金山好の部下二三百名大刀會匪百餘名と共に中固附近を襲擊せんとする說ありと傳へ更に長銃拳銃の外四挺の輕機關銃を有する有力な部隊及白布に金山好と記せる腕章を卷き平頂堡驛東方八支里楊樹溝に侵入したりと報じて來た次で第七區公安分局より金山好の部下騎馬二百大高力屯に侵入せり等々警報頻りなる爲め守備隊や警察では眞夜中にも拘らず出動準備を整へるなど一時非常に緊張したが平頂堡に出動せる警官七名の偵察報告により形勢急迫の模樣なきを以て出動は一時中止となつたしかし鐵嶺東方に

兵匪の　蟠居せるは事實なるもの丶如く大高力屯居住の于某は二十一日開原縣境に於て賊團に捕はれ平頂堡、鐵嶺附近一帶の警備狀況を詳細に亘つて訊問した上大高力屯、平頂堡、山頭堡の村長に宛て脅迫狀を傳達するを條件として二十二日放還されて來た脅迫狀には近く襲擊するにつき金品を準備すべしとあつた、斯の如く各地の情報著るしく不穩なる爲め鐵嶺縣政府では各公安分局を督勵する一方雀陣堡の

公安隊　七十名を鐵嶺東方熊官屯に出動警備せしめ縣公安隊長以下四十名は二十三日大甸子に出動し日本側守備隊警察隊では何時でも出動し得る準備を整へた

長岡〇隊 劉家屯へ

【鞍山】二十二日牛莊方面に出動した鞍山守備隊長岡第〇〇隊は匪賊逃走の爲め海城に於て待機中の處賊團約七十名は昨夜また太子河を渡り海城縣劉家屯を襲擊して來たとの情報に接した長岡〇隊は二十三日午前十時〇臺のトラックに分乘劉家屯に向け討伐に出動した

『直魯救國軍』の腕章を附した兵匪軍
鐵嶺の東方に潜入す

【鐵嶺】二十二日夜約六十名の兵匪は鐵嶺東方二道溝に侵入宿營したるが、彼等は何れも金山好の部下と稱し輕機關銃を有し左腕には「直魯救國軍」と記せる白布を卷いてゐる、急報により熊官屯に待機せる公安隊は二十三日宿老屯に集結し討伐を開始したるに彼等は早くもそれを知り大盤嶺方面に移動を開始したるが或は柴河溝を經て下肥地方面に向ふやも知れず本署では直に下肥地鮮農現地保護の警官隊に嚴重警備を命じ大甸子では坂元警部補指揮の下に日滿警官協力し北方高地に據つて警戒を嚴にしてゐる

顧大隊長、戰死す
優勢な賊團と奮戰して

【鞍山】匪賊頭目三勝、長勝の率ゆる賊團約三百名は二十一日午後一時海城縣耿庄子に於て海城縣顧討伐隊長の率ゆる一隊と交戰し賊は北方に逃走し二十二日午前五時頃鞍山西方五十五支里の遼陽縣新臺子附近に現はれたので同部落民は六、七十臺の荷馬車を以て騰鰲堡に避難中であるが此の交戰に於て重傷を受けた顧討伐隊長は二十二日午後七時頃遂に死亡したと

戰死した顧大隊長の 盛んな縣葬

【海城】老北風の率ゆる大刀會紅槍會の敵匪七百と手兵僅か五十を以て奮戰し壯烈な死を遂げた顧海城縣公安大隊長の縣葬は二十三日午後二時より海城縣城顧大隊長宅にて盛大に擧行され日本側よりも多數參列した

特産市場と 公主嶺の將來
公主嶺取引所專務　大岩峯吉（三）

更に一轉して滿洲特產物の將來は一體どうなるだらうか、滿洲の國家は新に成立した。此の新國家は差當つて、農を大本として國を立て行くより外はないと云はれてゐます。滿洲の農業は大豆、高粱其他を以て主要物產としてゐる此後とても此の主要物產には異りがないものと觀ることが妥當でありませう。蓋し新しく國家が出來たからとて俄に產物が變る筈がない。況んや滿洲の土壤が就中大豆耕作が最も適してゐると云ふ話であるからです。そうすれば新國家に於ても必ずや農に對する獎勵策を行ふに相違ない。此後滿洲に於ける農產物は益々多量になるでせう、農家の增收に因る收穫物は必ずや市場に出廻つて來るべきは當然の話ですから、從つて特產物の商取引は愈々殷盛を極むることは疑がないと想ひます。結局滿洲に於ける特產物取引の將來を概念的に考察して見るに、少しも悲觀することはないやうに歸納せらるるのです。

◇

廣く滿洲全體から觀て特產物取引の將來は多事だとなつた時、然らば特產物市場としての公主嶺の將來はどうなるでせうか。取引の旺盛を期するには、其の對象である物件が豐富でなくてはならぬが、對象物件たる特產物は從來通り公主嶺へ出廻るでせうか。私は假令全滿の綠道が滿鐵の當座經營に委せられても、既存の併行線が依然として其の儘である以上は公主嶺へ出廻る特產物の數量は前申述べたやうな全盛時代の如くには行くまいと思ひます、即ち出廻りは皆無となるだらうかと云ふに、それは固より皆無とはならぬ。假令併行線があつても公主嶺へ出廻ることが自然である、分野即ち地域もあるからです。現に支那鐵道の敷設開通後は出廻り數量が激減したとは云ひながら、なほ相當數量の出廻りのある事實に徵しても自明の事であります。而して此の分野は大體北は大黑林子から懷德、西は北城子を經て楊字大城子、楡樹臺、東は伊通、營城子を經て、南、大小孤山に到る地域であるとせられてゐます。

◇

然らば此の地域內より、從來何程位の特產物が公主嶺に出廻つてゐたか、更に向後此の地域內に於て特產物の增殖を策し得るや、又出廻り數量を增加せしむる可能性ありや等が緊要の問題となるのです。此れに依つて一應公主嶺市場の將來がトされる譯です。而して此の地域の既墾地面積や未墾地面積等の調査統計は區々であつて、正確なるものが遺憾ながら今のところ得られないが、從來此の地域から公主嶺へ出廻つてゐたものは大體大豆九萬一千噸、高粱四萬六千噸、雜穀一萬三千噸見當でしたこれ丈は向後とても公主嶺へ出廻るものと觀てよいと云はれます。これ丈の特產物の出廻りがあり且之を基礎に旺に先物に賣繋ぐやうにすれば、特產物市場としての公主嶺の將來は必ずしも悲觀ばかりするにも及ばぬものと信じます。

◇

現在でも院內在荷は大豆、高粱その他取混ぜ常に二萬石內外は何時もあるやうですし、現物取引は相當に行はれてゐる。此處に問題であるのは、當地の糧棧は近來單に買注文を受けて、之を現物で賣渡し、どうも先物を扱はない。即ち從來の如く先物で賣繋ぎをなくことをしないと云ふ事です。此の現象は糧棧をして次第に獨立性と云ふか或は自主性と云ふか、兎に角そう云つたやうな立場を捨て、從屬的な方面に轉換して行くのではないかとも想はれます。若しそうだとすれば、此の現象は公主嶺として相當攻究の餘地あるべき問題だと考へられます。

◇

以上は私の觀たる特產物市場としての公主嶺の將來を、思ひ出づるまゝに簡直にお話したのです。けれども、それは單に公主嶺の現狀に則してお話したものに過ぎないのです。乍併顧て滿洲の新國家が成立して、日滿間は從來と異る關係に立つに至つた事、新なる運輸系統が樹てらる丶氣運に向つてゐる事や、中央銀行の新設と共に幣制の統一が企劃せられてゐる事、等々即ち滿洲の新局面を大觀するときは、多少其の間、趣きを異にするものがないでもないのです。蓋し事物總て時代の流れに即して行く事が天則と考へらるるからです。就個にそうであるならば在滿の既存、新設諸機關に於ても此の新局面に順應するやうにしなければならぬ。

◇

滿洲の新局面から觀た公主嶺の展望、當會社などの將來觀に付いては餘り話が長くなりますから、他日又機會がありましたらお話する事に致しませう（終り）

在滿邦商の 出品歡迎
滿洲見本市

【奉天】滿洲見本市出品申込は去る二十日を以て締切つたが本年は奉天における會場は廣く多數の小間數を容れる餘地充分あるので滿洲國成立後の第一回見本市の重要なる意義に鑑み特に在滿邦商の出品をも網羅せんとし在滿邦商にして滿洲人向の商品を扱ふものに對して出品を歡迎各輸入組合においても勸誘に努めてゐる

京都市見本 展示會
奉天で二日間

【奉天】京都市主催の京都市見本展示會が來る二十六、七の兩日午前九時より午後五時まで奉天ヤマトホテル地下室において開催されるが參加商店六十餘、京都特產を網羅し滿洲販路開拓に努める、この準備のために京都市書記渡邊淸太郎氏が二十三日來奉した、なほ展示會は新京、ハルビンにおいても開催される

學校を設けて 縣長さんを訓練
立國精神と施政方針を認識される奉天省公署の新試み

【奉天】奉天省公署は全省五十八縣の縣長に對し新國家の立國精神と施政方針を認識せしむるため訓練學校を設置し各縣長を之に入れて六ケ月間教育することになり目下學院の組織を急いでゐるが六月中には成立し全省縣長を半數づゝ交代に入學せしむる筈である

奉天の日滿運動會慰勞宴

【奉天】日滿聯合運動會を終はり慰勞の宴が同夜洞庭春に於て開かれたが村岡樂童氏のタクトで日滿國語の運動會歌を合唱し和氣漲る中にスポーツを通じて固い握手が交された、永年在奉して支那人教育に專心してゐる南滿中學堂の安藤校長此の平和な日滿親交の光景を見て狂氣の如く喜び河村滿鐵社會係主任をとらへて「こんな愉快な事はない、日本の滿洲經營以來の事だ」と淚を流しての喜びやうである、各テーブル毎の隱し藝に移り日本側は支那語で支那側は日本語で大會歌を高唱し中には巧に支那の俗謠を唱ふものもあり此の日洞庭春は日滿兩國スポーツ親善のデモンストレーションを見る觀があつた

キリストの聖旨に もとづいて犯罪
飛んだ質屋に押入つた窃盜

【奉天】市內江ノ島町相互屋質店に侵入し奉天署に逮捕され目下取調べ中の强盜犯人安本義夫（三）はその後取調べの結果內地各地に於て强盜窃盜十數件を侵し來滿せるもので既に奉天に於ても六件の强窃盜を働いた事實を自白してゐる安本は固き宗敎信念を以てキリスト敎を信じ自分の犯罪はキリストの聖旨に基いて敢行せるもので唯神のみこれを知り給ふ捕はれた以上は相當長い刑期を覺悟してゐるが、固い宗敎心は之れに依つてくだけるものでないと窃取した金錢を遊蕩に消費しながら義賊振つた口吻を洩らして留置室に泰然とかまえてゐる、司法係では尙餘罪ある見込みで兩三日取調べを行つたうへ領事館警察に引渡す事となつた

山添會長の辭意で 一波瀾の四平街市協
當選した鶴見氏も固辭

【四平街】四平街市民協會の第一回評議員會は二十一日午後八時同會事務所に於て開催出席議員は山添、鶴見の正副會長を筆頭に山口、桂、佐藤、池田、竹村、伊藤、島村、木口、菊地、田中、竹本、中川の十四名先づ山添會長より開會の挨拶につぎ新任議員に希望を述ぶる處ありこれに對し木口氏新任議員四名を代表して答辭を述べ終つて山添會長は改めて辭表を提出し

過去九　年有餘ケ月の久しき間絕大なる御庇護と崇高なる御同情の下に會長の席を汚し來つたが最早積齡其職に堪へず此の際勇退でなく隱退さして戴きたい此の上重任を强ひらる丶ことは恰も死馬に鞭打つと同樣であるから理解ある議員諸賢の御同情を得たいものである

と辭意を飜へさぬ山添會長の態度に滿場失望の空氣漂ひ市協組織變更に際會して會長の辭任は受理し難しと强調する一面には此際會長の希望を容るゝが寧ろ氏に對する親切であるとの異論續出して收拾すべからざる狀態を釀した折柄桂議員の發意で臨機の方法で或機關を設け而して審議の結果會長の辭表を受理するか否やの態度を決すべしといふ建議に滿場異議なく贊成一應山添會長に別席を乞ひ直に

審議に　入りしが結局後任會長は投票に依りて處理することに決定して投票に問ふた結果副會長である鶴見氏大多數を以て當選したしかし同氏は之を肯ぜず飽くまで辭退したゝめ結局有耶無耶の裡に會長の辭表は正式に受理されず保留することゝなつた終つて常任議員並に會計は全部前任者重任し新任議員の部署振當ては常任議員に一任するに決定した、尙四平街に駐劄隊設置方請願に關しては來る六月上旬山添、佐藤在郷軍人分會長、林地方委員議員らの三氏本庄關東軍司令官を奉天に訪ふことに決定した最後に平岡書記より最近四平街を視察する團體に對し夫々便宜を與へし事項並に軍隊歡送迎に關する回數等を報告して同十一時散會した

營口舊市街に 拳銃强盜

【營口】二十二日午前九時半頃營口舊市街西大街福記金店に茶色ソフトに長衣を着せる三十歲前後の怪漢一名闖入し矢庭に店主に向つて拳銃を擬し金指環十個（時價百三十圓）を强奪せんとしたが家人が此の樣子に驚き騷ぎ立てた爲め件の男は指環全部と拳銃までかなぐり棄て何れかに逃亡した、尙檢視の結果該拳銃は拳銃を模倣した玩具に等しきものであつたと

賊團、馬車を 襲ふ

【公主嶺】伊通公主嶺間の荷物運搬荷馬車業徐某は二十一日午前八時三臺の荷馬車に當地復盛東の綿布を積載各一名の客は上乘りをなし出發伊通縣萬丈溝に差蒐るや頭目海北の率ゆる二十五名の馬賊現れ綿布を强奪し三名を人質として拉去逃走した

危なく賊手を 免る

【公主嶺】市內市場町商務會副會長方程耀宗は伊通縣に出張其の歸途二十二日の午前十時同縣大楊林を通過に際し潜伏してゐた三名の馬賊現はれ拳銃を擬して停止を命じたるも程は乘馬なので疾驅其の場を免れ背後より猛射を浴びたるも一彈も命中せず無事歸公したなほ楊林中には林中好の率ゆる七十名の賊團がゐたと

鞍山鮮人會 總會

【鞍山】鞍山朝鮮人會では二十二日正午より南一條町金元奎氏方に於て第七回定時總會を開催し昭和六年度會計報告、事業報告を爲し左の事項を協議し役員の改選を行つた、會長は金元奎氏再選重任、副會長は李承寅氏重任した

一、本會の奧地に民會支部及教育機關たる書堂を速に設立の件
一、朝鮮人に相應なる醫療機關設置の件
一、本會經常費補助に關する件

全滿優勝楯 爭奪弓道會
來る廿九日擧行

【奉天】滿洲醫大輔仁會弓道部主催の第四回全滿優勝楯爭奪の弓道大會は來る二十九日（日曜）午前十時より醫大弓道場において一、開會の辭二、部長挨拶三、矢渡式四、遠射五、競射六、納射七、優勝楯並に賞品授與八、閉會の辭の順序で開催されることになつた、競射は一組五名十射で全滿各地より少くとも十五組以上參加する見込みで未曾有の盛會を豫想されてゐる、なほ優勝楯は林前奉天總領事の寄贈に係り三回とも奉天道場が獲得してゐるが本年は沙河口撫順醫大等が奉天に肉薄すべく勝敗の數逆睹し難いものがある

猩紅熱の猖獗に
鐵嶺の兒童大檢診

【鐵嶺】當地における猩紅熱は益々猛威を逞しうして患者續出し鐵嶺空前の流行だといはれてゐるが滿鐵衛生課では既報の如く技術員を特派し親く情況を視察せしめた結果小學校各教室の大消毒をなし更に來月十七日小學兒童五百四十名、幼稚園兒七十名、普通學校生徒二百八十名全部にテストを行ひ十八日を第一回として七月八日までに三回の豫防注射を施し同十八日リテストを行ひ十九日第四回の注射を行つて徹底的豫防法を講ずる事とした

修養團一夜 講習會

【大石橋】大石橋婦人聯合會主催で來る二十五日午後二時より二十六日午前十一時迄修養團一夜講習會を社員俱樂部日本間に於て開催する事となつたが沿線各地からの申込もあり時局柄有意義に響まれる事と期待されてゐる、なほ同日は竹之內浦次氏の講演があると

三姓避難の邦 人生死尙不明

【奉天】三姓居住邦人二名は松花江右岸に避難し生死不明なるもその他は全部無事なり民會長香川清氏は[illegible]に日本軍と聯絡してゐるが鮮人はハルビン又は通河に避難し三姓には目下二十數名居住してゐると

全滿言論機關 時局懇談會

【奉天】大連に昨夏開催された全滿言論機關時局懇談會は來る廿九日午前十時から奉天ヤマトホテルにおいて開催する事となり奉天側では二十二日夜ヤマトホテルに準備委員會を開き各地言論機關に案內狀を發送した右懇談會出席者は約五十名の豫定である

フランス大敎司

【奉天】二十三日午後一時關東軍司令部を訪問したフランス大敎司ゲブリアン氏は橋本參謀長と面會し滿洲國に於ける布敎に就いて懇談した

沿線往來

▲二十日九州帝國大學校工學部長荒川文六氏は視察の爲來錦本日熱河方面の視察に赴いた
▲八田滿鐵副總裁　二十三日過奉長春へ
▲關奉天市長　同歸奉
▲佐堂理事　同來奉
▲桃山報國會幹事花田中佐來奉

驅梅指針

專賣特許

中村博士發見

コロイゲン

梅毒根治の鍵

水銀劑の威力

梅毒疾患

小兒胎毒

梅毒の治療劑として有名な彼の六〇六號（サルバルサン）が發見された當時、日本の新聞はこぞつて其の効力を非常に誇張して發表した。その爲めか一般世人はこの六〇六號を二三本注射すれば梅毒は必ず治るものと誤つた考へを持つやうになり、而も今日でさへこの誤傳を深く腦裡に刻み込んで居る人が多い、けれども六〇六號は世人が信ずる如く梅毒の根治を確證し得るものではないのである。六〇六號出てより今日迄、既に二十年の歲月が流れた。その間六〇六號の治療効果に就ては世界各國の專門家が實に多數の實驗を重ね、その結果六〇六號だけの所謂單獨療法では如何にして根治せぬ事が明かとなり、而も一本や二本の注射では根本療法と云ふ見地から云へば殆んど治療の意味をなさぬ事が判明した。且つ、これと共に梅毒の根治はやはり從來の水銀療法に俟たねば絕對不可能なる事が學術的に立證せられた。即ち水銀劑は梅毒治療の主力であり最後の止めである。

我が專賣特許コロンゲンはこの偉大なる水銀を最も至便確實なる內服藥として完成せしめたる稀有の發明藥にして既にその効力は過去數年の臨床實驗に依つて確定的に立證せられ今に決然群を拔き國際的信望を支持しつゝあるものである。

胎毒とは字の如く胎內より持つて生れた毒を意味するものであつて、醫學的には胎毒と云ふ病名はなく、之れは遺傳梅毒を指して呼んだ代名詞である。從つて其の原因が梅毒である以上從來の漢藥等で外部の腫物のみ手當しても決して根本療法とはならないのである。斯る不完全なる治療に依りて不治のまゝ成長した兒童に健康な筈がなく、知能の發育にも又重大な關係を及ぼすものである、故に幼時の胎毒と雖も、根本療法はやはり嚴正なる驅梅法の原則に基いて施さねばならない、而し幼時は身體が柔弱な爲め、强烈な驅梅法を施す事は危險にして應用が極めて至難である。この點に早くも着眼せる醫學博士、中村勝屋氏は遂にこれ等の不備を合理的に改良し、安全確實絕對有效の根本治療劑小兒用コロイゲンの發明を完成せしむるに到つた。而も本劑は無味無臭の水藥にして、牛乳、母乳、砂糖水等に混入し容易に服用せしむる事が出來るので頗る至便であるのみか効力は常に一定不變にして、確實なる偉効を發揮す。愛兒の將來の爲めに本劑の如き卓越せる藥物の出現は病兒を持つ人々の一大福音であらふ。

梅毒の根本的治療に「水銀劑」が常に確定的の効力を發揮する事は、今や世界の學術界に於て一致確認するところである。抑も現代の醫界に於ける驅梅法の原則はいかなる場合に於ても「水銀劑」が「主」であつて六〇六號は「從」である故に往年六〇六號出現後と雖も「水銀劑」の効力は常に赫々として獨歩の道を歩む觀を有し、而も從來六〇六號にて全く不可能とされた經久梅毒即ち「慢性に移行せる古い毒」の根本治療は實に水銀劑のみが持つ獨歩の長所である。然れごも從來の水銀劑には特有の强烈な副作用を伴ひ、屢々重大な危險を釀す場合がある。即ち體質に依つて應用が至難であると云ふ遺憾の點が多々あつた。

斯くて水銀劑の毒性を除去せんとする研究は多年漸く擡頭し梅毒の解決すべき最後の謎として各國の學術界に重視せられたのであるが遂に我が國水銀研究の大家として夙に偉名を知られた醫學博士中村勝屋氏によつて學界以上にその類を見ぬ不朽の發明が完成せられるに至つた。これ即ち外年各國の醫界を驚嘆せしめたる專賣特許水銀內服新藥コロイゲンである（學名コロイド水銀）

本劑の特長と滲透性殺菌力

一、本劑は從來の「水銀劑」の如く毒藥にあらず、性質、絕對無害にして連續服用するも副作用絕無である。

一、本劑は最も進歩せる合理的特許製藥法に依り水銀劑特有の猛毒性を完全に除去せるを以つて純水銀の量は從來の水銀劑に比し三倍を含有す。從つて水銀劑特有の强大な殺菌力も充分に發揮せしめる事が出來る。而かも本劑の特質は「中性」なる故從來の六〇六號等が企て及ばざるところの脊髓、腦にまで微細な筋肉組織を浸透して作用し就中水銀劑の最も特長たる潜伏梅毒菌の殺滅に對しては眞に非凡にして類を絕し、且つ常に一定不變の威力を合理的に發揮し遺憾なく治療の目的を貫徹す。

一、本劑の吸收殺菌力は最も迅速且平等に行はれるを常とし「六〇六號」等の砒素劑に比すれば奏効遙に正確にして、而も內服藥なる故、用法極めて至便、且つ六〇六號にて奏効せざる慢性の症狀に對してよく根本的治療の使命を期す。

當代諸權威の激賞を博す

茲に於て本劑の絕對的眞價は漸く內外に喧傳せられ、殊に本邦代表的梅毒新藥として不朽の名聲を博するに到つた。殊に當代花柳病學の權威たる、山田博士、岡本博士、川村學士、烏山腦病院長永崎學士等その他各地に於ける專門大家は本劑の驚異的效力を續々として發表せられ、實に從來の治療劑に見る事の出來ぬ偉大な效果を立證せられ、眞に國際的發明藥たるの賞讃を博するに到つたのである。蓋し本劑の出現は闇夜の一燈である、敢て大方諸家に推奬す。

本劑の適應症

一、急性梅毒、慢性梅毒、胎毒一切
一、硬性下疳、軟性下疳、惡性面皰
一、小兒胎毒、遺傳梅毒、潜伏梅毒
一、梅毒性一般腫物、梅毒性內臟疾患
一、梅毒性神經痛、梅毒性淋巴腺腫脹
一、梅毒性リユーマチス、腦梅毒
一、梅毒性眼病

全國著名藥種商にあり、行渡らざる地方は直接本社へ、振替或は爲替にて藥價だけ御送金になれば送費は發賣元で負擔して直に急送す、代引は切手三十錢前送を乞ふ

▼本劑の一日分は水銀注射一本に匹敵す

藥價

七日分……二圓也
半月分……四圓也
一ヶ月分……七圓五十錢也
重症用大德用……三十圓也
外用……七十錢也
小兒用　一ヶ月分二圓五十錢　二ヶ月分五圓

代理店　大連市浪速町　日本賣藥株式會社
發賣元　東京市芝區高輪北町二八　原澤水銀研究所　電話高輪三九七一番　振替東京八〇五二番

累々たる死體を殘して 呼蘭の敵匪潰走す
○○軍總攻擊開始の皇軍 八名の負傷兵を出す

【ハルピン特電二十四日發】呼蘭、松浦方面に集結した○○軍の殲滅を期して總攻擊の命を受けた岡原○隊は二十三日夜疾風の如き迅速さをもつて全軍松花江鐵橋を渡り、南塞子驛附近に到着するや野砲及び騎兵隊と合し二十四日朝三時頃から前進を開始し松浦附近の敵を側面から攻擊した、これより先三姓方面から河を溯りハルピンの下流三十哩の地點にあつた廣瀨○團の一部隊は二十三日午後四時上陸と共に長驅迂回して呼蘭の北方双井子附近に出で敵の後方鐵道を破壞して退却を防ぎ岡原部隊と呼應して呼蘭を攻擊した、敵は二十三日夜松浦に於けるわが駐屯部隊のおびき出し策に懸つて約五千の大軍は西方に向けて攻勢をとつた、しかるに二十四日拂曉前後からわが有力部隊の攻擊を受け全く統制を缺き呼蘭驛には三個列車を仕立てゝゐたが、後方を破壞されてゐるので列車を捨て散を亂し累々たる死體を捨てゝ西方に向けて潰走し正午前に既に呼蘭はわが手に歸した、この戰鬪に於いてわが飛行士一名敵彈に當つて負傷したほか朝九時迄に判明したわが負傷者は七名である

道路構築の邦人 匪賊に射殺さる
一昨日敦化東南方で

滿洲國より請負つた新道路構築中の吉川組從業員武藤某外二名は工事材料と苦力を滿載したトラックを操縦して廿三日午前九時二十分頃敦化東南方約三邦里餘りの地點に差しかゝつた際青葉茂る林の中より突如躍り出した十數名の匪賊の爲め襲擊されて武藤某は其の場に射殺され外二名の邦人も重傷を受くるに至つたが後方より鐵道トラックの來る模樣に賊はそのまゝ逃走したが死傷者は敦化へ後送し重傷者二名は目下手當中である【長春電話】

東支西部線の交通危險に瀕す
國際列車の運行にも支障
東部線方面の被害

【ハルピン特電二十四日發】東支管理局への報告によれば東部線方面における被害左のごとし

橫道河子、ボグラ間、愛河磨刀石間においては反吉軍線路を破壞したが地形上修復困難である太平嶺、細鱗河間、トンネル內レール枕木數十本取外され牡丹江鐵橋は爆破され海林以東運輸不能である、牡丹江驛事務所三等待合室倉庫は掠奪され、山市驛倉庫も掠奪された、海林驛宿舍は二十一日全燒、小城子驛附近にて列車は反軍に射擊され乘務員一名負傷、石頭河子驛詰驛員六名匪賊に拉去された、なほ西部線對青山、廟臺子間において馬占山はこの區間を占領し線路を破壞してハルピン行三號チチハル行一二一號混合列車を抑留檢査した上通過させたが今後も同樣の暴擧をなすものと見られ西部線の交通は危險に瀕し國際列車の運行に支障を來すこととなつた

鮮人水電を匪賊襲ふ
高麗門東方

二十四日午前七時二十五分頃安奉線高麗門驛東方約一キロの鮮人經營水田に約二十五名の匪賊現はれ耕作中の鮮人一名を射殺、一名に重傷を負はせた、急報に接し高麗門驛より守備兵、警官隊直ちに討伐に向ひ賊一名を殪して潰走せしむ

日滿旅客機 發着時間改正
六月一日から

日本航空會社では來る六月一日より八月三十一日まで三ケ月間大連東京間の旅客機發着時間を左の通り改正するが、その主なる要點は夏期に入り日長になつた爲め東京を起點とし從來東京、福岡間一日コースであつたのを京城まで延長し東京、京城間を一日コースとしたもので、之れが爲め例へば逆に安東に着した同九時五十分頃討伐隊は無事高麗門に歸還した【安東電話】

大連から東京へ旅行する者は午前十時二十分に大連を出發し、午後四時四十分京城に到着と同時に一泊して翌日午前六時に京城を出發し同日の午後三時三十分に東京へ到着する事になるのである

▲上り

大連	發 前一一、三〇	着 一〇、三〇
新義州	着 後一、〇〇	發 九、三〇
	發 一、一〇	着 九、一〇
平壤	着 二、一〇	發 八、〇〇
	發 二、三〇	着 八、〇〇
京城	着 四、四〇	發 前七、四〇
	發 前六、〇〇	着 四、〇〇
蔚山	着 八、〇〇	發 三、〇〇
	發 八、三〇	着 二、三〇
福岡	着 九、三〇	發 一、〇〇
	發 一〇、一〇	着 後〇、三〇
大阪	着 後〇、三〇	發 九、三〇
	發 一、一〇	着 九、三〇
東京	着 三、三〇	發 着七、〇〇

愛嬌たツぷりで 三浦環女史來連
曰く『歌も話もうまい……と顧維鈞さんがいひますのよ』

十一年間故山に歸らぬ異境流浪のマダム・バタフライ三浦環女史は午後四時五十分大連着十六列車で村岡樂童氏の案內で來連、當地音樂關係者多數の出迎へを受けて直に協和會館に赴き幹の調子をしらべ、後豐滿な肉體をヤマトホテルに運んで休息を取つたが、途中まで記者が出迎へると

まア〳〵、どうも有難う御座いました

◇今度は 昂々溪で大變な目にあひましてネエ、本當に命拾ひをしましたよ

となか〳〵外國仕込みの表情たツぷり、巧に愛嬌を振り撒きつゝ記者の質問に答へる

わたしネ今度歸つて來たのは三浦の三年忌の追善を故郷掛川でするのが第一ですの、それに滿洲でお國のために働いてゐられる兵隊さんの前でも唱ひたかつたし、又お蝶夫人の衣裝も仕入れたいので急いで歸つて來ましたの、そして奉天で兵隊さんの前では唱ひましたし、その上聯盟調査員の前でも唱ひましたから、その方は思ひ殘すことありませんわ、殊に調査員の前では歌を唱ふまへに突然話しをしてやりましたの、私は國際列車に乘つてハルピンへ向ふ途中大變な目にあひました、そして日本の憲兵さんに助けられて滿鐵の車に乘り洮南經由奉天に來ました、國際列車が危險で

◇滿鐵の 列車が安全だなんて一寸と變じや御座いませんか、貴方方も東支線から滿鐵線に乘り換へた時はホッとなさつたでせうツて英語で話しましたら、フランスのクローデル將軍は胸を押へてハーツと感動されました、そして例の顧維鈞さんが貴女は唱もうまいが、なか〳〵雄辯家だツて皮肉らしくお笑ひになりますのヨ、それで私どんな大統領やキングの前で唱ふよりも、もつと氣持ちよく唱ひましたわ、歌は英米獨佛伊、各委員の御國の歌を原語で唱ひ、リツトン卿も久しぶりでかつえてゐた音樂を聽いて嬉しいとほめて下さいましたワ

それで何日間日本に滯在するかと質れると約三ケ月間との答へに、矢張り日本はおいやですかと一本まゐると

◇いゝえ 日本はとても好きですよ、私日本人ですもの、日本語だつて少しも變でないでせう、でも、外國が來てくれ〳〵と云ふんですもの、日本からは第一番にロシアに行く豫定ですわ

とマダム・バタフライ些か氣まづさうだつた【寫眞は來連した三浦女史】

輸血と注射とで 白川大將持直す
なほ危險狀態を持續

【上海二十三日發】今曉白川大將は絕望となり軍司令部は一旦逝去を發表したが今朝に至りこれを取消した、上海在住只一人の大將の身寄である姪の柴崎夫人は午前十一時特に近親として病床に大將と面接したが左の如く語る

伯父の容體は危險狀態ですが輸血と注射で持つてゐるやうです、意識がある、今日三木一等軍醫正が着かれる前に更に輸血をする準備をしてゐました、心細さ帥が強いさかで一縷の望みを掛けてゐますが伯父も最後な自覺してゐるやうです

三木軍醫語る

【上海二十三日發】午後三時半、三木軍醫は白川司令官を診察後語る

白川司令官を診察したるに平常よりかゝりつけの醫師が自分の身體をよく知つてゐるからとて非常に安心せられ嬉し相にみうけられた

葡萄酒を傳達

【上海廿三日發】村井總領事代理として井口領事は本日午前十時兵站病院に白川司令官を見舞ひ畏きあたりより御下賜の葡萄酒を傳達した

優諚に奉答

【上海二十三日發】派遣軍發表＝午後四時田代參謀長は白川大將の枕頭に進み謹みて大將に下し置かれた勅語を捧讀し且つ授爵の旨を傳達したるに對し白川大將は感激し左記奉答文執奏方を侍從武官長宛電請を命じた

奉答文

臣義則優諚を忝くし感激に堪へず謹みて聖壽の萬歲を祈り奉る

次で大將は兩陛下より下賜された葡萄酒を謹みて奉戴し終るや田代參謀長を顧み明瞭に幕僚にも相伴させよと命じた

有難き思召を 枕頭にて傳達

【上海二十三日發】白川大將へ男爵特授の御沙汰は本日正午軍司令部に公電あり、田代參謀長は白川大將の枕頭にて有難き御思召を傳達した

重光公使經過

【上海二十三日發】重光公使のその後の經過良好にて醫者も歸國療養を許し得ると言明するに至り公使は近く療養のため歸國するに決定した

指名犯人六名中 一名遂に就縛
農民決死隊員某の秘書と判明
長春から近く護送

農民決死隊の首魁○○○○の搜査に全滿各警察署は一齊に血眼になつてゐるが長春署では過般犯行容疑者として四名を逮捕、領事館に押送取調中であつたが一方同じく容疑者四名と同時に他に一名を萬合公において逮捕、嚴重取調中であつた、これこそ警視廳指名犯人○○○○の秘書の柔道三段○○○○（二七）なること判明し一兩日中に一件書類と共に領事館に押送される事になつた、これで內地よりの指名犯人六名中一名は確實に逮捕されたわけで、近く來長する警視廳小泊警部補外三名は來長と共に身柄を受取り護送する事になつた、因に前記容疑者四名は二十二日夜釋放された【長春電話】

奉天署で嚴戒

帝都暗黑化の首謀犯人○○は長春において行方を晦ましたのち巧に支那苦力に變裝して際跡を晦ましたが、數日前、長春署では犯人がハルピンに潛入せる事實を確め數名の刑事を派してゐる、しかし犯人が南下する形跡あるため奉天署では嚴重警戒中である【奉天電話】

日伊對抗 陸上競技
東京で開催すべく交渉中

【東京廿四日發】全日本陸上競技聯盟は來る七月ロスアンゼルスに於て開催されるオリムピック大會のイタリー陸上競技選手を同大會閉會後日本に招聘して東京で日伊對抗競技大會を開催すべく交渉中のところ、伊國陸上競技聯盟では伊吉田大使を通じて左の如き回答を寄せて來た

一、オリムピツク參加の伊國陸上競技選手は十五名乃至二十八名で全部渡日可

二、ロスアンゼルス市日本間及日本イタリー間の旅費全額と其の間の旅中費用は負擔せられたし

尚此の計畫に就いては日本の聯盟側は未だ秘密にしてゐる、因にイタリーの陸上の中心選手は中距離及ハードルに强味を持つてゐる

あすに迫つた 大連各學校聯合運動會
プログラム決まる

國際親善と民族融和を意味する大連各學校聯合運動會は二十六日午前八時半から大連運動場に於て擧行されるが當日のプログラムは左の通りである

午前の部

一、開會の辭　小川會長「君が代」合唱、放鳩
二、合同體操　初等學校男子（小學校五年以上、公學堂高等科）
三、五月祭　大連女子中等學校生徒（體明、彌生、羽衣、女商）
四、聯盟體操　大連男子中等學校生徒（一中、二中、商業、實業、遼講、職敎）
五、スミレ　大連各小學校女生
六、鼠毬　商業學堂生徒
七、頌建國歌　女子手藝學校
八、體操　中華青年會男女
九、吾等の歡び　初等學校（小、公四年以上）

午後の部

十、器械體操（一）小學校職員、（二）男子中等學校生徒
十一、輝る日章旗　彌生高女
十二、ラヂオ體操　初等學校四年男子
十三、審美的柔軟體操、我等の飛行機「滿洲號」羽衣高女
十四、高粱の波　大連男子中等學校（一中、二中、大商、大實、職敎、遼講、商堂）
十五、牧人の踊　女子商業
十六、ラグビー、フットボール　工業專門學校
十七、我等の軍隊　神明高女
十八、三千米繼走（赤組、白組、黃組、青組）
十九、旅行進　初等學校生徒
二十、萬歲三唱（閉會）

なほ當日は周水子飛行場より飛行機二機飛來しラグビーフットボール始球式に飛行機よりボールを投下する事になつて居る

ヴラウン氏 出發延期
二十四日まで

【シャトル二十二日發】ブラウン氏は二十四日までの飛行はアリューシャンの天候惡しく延期された

【シャトル二十三日發】東京への太平洋橫斷飛行決行を前にしてブラウン氏は十日五百ガロンの燃料を積載して最終的試驗飛行を行つた、先づ最初高さ十呎の個所より離陸することが出來て成績は極めて良好であつた、更に燃料積載全量九百四十ガロンを積み今一回試驗を行ふ豫定である

日本飛行近く許可

【東京二十三日發】ブラウン氏の飛行に對しては遞信省より一兩日中に飛行を許可するはずである

南洋發展の邦人苦しむ
日支事變の祟り

市內濱町の日本實業專務取締役竹內精一氏はマレー半島よりビルマ方面への約四ケ月間の旅行を終了して二十四日入港のうすりい丸で歸連したが、氏は當方面にかける事變後の邦人並に支那人の狀態について語る

何分マレー半島における經濟界は從來殆んど支那人によつて獨占され、同地方に發展してゐる邦人も主としてこの支那人相手で生活してゐた關係上、滿洲事變、上海事變後の生活は非常な苦境に立たせられてゐます、邦人は主にゴム園を經營し、今までに約八千萬圓の資本を投じてゐますが、現在では經營を中止してゐるものも非常に多いやうです、何分マレー附近の支那人は南方人が多いだけに排日思想も傳統的に強いところへもつて來て、今度の事變で一層煽られてゐるのですから、全く同地方の邦人は苦しい譯です、これに比してビルマ方面の邦人は米を作つてゐますが割合に生活は樂で、ボイコットも少いやうですが事變前とは比較になりません何れにしても南洋方面に發展してゐる邦人はたとひ自分達の生活は苦境に立つやうになつてもかまはぬから、滿蒙に對してはやるところまでやつてくれと悲壯な決心を持つてゐます

天津郵務工會も一齊に罷業開始
けふ全國に對し宣言

【天津二十四日發】天津郵務工會は愈々總會との交涉決裂し上海に呼應し二十四日午前五時より全國に向つて罷業を宣言し、一齊に罷業に入り事態重大化した、尙濟南郵務工會も一致行動をとる旨電報來たして

臨時郵便局設置

【上海二十四日發】郵務工會の大罷業對策として共同租界當局は臨時郵便局を工部局の二階に設け外國行郵便の受付を今朝九時より開始した、尙右臨時郵便局は罷業期間中存置される旨發表した

罷工重大視

【天津二十三日發】南京政府は上海における郵便罷工を重大視し、政府首腦部は昨日終日湯山に會合善後策を協議の結果、汪精衞は陳公博を視察のため上海に向け今朝出發せしめた

工部局の手で事務開始

【上海二十三日發】上海郵政總局の總罷業に對し國民政府は彈壓策を採るに決し在南京の郵政局長を逮捕した外郵政關係の幹部官吏全部の逮捕を命じた、この態度に郵政側一層聲固となり爭議は愈々擴大の形勢に在り、一方郵便事務停止に面喰つた租界內外三百名の住民に當惑、共同租界工部局に臨時市會を開催工部局の手で臨時郵便事務開始に決する模樣で、日本側も自動的に郵政權を施行すべく考慮中である

鮮妓の替玉

市內平和街二番地朝鮮料理店美蓉樓抱へ酌婦

滿洲國で防彈具鐵兜を使用

滿洲國民政部警務司では匪賊討伐用として米澤式防彈具、鐵兜を試驗的に購入使用することゝなつた取敢ず右一千組を三十日公入札に附するに決定した、因に米澤式防彈具は滿鐵でも最近五千組購入した【長春電話】

末延道成氏死去

【東京二十四日發】貴族院議員末延道成氏は二十四日午年五時心臟麻痺で自邸で逝去した享年七十一

正誤

二十四日附夕刊二面記載の土地事件公判記事中被告村川保藏に關する罪名は「贈收詐欺」とあるも右罪名の中「詐欺罪」は證據不十分で豫審免訴となつたものにつき「詐欺」の點を取消す、又「贈收」とあるは「贈賄」の誤記につき訂正す

東支東部線及び松花江下流方面に蟠居する反吉軍は皇軍にその本據地を衝かれ部落から部落へと逃走し掠奪品の分配によつて辛うじて離散を防いでゐるが、それさへも既に盡きて落日の如き頽勢を僅に喰止めんとして、紅槍會、大刀會などの如き宗教的分子を中心として團結をはかつてゐる。

◇

これがため各部隊とも豫言者めいた老師を置いてその指揮を受けてゐるが、甚だしいのは宮長海の部隊には三姓、五藩山から來たといふ「五左毛」なる乞食坊主を師兄と仰ぎ一切の命令を受けてゐるが、彼は「馬占山さへ宮長海が協力すれば干藻齊を擒へるは易々たり」と稱し、また「大刀會、紅槍會のほかに黃砂會、藍子會、童子會を作り五會が揃へばハルピンの奪回が出來る」と豪語してゐる。

第六回市民運動會參加 申込けふ締切
主催 大連市役所
後援 滿洲日報社

曙の鐘 (294)

倉田潮 河野想多畫

自然の生活（七）

マリアは自然生活の正しく眞なることを說き勸められたが、人間のことを考へると其の正しいものを直に容れ行ふことが出來なかつた。

人間を愛する爲に、人間と苦惱をわかつ爲に、彼女は塵埃の中に躊躇して生きればならないと考へた。二人の考へ方の差異は一方が自分一人のことから出發してゐるに對して、一方は人間全體から出發してゐるのだつた。

マリアは一夜を其の堂の内に過ごした。蒲團は藁府をなかに入れたものだつたが、非常に温かく掛け蒲團をかけては温過ぎて眠りつけなかつた。戸は總て開いたまゝで、そこからは終夜月光が差しこみ、夜鳥の鳴き聲が聞えてゐた。そしてその反對の方向からは地軸を搖する水音と金屬性の水禽の聲が絕えず枕に通つて來た。

マリアは床についてから祖父のことをなほ詳しく繼母に聞いて見た。祖父は非常な老年でありながら、齒が一枚もかけてゐず腰も曲つてゐないとのことだつた。たゞ狂信徒特有な氣違ひじみた行爲は老來や、烈しくなつて、今夜のやうな月のよい晩は一夜を森に注連を振りながら踊り明かすことも度々あると云ふ。また村人の祭日にも神を祭らす、神をことほぐのは雨の晴れて虹の立つ日とか天氣の特に隱な日——即ち「神の機嫌のよい日」だけだと云ふ。

繼母は床に這入ると間もなく死んだやうに眠つてしまつた。今は何の係累もなく何の心配もないので、かうまで安らかな眠りを與へられてゐるのだらうと、マリアは月光に照された聖者のやうな寢顏に見られた。そして、神が「人を殺すほどの熱情」の苦みを與へたあとで、かくまで平安な悟入をこの人に與へ給ふたことを淚を浮べて感謝した。

翌朝、マリアが眼をさまして見ると、繼母は既に起き出して部屋にゐなかつた。戸口から眺めると、直ぐ側の淸水のわき出す井戸に水をくみに行つてゐるのだつた。昨日と同じ黑い被布をつけて、別に佛教信者でもないのに、今日も珠數を手にさげてゐる。周圍には小鳥が澤山群れ飛んで、騷がしく囀り交してゐた。彼女が每日小鳥に食を與へる爲めかも知れない。

その日も雲のない穩かな天氣だつた。森の若葉は陽に照されて鍛色に輝き、空には朝燒の紅がまだ殘りの色を止めてゐた。再び泉の方を見ると、繼母が太陽の方に向つて、一心に合掌してゐる姿が見えた。が、間もなく彼女は手桶に水を滿して家に戻つて來て、そつと花の香をあしらつた飲み物をマリアにすゝめ、蓮華の實を蜜でつけた食物を朝餉に出した。丹念に野から集めたものであるらしい。

マリアは明るい陽の光に改めて繼母の姿を見なほした。歲は隨分老つてゐるのに、生食をしてゐるためか身體は石のやうに剛健で、眼が思つた通り異樣にすんでゐる。それは普通の人間の眼でなく、深い悟りに入つたものでなくては與へられない光を持つた眼だと、今日もマリアは思はせられた。

歸ると云ふと五丁ばかり送つて來て、乾草の藥五種を與へてまた森に戻つて行つた。

マリアは祖父に逢へないで、心のまよひを解決して貰ふことが、出來なかつたが、變つた別な生活を見て、考へさせられる處が多かつた。それは都會生活とは反對の自然の生活だつた。普通の人間を捨てそれを超越し、一人直に神と接する眞理の生活だつた。彼女はかつて祖父と共に暮したことがあつたが、繼母の生き方は祖父の生き方とも多少違つた點があるやうな氣がする。が、その差は餘り大きくはないであらうがこれを都會のあけみやお夏の爛熟した生活と比べればその距りは甚だ遠い。

マリアは新町に戻つて來た時、手をあげて齋田の森へ、幸福な哲人のすむ森へ、祝福のキスを送つた。

けふの放送

大連 JQAK 五月廿五日

▲午後六時五十分 ニュース
▲英語講座「テキスト第三課」大連第二中學校片山篤郎
▲謠曲「賴政」（喜多流）臼井靖敏
▲長唄「多摩川」唄杵屋正春、三味線常磐櫻一龍、大幸〆勇
▲職業紹介事項
▲ニュース
▲氣象通報
▲中國劇「開山府」連東倶樂部々員

東京 JOAK

二十五日午後六時三十分
▲講演「夏と電氣」工學博士太刀川平治▲室内樂一、アダドオ（ハイドン作）二、メヌエット舞曲（ハツス作）三、アンダンテ（モッアルト作）四、メヌエットイ長調（ベートベン作）五、間奏曲（ソロタレフ作）鈴木クワルテット、第一ヴアイオリン鈴木鎭一、第二同同喜久雄、ヴアイオラ同章、チエロ同二三雄▲哥澤（一）花も實も（二）のぼりくだり（三）ほとゝぎす集、唄哥澤芝金三味線同芝加一▲放送映畫劇「綠の騎手」（辻皓一郎原作、村上德三郎脚色）秋葉孝一（鈴木傳明）弟修二（月田一郎）妹美代子（池上喜代子）妻芳子（英百合子）馬丁源造（渡邊篤）中川辰吉（木村健兒）黑島傳吉（山口勇）岩崎（三倉博）中田（吉川英蘭）榮子（佐久間妙子）坂卷（小村新一郎）藝者瀧二（小百合葉子）馬丁健吉（關時男）アナウンサー（橫尾泥海男）伴奏指揮男澤靖吏、說明熊岡天堂、放送指揮中川佐二

第三回 滿日特選碁戰

先番 四段 向井一男
三段 增淵辰子

黑	白
一 八の四	二 ニの十六
三 レの五	四 タの三
五 タの十五	六 タの十七
七 レの十七	八 レの十一
九 タの十六	一〇 ヨの十七
一一 ソの十六	一二 チの十七
一三 レの九	一四 ヨの四
一五 ヨの九	一六 ヨの十一
一七 ホの三	一八 ハの十
一九 ハの八	二〇 ホの五

對局者の感想

白曰く 一四の手の時單に一六に飛ぶかどうかむづかしい處のやうであります

黑曰く 一七の締りは一八に打つのは如何なものでせうか

黑曰く 一五の飛は（タの七）に斜走に備ふるのかどうかはつきりいたしません

【1】

滿洲日報

（日刊）　（明治卅八年十月二十五日第三種郵便物認可）

昭和七年五月二十五日　（水曜日）　夕刊　第九千三百七十號　（一）

發行人 鈴木■■ 編輯人 橋本喜代■ 印刷人 本村武盛
發行所 大連市東公園町卅一番地 株式會社滿洲日報社
定價 一ヶ月 金一圓二十錢 郵税 金十五錢 一部賣 金五錢
廣告料 普通一行 金一圓三十錢 特別一行 金二圓六十錢 場所指定 二割以上加算

新内閣の成立は早くて廿五日か

諒解成立迄に相當曲折

【東京二十四日發】組閣の大命を拜した齋藤子は二十三日午前午後に亘つて元老、重臣を歴訪し時局對策について所信を披瀝すると共に組閣の根本方針に關しても夫々諒解を求め、更に若槻總裁並に鈴木總裁とも會見して積極的協力と支援を懇請した、**民政黨は既に援助を惜まぬ旨同日中に正式に回答し、政友會でも又同日夜の首腦部會議の結果、新内閣に對しては好意を表する事にほゞ決定し、**鈴木總裁は二十四日午前中に齋藤子を訪問回答する筈で、斯くて新内閣は政、民兩黨關係を按配し基礎を作つた上、陸海軍及び貴族院その他の方面からの閣僚を詮衡し本格的に進む事になるだらう、然し政變後の一般的狀況は案外急激なる底流の存在も窺はれ最後の解決、卽ち完全なる諒解の成立までは相當の曲折あるものと豫想されるので**新内閣の成立は早くて二十五日**となるべく若し一度蹉跌すれば或は相當の時日を要するばかりでなく非常なる困難に逢着するかも知れぬと觀られてゐる

齋藤内閣の政綱政策

入閣交涉上豫備的に決定

【東京二十四日發】近く成立せんとしてゐる齋藤内閣の政綱政策は政友、民政の入閣勸說交涉上齋藤内閣が掲げんとする**時局匡救に關する大眼目を豫備的に決定**しおくの必要を認め、齋藤子は二十三日夜湯淺、丸山、有吉氏等と愼重協議の結果、**軍の統制問題、疲弊困憊せる農村救濟並に一般國民生活安定策斷行、滿蒙問題解決、社會不安の一掃**（思想對策、社會政策應急施設）**經濟關係の缺陷除去**等を大綱とするに決定した

入閣問題異論

新内閣の政策を確めた後決定 政友會の五長老會議

【東京二十四日發】齋藤内閣に對する具體的態度を決定するための内相官邸における鈴木總裁、床次、望月、久原、岡崎、小川五長老會議は廿三日午後八時から開かれ齋藤内閣支援には異議無きも、進んで入閣すべしとする說と入閣必要なしとの兩說に分れ相當激論を戰はし、結局意見の一致を見ず、十時五十分散會したが、結局齋藤子の鈴木總裁に對する協力要望の内容が單に閣員を入れて援助して吳れとの極めて抽象的の申出であつたので、更に齋藤子より新内閣の性質組閣方針等につき具體的意見を聽取しなければ直に諾否の態度を決定する譯には行かないといふことに意見の一致を見た、その結果鈴木總裁は多分二十四日午後齋藤子と會見し具體的意見を聞きその上長老會議を再開して最後の態度を決することゝなつた

長老會議再開 鈴木總裁語る

【東京二十四日發】鈴木總裁は語る
二十三日の會合では何も決まらぬ、二十四日もう一度會合することになつてゐる、しかし二十四日は閣議もあるし齋藤子の都合も聞いて見なければならぬから結局午後齋藤子に會ふやうになるだらう、そしてその後で今一度會合することになつてゐる

慌しき政雲包む園公邸（神田駿河臺）

舊軍閥の條約違反事實を指摘說明

鐵道交涉、不當課税等に關し 森島領事が調査團に

國際聯盟調査委員は引續き二十四日午前十時半より日本總領事館において森島代理總領事と會見、當日は滿洲の日支鐵道交涉問題及び附屬地内の不當課税問題について森島氏より說明を聽取した、森島代理總領事は例の支那側の**七十五縣**に亘る鐵道計畫東西兩併行線計畫について詳細に支那側の條約違反の事實を列擧し又附屬地内課税問題については統税、營業税の不當課税の事實につき詳細なる經過を說明したので、委員側は深く諒解するところあつた、なほ委員側において滿鐵附屬地が餘りに廣大ではないかとの不確實なる知識を持つてゐたに對し森島代理總領事はパナマ運河の例をひき、運河の**兩側五哩**の行政地域を有する事實を述べて懇切なる說明を試みたが、午餐を共にした後引續き說明を聽取するが、午後よりは事變前の出來事、又事變後の情勢および支那側の行政全般に對する森島氏の見解を述べてこの會見を終了の筈、なほ匪賊狀況および内鮮人の被害事實については書面を以て詳細提出した【奉天電話】

調査團日程

旅、大兩地における

國際聯盟支那調査委員一行は廿六日午前七時四十分大連着の特別列車で來連するが、同日委員長リットン卿は天津から來連のランプソン駐支英公使と會見の筈であるが、また午後大連市民有志と調査委員との會見が行はれる模樣である、廿七日一行は旅順へ赴き山岡關東長官と會見、廿八日は午前中に滿鐵を訪問して内田總裁と會見し、午後の日程は未定であるが同日夜内田總裁は調査委員一行を招待して盛大な晩餐會を開く筈で、廿九日は日曜のため自由行動を希望してをり卅日朝大連發の特別列車で途中鞍山を視察して奉天に赴く豫定である

對滿政策、金輸禁止 現内閣の方針踏襲

鈴木政友總裁、齋藤子會見内容

【東京二十四日發】鈴木政友總裁は二十四日午前九時半四谷の自邸に齋藤子を訪ひ前日訪問を受けた挨拶を述べて後
入閣援助については黨の機關に諮つた所、自分に一任されたが入閣援助については豫じめ實行せんとする政策、軍部の統制問題及び組閣方針卽ち閣員の椅子の振當が根本となるものだからこの點を明瞭にされたい
と質したに對し、齋藤子は所信を披瀝し右諸點に答へ協力入閣援助を求めたので鈴木總裁は更に考慮し改めて黨としての態度を回答する旨述べて會見を終り十時五分辭去した

【東京二十四日發】鈴木總裁は今朝齋藤子との會見で政友會が今後新内閣を援助すべきか否かを決する前に新内閣の主義、政策を諒知する必要があると前提し

一、金再禁止對策として如何なる方針を採るか
二、窮乏の極に在る農村に對し如何なる方策を採るや
三、對支外交方針、特に滿蒙對策
四、現下一般時局收拾對策
五、組閣上の根本方針

等數項に亘つて質し齋藤子は組閣の途に在り具體的對策は言明出來ぬが、自分一個の考へでは

一、經濟界の動搖を防ぐため**再び金輸出解禁の意思なし**、卽ち現内閣の方針を以て進む
二、農村の窮乏疲弊が社會民心に惡影響を及ぼす現狀を鑑み農村救濟のため適當の施設を講じたい
三、**對滿政策は現内閣の方針を替へやうと思はぬ**
四、差し當り民心安定策を採る
五、組閣方針は目下折角考慮中で昨日話した通り

と答へ鈴木總裁は大體諒解し本日閣議後、黨首腦部と協議の上新内閣援助の可否を決し回答する旨答へた

午後再會見

【東京二十四日發】齋藤子は午後三時鈴木總裁と會見の豫定

新内閣に反對進言 鈴木政友總裁に

【東京二十四日發】政友長老會議後鳩山、森兩氏は鈴木總裁を訪ひ政友會は齋藤内閣を黨として援助する必要なし、閣僚を送る必要なし又積極的援助をなす必要もない、との齋藤内閣反對の進言をなした模樣である【二十四日午前一時三十分發電】

鈴木總裁絶對に入閣せず

【東京二十四日發】鈴木總裁は廿三日夜五長老と會合後午後十一時私邸に歸り、鳩山文相、森翰長、山口幹事長を招き五長老の意見を報告、廿四日齋藤子と會見の準備的打合せをなしたが、齋藤子から鈴木總裁に對して入閣を希望されたとしても鈴木總裁は絶對に入閣せぬ事となつた

政黨側に對しても個々に入閣交涉

兩黨總裁に一任せず

【東京二十四日發】新内閣に入閣する政黨代表は政友三、民政二の割合であるが、齋藤子は閣僚候補詮衡につき兩黨總裁に一任せず總裁に諒解の上自ら個々に入閣交涉を行ふ模樣である

齋藤子陸相と重要會見

【東京二十四日發】齋藤子は二十四日荒木陸相を訪問し不穩事件の眞相顛末並に軍の統制問題につき重要會見を行ふ事になつたが、或は同席上齋藤子は後繼内閣の陸相として荒木中將の留任を懇請するのではないかと觀られてゐる

植民地首腦は更迭せぬやう進言

札附の地方長官は半數入替 永田秀次郎氏語る

【東京二十四日發】齋藤子を訪問後、永田秀次郎氏は語る
自分は齋藤子から組閣について種々參考になるやうな最近政界の情勢殊に貴族院方面の現狀につき聞かれたから政友會、民政黨の内部の勢力關係や人物につき又貴族院の研究會、公正會等の實狀を詳細に忌憚なく說明した、その際子爵に對して政友會を分裂さすとか、或は民政黨をつゝくやうな柄にないことをせぬ方が可いと進言した、又近頃の地方長官は丸で政黨の支部長の感を呈してゐるから此等の札附長官は半數位は入れ替へさせるが可い、そして地方長官に眞に國家の役人だといふ觀念を持たせるやうに盡力せられたいことを特に力說した、閣僚の人選は政、民兩黨の割振りを決めてから貴族院方面の研、公兩派の詮衡をなし、それから黨外の入閣者を物色するが可い、自分の入閣說等も有るやうだがいづれ各派人選割當後決まることであらう、又植民地長官は自分から辭任を申出でざる限り現狀のまゝに据置く方が可いと進言した

勞農、滿洲國承認 明確に意思を表示す

【ハルビン二十四日發】滿洲國政府は舊東北政權が一九二四年九月ロシアと締結せる**東鐵の露支共同經營に關する奉露協定の不備の點改訂方につきロシア側と非公式に折衝中**であつたが、ロシアは既に**滿洲國を法律的に承認し、**滿洲國外交關係の設定を先決問題とするを要すと稱し、**外交關係の設定に異議なき明確なる意思表示**をなすに至つた、斯くて滿洲國家が建國早々對外關係において急速にこの點まで漕ぎつけたことは外交上の大成功として注目されてゐる

馬占山に關し省長に質問

調査團專門委員

【チチハル二十三日發】調査團專門委員一行は廿三日午後三時より省長公署において省長程志遠氏と會見、懸惑の人馬占山について相當突込んだる質問なしたるに對し程省長は明確なる應答なせるもの、如し、なほ日本軍チチハル入城前後の模樣その他新國家成立後の一般民衆に對する影響等質問あり省長の回答に滿足した模樣である

調査團接待事務所

關東廳では國際聯盟調査員一行接待に關し關東廳、滿鐵會社、市役所その他と事務連絡のため二十四日からヤマトホテル一階應接間に假事務所を設置し即日より事務を開始した

専門委員一行長春に歸着

國際聯盟調査團一行はハルビンにおいて二班にわかれ、リットン卿一行は奉天に滯在中であるが、チチハルへ向つた專門委員ハース氏ら一行六名はチチハル調査後、洮昂四洮線を經由赴奉の豫定を變更し再びハルビンに舞ひ戻り、二十四日午前六時四十九分着列車で來長、俄かに長春各方面の調査に着手した、一行の赴奉日程は不明なるも多分一泊の豫定らしくみられてゐる【長春電話】

陸相就任交涉か

【東京二十四日發】齋藤内閣の陸相には眞崎參謀次長が擬せられてゐるたが、朝鮮軍司令官陸軍大將林銑十郎氏最も有力視され既に就任交涉の電報が發せられたと

人事

▲名古屋市[illegible]觀察團一行九名 同上
▲阿部嘉八氏（大阪鐵工所社長） 同上
▲三浦環女史（聲樂家） 同上
▲羽田亨氏（京都帝大教授） 同上
▲牛島益氏（大連市會議員） 二十四日入港長平丸にて天津より歸連
▲伊藤武雄氏（滿鐵調査課長） 廿四日朝着列車で歸連
▲神戸正雄氏（京大教授法學博士）
▲中澤良夫氏（京大教授工學博士） 二十四日入港のうすりい丸で來連
▲松尾要氏（太興商事社長） 同上
▲中目覺氏（大阪外語校長） 同上
▲深井吉兵衞氏（銚子醬油專務取締役） 同上
▲志方光之氏（砲兵大尉） 同上
▲竹内精一氏（日本賣藥專務取締役） 二十四日入港うすりい丸で歸連
▲市川數造氏（滿鐵社員） 同上
▲荒木東一郎氏（滿鐵囑託） 同上
▲大竹毅氏（新任芝浦製作所大連出張所長） 家族同伴二十四日うすりい丸で着任
▲首藤正壽氏（滿鐵理事） は夫人同伴二十四日香港丸にて上京
▲竹中政一氏（滿鐵理事） 同上
▲劉明朝氏（臺灣總督府事務官） 同上歸臺

陸軍首腦部異動

陸相、總監更迭に伴ひ

【東京二十四日發】荒木陸相、武藤教育總監の更迭と之に伴ふ最高首腦部の異動は齋藤内閣成立の上決定するが、目下の形勢では參謀次長眞崎甚三郎中將陸軍大臣に、陸軍大臣中將荒木貞夫軍事參議官に、朝鮮軍司令官大將林銑十郎教育總監に、教育總監部本部長中將川島義之朝鮮軍司令官に、兵器本廠附中將香椎浩平教育總監部本部長に、騎兵監中將柳川平助參謀次長に
なほ參謀次長は參謀總長宮の御名代の任を勤めねばならぬから柳川中將は若きに失するといふ意見が行はれて居り、この結果眞崎中將が現職に留任し、林大將が陸相となり、教育總監は菱刈大將が据るのでないかとの說が行はれてゐる
なほ武藤中將が荒木陸相等の說に從ひ專任軍事參議官として現職に留まるか、又は武藤大將の意思通り豫備役に入るか未定なるが、武藤大將の決意が固いので依願豫備役となるものと見られる

招電内容は判らぬ 林軍司令官談

【京城特電二十四日發】齋藤内閣の陸相に擬せられてゐる林朝鮮軍司令官は北鮮視察の日程を繰上げ二十三日夜歸城したが、同夜中央より急電あり、軍司令官は二十四日朝十時發列車で東上した、驛頭で
昨夜荒木陸軍大臣から至急東上せられたしとの招電があつたので行くことになつた、招電の内容は分らぬ
と語つた

家の子郎黨に取圍まれて齋藤子の組閣準備着々と進む。傳へられる閣僚の顔觸、期待に價するもあり、反するもあり。

◇

民政黨早くも新内閣援助の先手を打つ、政友會なほも自重、だが結局は消極的援助に傾くらしい。

◇

いづれにせよ引ずられるは政黨この先分裂騒ぎ、分解作用を起さねば幸ひ。

◇

「政友會を分裂さすとか、又は民政黨を突つくやうなことは、策せぬがよい」永田嘯嵐氏進言。

◇

どうせ分裂するものは分裂する運に眼先の見えた言分。

◇

嘯嵐居士、更に「植民地長官も強て入れ替へせぬこと」ともいふ。これまた贊成。

◇

財界の期待は、高橋藏相の留任に集まる。高橋財政は必ずしも政友財政と見て居ない證據。

◇

流石の顧維鈞も三浦環さんの爲に三舍を避けた?と、但これは環さん御自身の吹聽、眞僞は保證の限りに非ず。

◇

火遊びより危い子供の彈丸遊び突發した悲慘事と共に考へさせられるものがある。

◇

問題の砲彈を持つて來た坊さん申譯に還俗する譯にも行かず。

今後の滿蒙移植民に就いて

(15) 難波勝治

安永氏が一兩年前から世話して居る數名の青年があります、それは最初から支那人同樣の賃銀で辛抱するてふ條件を以て、三箇所に分割就職させられました、日給三十二錢、寢起きは安永氏の自宅内でする譯だが、毎日の食費十錢以内、勿論支那流の材料のみを支那流の樣式で攝取するのであります氏の語る所によれば、滿洲の風土はこの方が營養にもなり、且却て腹工合に好いらしい、而も食ひ剩した廿幾錢が非常に貴く取扱はれ、決して浪費心を起さぬそうであります、就中南山園に雇はれてゐる一名の如きは、漸次果樹の手入れに熟練した爲に、日給を遞增されて今や七十錢宛仕拂はれ、最近の一年間に百五十圓貯蓄し得たさうです、聊か大衆の一般生活を律し難い立志的奮鬪談めくが、氣候風土の異る滿洲での訓練は、日本流のこの生活觀念では完成されません、「日本生活の延長で移植民を律することは出來ない、かうして先づ切詰めた生活樣式を理解し修熟させて、始めて滿洲土着の決心は基礎附け得るのだ、

斯くて自ら貯蓄した所を以て、奧地の沃野開拓に邁進せんか縱し大成功を收め得ないでも失敗は少い」とは、安永氏の滿洲農業に對する主張であるが、私はそれを他の商工業移植民も同樣だと考へます、公主嶺や熊岳城の農業實習所、並に遼陽の蠶業實習所も、同樣の土地に適應した人物養成に努めて居るが、而も卒業後の訓練助成に關して、考慮すべき實際問題あることを、私は一燧園農場の現狀や、安永氏の實驗談に依つて痛感します

農業を主とする移植民問題な、私は順序を混同して漠然概說しました、意見といはんよりも寧ろ批評に傾いた點は多いが、強て之を集約して見ますと、第一從來の助成方法に大改革を要すること第二誤れる保護は却て移植民の努力を鈍らすこと、第三集團移住地の實際的考察點と其機構、第四移植民の生活樣式は土地の自然に適應するが必要なること、第五移植地の培養は人爲的に偏倚してならぬこと、第六植民地の建設と指導人物との關係、第七植民地の選擇には經度よりも緯度に沿ふての考慮が必要なること、第七集團移民地は未墾地よりも、既墾地からその第一歩を初めらるべきこと、第八集團移民地の使命、第九農業植民地と農産物加工との密接なる因果關係、第十時代の轉機と邦人渡滿者の反省點など、おぼろ氣ながら諷言した積りであります、移植民事業の計畫的調査に就て、私は幾多の資料を蒐集しつゝあるが之ほど矛盾の多い多角的なものはなく、就中滿洲の如き記錄の少い萬事未開時代にある土地柄に於て一層困難であります、併しそれだけ創造に就ての面白味があり、勇氣と識見とあるもの、前に、展開された自由の天地だと思はれます又た最後に一言書き添へたいのは滿洲が有する風物の特長であります、

初めて滿洲を見た日本人の誰もが、第一に發する感想の言葉は、山河風物が殺風景であるとの評語であります、東部滿洲は姑く置き、遼河々谷を中心としたこの廣域は、日本内地に比して樹草の少い、水脈に乏しい感を禁じ得ない土地柄であります、かうした相異は自から新たに郷土觀念を培養せんとするに方つて、少からぬ缺陥だといへばいへます、日本はあり餘るほど水に富んだ國土であり滿洲は雨量の少い水に乏しい廣原續きであります、山岳重疊し、樹草繁茂する處に鶯鳥の啼々たる和聲は聽けるが、平野遠く連なり、黄土地を蔽ふ邊域にはそれがない併し多年その地に住み、四季の序を逐ふて風物の推移するさまを見れば、滿洲が有する自然の勝景には、日本に於て味はふことの出來ない特長があります、嚴寒肌を劈く三冬の眠り覺めて、陽春五月の煦光を仰ぐとき、滿洲の山野は洗ふが如き新綠に包まれて居ます、その間に點々する紅桃白梨、眞に清遼明媚の佳景を樂しましめます金風初めて到つて禾黍の野を渡り鴻雁字を點して清澄の天を南飛する時、何物かこの平濶快適な大景に比すべきでありませうか、樹の少いだけ、滿洲の林相は枯淡の趣き深く、水に乏しいだけ、その泉流は冷徹の感を切ならしめます、

この意味に於て滿洲の自然は平和を象徴し、その自然に同化された住民は悠揚の氣分を失ひません、治安の擾亂され易いのは政治の罪であり、匪賊の横行するのは産業未開の罪であつて、滿洲の天地は自由と親和との芽生ゆべき沃土であります、滿洲に移植されんとする日本人は、先づこの自然の特長を玩味せねばなりませぬ、之を無視して新郷土觀念は起らぬと私は信じます、（完）

直木三十五氏の力作

『滿洲の戰慄』

愈よ明日本紙夕刊より連載

避難列車に貨車追突
即死四十名、負傷數十名 阿鼻叫喚の慘狀を呈す
きのふ東支東部線の椿事

【ハルビン特電二十四日發】東支東部線横道河子及び石頭河子の避難民及び東支從業員家族は一列車を仕立てハルビンに避難の途中ヤブロニア驛において貨物列車が追突し即死四十名、負傷數十名を出した、二十三日午後六時頃我が裝甲列車を先頭に避難民列車、第五十五號貨物列車の順序でヤブロニア驛に入つたが先づ裝甲列車は無事に構內に入り避難民列車がポイントに差しかゝつた時前方車輛が脱線至急停車したところへ五十五貨物列車がそれとは氣つかずに驀進して來て激しく追突し避難民列車の後部十四輛破壞され後部の二、三輛目は目茶苦茶に壞れて乘客は或は押し潰され車輛の下敷となり助けを求める聲や唸り聲が響きわたり阿鼻叫喚の慘狀を呈した、同七時四十五分一面坡から救援列車急行し從業員及びわが軍隊と協力し死傷者の收容中であるが負傷者は一面坡の病院に目下收容しつゝある

匪賊狩り專門の正規討伐團を組織
長春を中心として猖獗を極め 唐玉衡氏を總大將に

依然として匪賊の猖獗は長春を中心として停止するところを知らない狀態にあるに鑑み吉興警備司令は吉林省長と協議の結果これら匪賊討伐專務の正規討伐團を組織することに決定したが、その團長は過去七箇年間長春保衛總隊長として專ら匪賊討伐に盡瘁努力し、殊に過般四百名餘の部下を以て農安縣城を死守し二萬餘の李海青軍をしてよく入城せしめなかつた唐玉衡氏を拔擢しその偉勳に酬ゆることゝなつた、尙新設の獨立討伐團は現保衛隊より一箇營、警察隊より一箇營を選拔し他の一箇營は新たに募集し兵員は三千五百名の人員である【長春電話】

長谷部〇團が徹底的討伐へ
敦化附近の邦人遭難事件詳報 賊團盛に工事妨害

既報敦化附近における吉川組從業員の遭難事件詳報―二十三日午前七時半ごろ新道路警備のため敦化警備兵〇〇名は吉川組從業員宇土正司、測量班廣津藤一及び大阪村建設調査のため來敦中であつた委員前田甚右衞門他四、五名の便乘者並びに苦力數名はトラックにて二十三日午前五時頃敦化を出發延吉街道を

進行中 同七時半ごろ敦化東南方三里大橋より五百米餘の八家戸附近に差しかゝつた際崖上の林中に潜伏してゐた數十名の匪賊に襲擊され彼我戰鬪を交へ吉川組從業員宇土は頭部に、大阪村建設委員前田は腹部に何れも貫通銃創を受け重傷、測量班員廣津は右大腿部に擦過傷を負ふた、同乘の兵は直に匪賊を追擊多大の損害を與へたが負傷者後送のため一先づ同トラックで敦化へ歸着した

負傷者 に應急手當を加へると共に急を長谷部〇團に報じた、これがため長谷部〇團は直に裝甲自動車及びトラックに野砲〇門、機關銃數臺を有する主力部隊を出動せしめ徹底的匪賊の討伐を決行することゝなつた、一方賊團は通信線を切斷し頻りに工事の妨害を行ひつゝあるが通信不能のため詳細不明、なほ同日牡丹江附近においても苦力十數名を拉致した模樣である、八家戸で重傷を負つた三名は廿四日午後四時三十分吉林着後送され前田と宇土は吉林東洋醫院に收容他の者は同八時ころ長春着滿鐵醫院に入院の筈、因に前田宇土は頗る重態である【長春電話】

哈市待機中の皇軍出動
〇〇を總攻擊

【ハルビン特電廿四日發】松花江下流方面から歸還しハルビンに待機中であつた〇〇部隊は廿三日夜突如出動命令を受け夜の中に松花江を渡河し廿四日拂曉〇〇方面に向けて總攻擊を開始し某地に待機中の一部もこれに呼應して攻勢に出で〇〇軍の徹底的掃蕩を開始した

李靑天部隊 三姓富錦に移動

不逞鮮人李靑天部隊のその後の策動について密偵の報告によれば韓國獨立司令第三大隊長宋天京は崔松俉、白雲峰らを帶同して部下約二百名と共に東支線牡丹江より三姓および富錦に移動し、二地方に根據を構へた、なほ隊長宋は常に部下に對し

我らは日本の滿蒙侵略主義に反對すると共に、我國軍に對し武力的援助を與へ日本の勢力を滿蒙より驅逐し以つて數十年來の吾人の宿望を果さん

と力說してゐる、しかして現在ハルビンおよび高山屯附近に散在せる同志をこの際糾合せんと代表者を同地に、なほ黑龍江省海倫地方に根據を有する高麗革命軍決死隊の下にそれぞれ連絡者を派遣した【長春電話】

聯合運動會の豫行

新國家「滿洲國」の建設を機會に大連各學校の聯合運動會は來る廿六日午前八時三十分から大連運動場に於て舉行されるが、この記念すべき運動會を最も意義深く盛大に行ふべく各學校では目下每日熱心に練習を續けてゐる、國際親善と民族融和は先づ純眞なる子供達から……のモットーのもとに――【寫眞は運動會の練習】

佐賀縣滿鮮視察團來る

佐賀縣中等教育會派遣の滿鮮視察團は同縣有田工業學校大須賀眞藏氏外二十九名で二十四日入港のうすりい丸にて來連したが同夜は遼西旅館に一泊のうへ旅順、奉天等を巡遊の後朝鮮經由で歸國の豫定である【寫眞は一行】

桓仁駐屯兵が給料不拂で兵變
輯安城內再び不安

桓仁駐屯陸軍第一團の將校以下一千名は給料不拂を理由として二十二日兵變を起し全部脫出輯安方面へ移動しつゝあり輯安城內は再び不安に驅られ人心極度に動搖してゐる【安東電話】

注目すべき日露經濟政策の衝突
神戸、中澤兩博士相携へ來連

滿蒙問題に關して多大の注意を拂ひつゝある京都帝國大學より派遣された日本に於ける經濟學の泰斗京都大學教授神戸正雄法學博士は同じく京大教授の中澤良夫工學博士と共に二十四日入港のうすりい丸で來連したが、氏を船室に訪へば滿蒙問題並に日本經濟界に就いて左の如く語る

自分は 滿洲に來るのは初めてだが、日本經濟界と密接なる關係にある滿蒙に對しては隨分以前から注意を拂つてなり、約三十年前、日露戰役當時でしたが私はドイツで「日露戰爭と國民經濟」と題して著書をあらはし、その中で相當深く滿蒙を論じたことがあります、然しそれ以來長い年月を經た今日、殊に幾度かの政治的變遷があつた滿蒙の事情とは相當變つた點が生じてゐると思はれるので新國家成立を機として大いに研究して見たいと思つてゐます、現在の滿洲に對する私見は色々持つてゐますが、視察前の今輕々しく云ふべきでないと思はれるので差し控へますが、最も

注意し なければならないのは、三十年前の日露戰爭當時と同じように今や滿蒙を中心として日本の經濟政策とロシアの經濟政策とが大衝突をしようとしてゐることです、これは對支問題同樣、或ひはそれ以上に考慮を拂ふ必要があります、日本の經濟界は今さらいふまでもなく行きづまりの狀態で、これを切り拔けるためには關稅改革、幣價切り下げ、農村救濟その他色々ありますが前二者は國際的關係を有し先づドイツの賠償金問題を解決して關稅引下げに關する國際的協定を結ぶ等相當面倒であるから先づ農村問題から先きに解決すべきでせう、とにかく根本的な荒療治をせねことには到底だめでせう【寫眞は右―中澤博士、左―神戸博士】

大滿洲國展入場者
十日間で六十二萬人を突破す きのふ最終日の盛況

【東京特電二十三日發】大滿洲國展十日目の廿三日は愈々今日限りといふので早朝から白木屋の會場目がけて續々と見物人が押しかけた、東京府立第六高女、堀越裁縫學校、三輪田高女の女學生連も大擧して見學したが、大倉商業の學生達は出品目錄と首ッぴきで丹念に研究して行つた、正午迄の入場者二萬八千、午後三萬七千人にして合計六萬五千人に上つた、各種出品見本については相當申込みもあり、頗る好成績を得た、この日最終日とて殊の外雜鬧、田口、織士兩幹事、白木屋側櫻地、田丸兩委員その他係員は特別參觀者の應接に忙殺されたが、正午より七階大ホールにおいて映畫會を開き織士幹事挨拶をなし建國五卷、滿洲警備の實況五卷を公開し、大いに好評を博した、去る十四日展覽會開催以來今日まで十日間の入場者六十二萬三千人、その內譯は第一日五萬八千人、第二日八萬第三日六萬八千人、第四日六萬人、第五日六萬五千人、第六日四萬五千人、第七日五萬二千人第八日六萬人、第九日七萬人、第十日六萬五千人である

滿洲認識上大に參考となる
石塚前臺灣總督賞讚

【東京二十三日發】政界多忙の折柄二十二日特に來場した石塚前臺灣總督は語る

大滿洲國展覽會は大體において成功したものと思ふ、場內を瞥見するにその形式、內容共にこの種の展覽會としては極めて大規模なもので、一見して滿洲國の組織內容が判り滿洲の產業經濟、或は風俗習慣等が良く判るやうに衣食住に關する資料を各方面から蒐集した點は、大いに主催者の勞を多とすべきである殊に滿洲の產業に重きを置き、特產物、重工業に關するもの藝術的工藝品等を出品して所謂日滿貿易に資した事は頗る意義ある事と考へる、斯くの如き事業をなした事は流石滿洲一流新聞社ならでは爲し能はぬところと考へる兎に角この展覽會によつて滿洲の實情、滿洲國の內容が內地人に最も正しく認識されたものと信じこの展覽會の成功を衷心祝賀するものである

ハガキ一枚で本明石一反

每月ヤンヤの人氣ある婦人俱樂部の懸賞、六月號は本明石一千反提供の大懸賞です、早く御覽下さい。

英船舶王逝く

【モンテカルロ二十三日發】イギリスの船舶王ゼームスライルマッケーインチケープ卿は二十三日モンテカルロで逝去した、享年八十

新卒業生の賣込みに
中目大阪外語校長來連

昨春不信問題で學生騷動を起した大阪外語學校々長中目覺氏は二十四日入港うすりい丸で來連したが例の問題は私の不德の至す處で既に圓滿解決した今日充分愼重に努めてゐる、今度は滿蒙國家の建設と共に同國の視察を兼ね新卒業生の賣り込みに來たが、校友も約七十名程在滿活動して居りそれ等は支那、蒙古、露その他各國語に亘り今度の事變の際にも相當活躍してゐるのでこれを慰問し且つ新卒業生の就職斡旋も乞ふつもりだ、本年の新入學生の中では將來滿蒙に活動せんとする鬪志滿々たる若い者の多くは蒙古語を志望してゐるのが殊に目だつてゐる、これから奉天、長春、ハルビン等二週間位の豫定で巡ぐつて來る（寫眞は中目校長）

甘井子丸乘組の海員三十名つく
大汽の乘船快諾に感激

「日本國旗を揭げた船舶は日本船員を乘船せしむべし」とのスローガンをかゝげて目下盛に各方面と交涉中の日本海員組合では先づ大連汽船との交涉に成功し、大汽所有船撫順丸、甘井子丸兩船に各三十名づゝ乘組ますことゝなり、撫順丸乘組員三十名は去る十八日海員組合大連支部長濱尾保氏に引率されて來連したが、二十四日入港のうすりい丸で甘井子丸乘組の三十名が水夫長吉村數馬氏引率の下に來連、直に大汽本社に入つた、一行を代表して吉松氏は語る

日本內地に於ける失業海員の生活狀態は明日のパンにも窮してゐる程で實にみじめなものですこの時に當つて「日本國旗を揭ぐる船舶乘組員は日本人たること」と云ふ海員組合の決議は社會的注意を惹く等と云ふやうなノンキな話ではなく、全く胸の奧からの叫びなのです、失業者洪水の時に日本船旗を揭げ、日本に航路を持つ船舶が他國船員を使用するなんて全く日本の失業海員を無視し、殺してしまうやうなものです、幸ひに大連汽船が海員組合からの要求を受け入れて下さつたことは我々感激の外はありません、しかも條件は協定給料なので一同大喜びで參りました

白川大將絕望狀態
けさ十時發表

【上海二十四日發】午前十時派遣軍司令部發表 白川大將は呼吸脈搏全く衰へ今や絕望狀態である

萬一の場合は軍艦で護送

【東京二十三日發】海軍では白川司令官危篤の報に接し萬一の時は陸海共同作戰の功勞者に對し敬意を表するため特に軍艦で横濱まで護送するに決定した

高野山の別館燒く
本尊寶物烏有

【和歌山二十四日發】二十三日午後四時ごろ高野山別館本山一條院より出火し本堂、護摩堂、大師堂他十三棟、建坪五百坪全燒午後五時三十分鎭火した、原因は風呂場の失火らしい、一條院の本尊彌勒菩薩他三體の佛像始め寶物は全部灰燼に歸した

佐藤知明君遂に絕命
砲彈爆破事件

廿三日市內聖德街における步兵砲彈爆破事件で重傷を負ひ赤十字病院に收容された同地一丁目八〇番地佐藤兵逸氏長男知明(〔ルビ〕)は遂に同日午後六時半絕命した、右事件につき大內沙河口署長は語る

一寸した子供の遊戲が[illegible]如き大慘事を起し三[illegible]日の[illegible]て可愛い子供の犧牲者を出したことは誠に遺憾である、日支事變以來かゝる不發彈と稱する砲彈類の入手が容易にあるため、これなどを記念品として貰ふ者も澤山あるであらうが、殊に長春においても同樣犧牲者があり又今回の事件を起したこと等最も好適例であるから今後は斯樣な危險物はなるべく貰はないやうにし若し入手した場合には專門家に鑑定して貰ひ火藥を拔くとか適當な方法を講じゐやうにせねばならぬ、つまり今回の事件も空彈だとは言つて居つたけれどもアヤフヤであつたため藏つておいたのが圖らずも斯樣な事件を惹起したのであるから大いに注意すべきである

第十六回關東州庭球大會
申込來る廿六日まで延期
主催 滿洲日報社

鄭總理の次男上海から歸連

家族引纏めのため先月末上海に赴いた滿洲國總理鄭孝胥氏次男鄭禹氏は一家十一名並に一族陳承瀚氏家族六名を連れて廿四日入港の長春丸で歸連、目下星ケ浦別莊に滯在中の令息鄭貴凱氏並に夫人二格娘に迎へられて文化臺の自宅に入つたが、數日中に長春に赴く豫定であると、上海における樣子をたづれると

何しろ身邊が非常に危險であつたので殆んど外出などせず、大急ぎで一族をまとめて歸つて來ましたが、家族の者は何れも溥儀執政のお國に行くのだと大喜びです

と多くを語らなかつた

環女史母國へ

プリマドンナ三浦環女史は二十三日の獨唱會を名殘として二十四日出帆のほんこん丸で一路故國への急がしい旅についたが、今日のマダム、バタフライは高價な白狐の襟卷に濃艷のドレスといふ扮裝で花束を抱き見送りの竹中滿鐵理事夫人、村岡樂童夫人等と甲板で記念撮影をなし、音樂關係者多數の見送りを受けつゝ五色のテープに名殘を惜みつゝ十一年振りで母國へと旅立つた

西公園町の火事

二十四日午前一時五十分市內西公園町百廿一番地の空家(家主大塚靴店)から出火し木造建のことゝて火の廻り早く同二時三十分同家を全燒鎭火した、出火原因について不審の點あり目下大連署司法係に大塚靴店の主人を召喚取調中であるが同家は元杉山某が居住し昨年八月以來空家となつてゐたもので先月廿八日にも出火してゐる

柳元事件不起訴

柳元尙矢郞氏死亡後、遺產をめぐつて惹き起された未亡人柳元イト(五八)有川嘉太郞(五二)兩氏にかゝる私文書僞造行使、公正證書原本不實記載行使事件は大連地方法院井關檢察官係り取調中のところ廿四日不起訴となつた

本社見學

旅順高等公學校附屬小學校高等科生八十三名は羽場尙恕教師引率の下に午前、旅順第一小學校第五學年生百三十三名は泉田訓導引率の下に午後それぞれ本社を見學した

天氣豫報 二十五日 北西の風 曇り 驟雨模樣後晴

滿潮(午前一時十分 午後一時五十分)
干潮(午前七時十分 午後八時五十分)

けふの小洋相場(正午) 金百圓は一七一圓四〇錢

武門血笑記（153）

下村悦夫作　布施長春挿畫

僞御用盗（二）

六兵衛の命令で、奉行所へ手紙を投げ込みに行つた筈の龍圓、どうしたものか、それから一時ばかり經つた八ツ半頃、本所緑町の刀屋善右衛門の奥座敷で、主人の善右衛門と作樂を相手に、何事かしきりに談じ立てゝゐる樣子。

「……と云ふやうなわけで、儂しや六兵衛の男らしくない遣り方につくぐ愛想が盡きました。それで奉行所へ訴人するやうな顔をして、その足でこうして此方へ上つたやうな始末で」

と、龍圓餘程急いで來たと見えて、早口に喋り立てながらふうふう云つてゐる。

「うむさうか、よく云つて來て呉れた」

善右衛門は凝乎と腕を組んだまゝ一向に驚いた風もない。

「へえ、儂しや親分、いや、旦那にや以前お世話になりました上に、此間じみぐとお意見を伺つて、もうふつつり惡い事を思ひ切つて、せめて疊の上で往生してえ、こう思つてゐた矢先なのですから、せめてもお恩報じにと思ひまして」

「有難う、私の意見で、そんな氣になつて呉たのは何よりの事だ」

「が、早い事にしませんと、あつしが、こうして伺つたて事を感附いたら、彼奴等あ旦那方にどんなお迷惑な事を……」

と、龍圓氣ぜはしさうに、息を呑む。

「白井さん、あんたの御意見は」

善右衛門は先刻から默つてゐる作樂の方へ話しを向ける。

「どんなものでせう、打つとなれば六兵衛はお梨花殿には親の仇敵陣野氏とお梨花殿に知らせてやつたら。その上で私達が第二の備へとして出る事にしては」

「成程、お尤もなお話」

「が、その前に聞いて置きたいのは、お蓮と露木の住家は解つたのか」

と、作樂が龍圓に訊く。

「それがその、大崎村邊にゐるらしいつて事だけ妙な事から嗅ぎ出してゐるんですがね、尤も六兵衛の奴あもつと詳しく知つてゐるのかも知れねえんです、此間中から頻りに手出しをしたがつてゐる樣子でげえすから」

「では、それは、それとして、手紙を一本書くから、御苦勞だが金杉濱町の因州屋敷まで、届けて貰えねえか」

「ええ、ようござんすとも」

龍圓の返事に、作樂は、料紙と硯を取寄せて、さらさらと一通の手紙を認めて

「これを、御門番に届ければよい急いで駕籠で行つて呉れ」

と、小粒を紙に捻つて、手紙に添へながら。

「それから手紙を届けたら、何喰はぬ顔をして、一先づ六兵衛の處へ歸つて、今晩の五ツを合圖に天王寺の境内まで來て貰ひたい」

「へえ、承知致しました」

龍圓が、いそいそと大急ぎで出て行くと、後は作樂と、善右衛門の二人、

「今晩は、また飛んだ芝居が見られますれ」

と、善右衛門、相變らずにこにこ顔。

「はつはつは……見物にいらつしやいますか」

「是非久しぶりで、貴郎の成田屋張りの處を」

「私は、せいぐ三枚目、が、内

龍圓のやうな立役者が揃つてゐます、それで木戸錢入らずですから」

「いやに、驕てますれ」

「その錢一役、買はせやうと思ひましてれ」

二人は面白さうに輕口を叩きながら、大きな聲で笑つた。

◇◇蒲田作品勝敗◇◇

朝日新聞懸賞の菊池寛原作の小說、村小松脚色島津保次郎監督田中絹代、川崎弘子主演で映畫化、パート・トーキーである（次週中央映畫館上映）

帝國館の再生裝置　完成し廿六日から使用

帝國館では既報の如く日活映畫のトーキー化により古河電氣を通じてクランク・トービス再生機Z型を購入し過般來、裝置中であつたが、いよいよ完成したので今明日中に「時の氏神」と「女國定」を試寫、檢閲を受け豫定通り來る廿六日から前記二作品を以てトーキー興行に乘出すことになつた、なほ第二回は「上海」の豫定で尚都合プロ上映計畫があるが未だ具體化してゐない、因にトービス再生機は常盤座、中央館、帝國館、奉天平安座（近日裝置に着手）の四館となる譯である

嘴

ゆふべの協和會館に於ける三浦環女史の獨唱會は果然大成功を納めたが▲女史は「お蝶夫人」をはじめ得意の「三十三間堂」や「梅にも春」をゼスチア入りで唄ひ▲タマキ・ミウラの面目を舞臺にみなぎらし聽衆は大喜びで恐らく協和會館はじまつて以來の特異な雰圍氣をつくつた▲帝國館にトービス再生機が据はりいよいよ日活の發聲映畫が配給されて來るので▲奉天と撫順も何とかしたいと伊藤出張所長が名案を思ひついて曰く▲ポータブルを二館で購入して負擔を輕くして掛けもちするさい、

美と生命を蝕む潛伏梅毒は今が一番治し易い時　速刻全身驅梅が必要

獨逸ベルツ博士日本政府登錄商標

若芽 のすくすく伸びる今頃の季節になると、色々の病氣が頭を持上げて來るが、一番恐ろしいのは今迄體内に潛んで居た梅毒菌スピロヘータの活動である。梅毒も潛伏狀態の時はどこが惡いといつて目立つた症狀はないが、何となく頭が重かつたり、頭痛や眩暈がして食事なども思ふ樣に進まなくなる。ところが一度梅毒菌が活動を初めると忽ち皮膚一面にニキビの樣な吹出物が時々出來たり又自然に治つたりして神經衰弱にでも罹つた樣に頭はぼんやりして、記憶力や思考力が著るしく減退し、夜も安眠出來ぬ樣になる。かうした症狀を捨て置くと段々惡化して、

胃腸 を初め腦、脊髓、心臟、腎臟、肝臟、眼、肺等凡ゆる内臟諸器官を犯され口や咽喉がたゞれたり、毛髮が拔けたりして多くは狂ひ死にさせる麻痺性癡呆と云ふ所謂腦梅毒になつて悲慘な一生を終る樣になる。

梅毒もこゝまで惡化するとどんな名醫でも、如何に全身驅梅藥として代表的なベルツ丸でも簡單に治す事は却々難しいから右の症狀を呈したら一刻も早く名醫に依つて治療するなり、ベルツ丸の如き信用ある内服藥で根本的に治療する事を忘れてはならぬ。かゝる

恐ろ しい梅毒も六〇六號注射が發見された當時は、梅毒患者の救世主の如く喧傳され、醫者もこれが根治療法と信じて居りましたが、その後、實驗成績によりますと種々な缺點が指摘され一部では失望の聲さへ放つ樣になりました。それは梅毒に感染してから一ケ年以上も經過した全身梅毒や第一期症狀のない遺傳梅毒は注射のみにては安全に治せぬといふ事である。先年も大阪に開催された第八回の特別醫學會に出席のドイツボン大學教授エリック・ホフマン博士は「近時注射、單獨療法の不備から潛伏梅毒が非常に多くなり、其の七割近くは潛伏性である。これを撲滅するにはどうしても注射以外に安全な内服藥が必要である」と公表され當時各新聞紙上に發表されたから讀者諸氏は良く御存じの事と思ふ。

梅毒 の治療に完全なる内服藥が是非とも必要である事は醫學界の定說となつてゐる、從つて近時色々な内服藥が販賣され、甚だしいものになると學理的に何等根據ないものでも一大發見藥の如き宣傳をなし御氣の毒な梅毒患者を苦しめるものも少くない。筆者は徳義上これ等の藥名を發表する事を遠慮するが、發賣以來十數年間一日の如く藥品の向上に效果本位にどこ迄も梅毒患者を救ひ度いと言ふ念願で創製されて居る安價で信用出來る内服藥ベルツ丸を心から紹介致したい。

内服 藥ベルツ丸は、梅毒病原體の根絶を目的として數種の貴重藥の配劑であるから、強力なる驅梅内服藥として醫學界の定說もあり、注射はもとより何を試みても治らなかつた永年の梅毒患者がベルツ丸の服用で救はれたといつて澤山本舗へ謝狀を寄せられた事が一層ベルツ丸の偉大なる藥效を裏書きして居る。

從つて初期の方々は申す迄もなく何を試みても全治せぬ潛伏梅毒、脊髓、腦梅毒、梅性リウマチス、遺傳梅毒、或は梅毒のため絶えず便秘に苦む方、頑固な腫物に惱む方、梅毒性ニキビ吹出物、其の他凡て梅毒のために内臟を侵されてゐる方々は、ベルツ丸の服用によつて何の副作用もなく血液や淋巴液中の恐るべき毒素は大小便と共に體外へ排泄され一日毎に氣分は爽快となり、食慾は進み血色は良くなり、ニキビの樣な吹出物も腫物なども いつとはなしに取り去られ、頭の惡いのも段々回復し凡ゆる梅毒性疾患に惱む方々をして何の苦もなく神速に根治に導く事が出來ます。

尚ベルツ丸服用後一應血液檢査をすれば完全に治つたか否かゞ知れて安心です。

高橋藏相留任說に財界各方面は好感

難局の乘切りを期待　數日來の不安薄らぐ

【東京二十四日發】政局の不安につれて財界一般も數日來不安に襲はれ齋藤子に大命降下かみてもなほその財政經濟政策が判らないために倚暗中模索の狀態を續けてゐたが、高橋藏相の留任が大體確實なりとする觀測有力となるに從つて財界各方面では漸く安心したかの色がみえて來た、卽ち高橋藏相の留任によつて急激な變化を來すべき政策の實現は先づないとみたのとさきに犬養內閣の立案した日銀制度改正案、爲替管理案、不動產金融對策、關稅改正案等が大體において實現をみるべしとするにいたつたのと更に齋藤子は政民兩黨を始め各方面から閣僚を求めんとしてをりまた政民兩黨においても大體閣員を送つて援助せんとすること略明らかとなつたために齋藤內閣は政友會のインフレーションにも民政黨の緊縮にも陷らず中庸を得た政策によつてこの難局を乘り切るものとの期待をもつにいたつたこと等によつて大體齋藤內閣の成立特に高橋藏相の留任を歡迎してゐる如くである、財界各方面の觀測左の如くである

各方面の觀測

串田萬藏氏(三菱銀行)　高橋氏の留任を見ることは眞に當を得たことゝ思ふ、犬養內閣の立案した日本銀行制度の改正爲替管理、不動產金融對策等は高橋氏の留任に依つて實現性が確實となり其の他の政策についても高橋氏なれば無理なことはしないので金融界は一先づ安心するであらう

牧田環氏(三井鑛山常務)　財界の對策中產業の開發振興が最も肝要だ、これに依り失業も救濟出來る、新內閣は早く政綱政策を決定し斷乎として實行して貰ひ度い、吾々が政界に望むところは選擧法を改正してこの際政界の革新を圖ることだ

各務謙吉氏　現下の財界の情勢では高橋藏相に從來の政策を踏襲して貰ふ外ない、又同氏の堅實な手腕と閱歷の重みは軍部に對しても好條件であらう、要所には多少煙い人がゐるのは必要だからね

松永安左衛門氏　この際急激な政策の轉換は困る、高橋藏相留任は爲替の安定にも望ましいし電氣事業にとつても有利である

結城豐太郞氏(興業銀行)　高橋氏は政友內閣に在りても一に國家本位に依り金再禁止後の對策を講じて居られた、金融界の重要政策を實行するには是非必要な人で氏の留任は國家のため財界のため眞に喜ばしいことゝ思ふ

大川平三郞氏　實業家として新內閣に對する希望は
一、產業の振興
二、海外貿易の振興
三、農村窮狀の救濟
その他通貨政策、關稅改正等云ふべきことは非常に多いが要するにことを決する上には極めて愼重に研究し禍を殘さぬやうに希望する、老齢を押して留任される高橋さんの責任は重大である

森廣藏氏(安田銀行頭取)　懸案になつてゐる日銀制度改正爲替管理不動產金融對策等は誰が藏相になつても實行せねばならぬと思ふが夫れには高橋氏の藏相留任が最も望ましい、同氏は眞に國家本位の政策を執る人であり現下の財界は手腕力量のみならず人格警望の秀でた人が出て人心を安定せしむることが肝要なるに於て特に同氏の留任を望む次第である

木村久壽彌太氏　私は後繼內閣には高橋是淸氏を首班とする政友延長內閣の出現を望んでゐたが齋藤子の出馬を見たのも結構だ、高橋氏が藏相として留任されるならその政策は政友會のインフレイションにも民政黨の緊縮にも陷らず中庸を得た經濟政策に依つてこの難時局を

失望人氣もあり各市場保合

今朝何等變化なし

【東京二十四日發】齋藤子の舉國一致內閣組織で人氣安定の筈であるが市場では先週末既にフミ上げ相場を現じ新內閣に對して實質的に無力とみる失望人氣もありて昨日の市場は新東百五十圓飛び寒の安値をみせたが今朝は各市場共引續き保合何等變化なし

【神戶二十四日發】爲替は滿鐵、捗々しくないが輸入取きめも全然見送られ閑散であつた

爲替氣配强調

【神戶二十四日發】對外爲替午前の氣配は入電來日高と高橋藏相留任決定に好感を呼び氣配すこぶる强調であつた

【神戶二十四日發】對外爲替十時半變らず氣配寄與一部に下唱へもあつたが市況漸次好感ビル出廻り

米價慘落

新內閣期待薄

【東京二十三日發】政友內閣の米價政策が打切られ而も新內閣に積極政策期待薄き氣配から米價は慘落し先物二十二圓八十六錢と暴落新安値を示し引際漸く九十一錢と戾した、引際氣配は九十八錢である

銀市場に響く爲替管理

結局狹い意味の管理　資金逃避の防止程度

(上)

後繼內閣の藏相は略高橋是淸氏に內定した模樣であるが同氏留任となれば經濟政策としては大體前內閣當時の政策を踏襲することになるべく殊に爲替政策に對してはさきに聲明した通り爲替管理法制定に努力するは瞭かである、政府の爲替政策は直接的に當地銀市場に多大の影響を齎らすものであるから此際傳へられる爲替管理について考察することも徒爾ではあるまい

◇

暫く止まつてゐた資本の逃避は、上海事件の解決で國際關係の不安が除かれたのと、內地金融が引緩んで來たゝめに又復始まつたのである、然るに財界の現狀は既に昨年末巨額の資金が逃避したゝめに極度に困窮の事態に至つてゐる上に本年は滿洲への投資は是非行はればならぬし、外債の支拂には外國で起債が出來ないために相當巨額な資金が出るものと豫想されるので財界は前途不安にかられてゐる、それにも拘らず尙この上に資金を持ち去られる樣な事があつては、財界は勿論、國家經濟の破綻を招來する外ないので、之は經濟の自由を束縛しても取締らねばならないことである

◇

實際資金の逃避を防止する事は財界の緊急事であり、之が出來なければ財界の救濟も、資金の救濟も、資金の供給も有效とならないのですから、その原因を除去するに努める一方之れが防止の方法として爲替管理が出現するは當然の成行である、故にこの爲替の管理はそれが完全に行くか行かないかは別としても、財界當然の處置として行はればならぬ事である、そしてそれが經濟の自由をある程度まで束縛するものであるから、必ずや財界にある變化を與へることは必要であると共に、惡い影響を受くる方面もあることは覺悟せねばならないことで、それがどんな順序でどんな形で財界に變化を與へるかといふことを考へるのは最も必要なことであらう。

◇

然らば之れが豫測は何に依つて立てるかと云ふに、各國の先例を參考とすることは勿論必要であるが國それぞれ管理の目的も理由も異なり又同情も違ふことであるから一概に各國と同じ結果を齎すものであるとは考へられない、我國の狀態から立脚してその管理がどの程度まで行ひ得るかと云ふ豫測を立て、獨自の立場から考察すべきものであらう、そこで今日日本が爲替管理を行ふ場合どの程度のものであるかと云ふに、爲替管理は貿易管理を伴ふでなければ不可能であることは云ふまでもない事であるから、政府は始めの內は對外投資の取締りと買爲替(輸入爲替)の管理位の積りであらうけれど結局は貿易管理に至るであらう事は豫測して間違ひない所である、それから爲替相場の安定といふ事が一般も希望する所であり、爲替管理の目的が、こゝにあると見るゝ位であるが、それには巨額の資金が必要であり、日本の現狀としてはそれは出來ない相談である、から廣い意味の管理は、經濟原則からして日本では到底行ひ得ない只資金逃避の防止といふだけの狹い意味の爲替管理が行はれるに過ぎないであらうとは想像せられる

輸組の貸出擴張本年は絕望

未だ其時機に非ずと滿鐵、組合員に戒愼を促さん

滿洲輸入組合聯合會の定時總會は六月三日大連において開催されるが事變による各種の影響を深刻に體驗して以來の最初の總會であるだけに相當各地組合員側から今後の組合の滿蒙新狀勢に對應した活動方針、組織其他貸出事務の改善等につき積極的な提案が行はれるものと觀られ注目されてゐるが就中例の每年提出されて保留となる貸出限度の擴張並に擔保範圍の擴大問題は可成り熱心に實現を要望されてゐる、右に關する滿鐵側の意向を仄聞するに擔保物件の範圍の擴張に就いては實施方法の如何によつては充分考慮の餘地あるものとせる如くであるが貸出限度の擴張に就ては滿洲經濟界の現狀に鑑み未だ輸組聯合會として積極的轉換策を講ずべき時機に非ずとして極力各地組合員の戒愼を促さんとしてゐる模樣であるからこれが本年度よりの實現は殆ど望みなきものと觀られてゐる

四月大連外輸組業績

貸出は增加

滿洲輸入組合聯合會調査=大連外十六輸入組合の四月中に於ける業績を見るに

三月末貸付殘高三、一四〇七、一六八、三七七
四月中貸付額一、四五四、七七六、五二一
四月中回收額一、四五〇、七一二、〇一一
四月末貸付殘高三、一六六、一六二、八七

にして前月末に比して一萬八千九百八十四圓五十錢の貸出增加となつてゐる、各地別內譯左の如し

(單位圓)

組合別	貸付額	回收額
大連	[illegible]	[illegible]
旅順	[illegible]	[illegible]
大石橋	[illegible]	[illegible]
營口	[illegible]	[illegible]
鞍山	[illegible]	[illegible]
遼陽	[illegible]	[illegible]
奉天	[illegible]	[illegible]
撫順	[illegible]	[illegible]
本溪湖	[illegible]	[illegible]
安東	[illegible]	[illegible]
鐵嶺	[illegible]	[illegible]
開原	[illegible]	[illegible]
四平街	[illegible]	[illegible]
公主嶺	[illegible]	[illegible]
長春	[illegible]	[illegible]
吉林	[illegible]	[illegible]
哈爾賓	[illegible]	[illegible]
合計	[illegible]	[illegible]
(信用)	[illegible]	[illegible]
(擔保)	[illegible]	[illegible]

五百萬弗現送

【東京二十四日發】政府の產金買上は前週末迄に二千七百五十九萬圓に上つたので政府は曩に二回米國へ現送したが來る三十日發額五百萬弗を神戶發の氷川丸で現送することゝなつた

東拓の外債償還資金及び多額の外債クウポンを手持せる外銀賣進すに對米三十一弗八分七の唱へもあつて氣配强く推移した

產金買上値段

【東京二十三日發】本週中內地產金買上值段は七圓三十八錢(前週より十錢高)と決定發表された

東南行貨物數量七年は全然逆轉

總量は著しく減じたが五月は南行の獨占

本年四月以後の滿鳥協定による北滿貨物東南行比較を示せば

	六年四月	七年四月
東行	三三、三〇五	三五、四四六
南行	三三、二八〇	八八、三三三
計	一三三、八〇五	一一〇、七六九

	六年五月上旬	七年五月上旬
東行	四六、九四四	〇
南行	六六、五八二	三、六四六
計	三三、四九六	三、六四六

	六年五月中旬	七年五月中旬
東行	三一、三三〇	〇
南行	一〇三、三九九	三、六九九
計	三七、六六九	三、九九九

となるが、右表の如く輸送量が著しく減少した原因は東支東部線の不安にも因るとはいふもの、六年十月の特產出廻期以後七年三月までの輸送量が前年に比し相當の增量であつたことが大きな原因で卽ち六年の出廻期以後七年三月までの滿鳥協定による北滿貨物の出廻總量は百四十六萬噸に達するが前年同期は百二十四萬五千噸にすぎず二十一萬五千噸の增加である、また本年四月以後の東南行に就て見るに六年は東行斷然優勢を示したに反し七年は全然逆轉の形であるがこれは全く東支東部線の不安に原因するもので五月以後の東行皆無は同線の不通の結果であるとなは五月上旬の北滿貨物在貨噸數は約三十五萬噸であるが前年に比し約四十萬噸の減である

鹽田、酒精工場を先づ大擴張

東拓の新規事業決定

朝鮮及び滿洲各地を約一ケ月に亙つて初巡視各地の實情調査中であつた高山東拓總裁は去る十八日歸京、愈々現地調査の結果に基き、着々新規事業に着手することになつたが、先づその第一着手事業として關東州の鹽田擴張並にハルピンの酒精工場の

擴張 を行ふことゝなつた卽ち前者は既に東拓が大正十二年以來登沙河に於て着手現在四百五十餘町歩の鹽田を有する外旅順に精製工場を設立、專門家を擁し事業に對し可成りの經驗を有せるところ關東州は極めて安全にして投資上の不安なきこと、また內地に於ける鹽の自給を圖る國策的見地より愈々擴張することとなつたもので既に大連支店より大體の計畫案が本社に提出されてゐる模樣であり少くとも現在の三、四倍の擴張卽ち千五百町歩乃至二千町歩を新規に開拓する模樣で近く本店より調査員の一行が來連實地につき調査を遂げることとなつてゐる

後者 の酒精事業に關しては約三百萬圓の投資をなしてゐるが舊軍閥の壓迫により製品の販路を閉ざされ休業の止むなきに至つてゐたが、今日の事變により周圍の情勢は一變し極めて有望なる將來のある事業となつたもので、現在の設備も更に擴張し年產三萬石の製造能力をもたせ包米を原料として大々的に工業化せんとするもので

今秋迄に着手

中澤支店長談

右鹽田擴張に關して中澤大連支店長は語る

まだ正式にどうするといふ具體案は出來てゐないが、先般總裁が來連されたとき、鹽のことについては詳しくお話しておいたが愈々着手することゝなつても千五百町歩になるか二千町歩になるか、實際に測量して見ないとわからない、本店には專門の測量技師もゐることだし、近く實地に就て測量して決定的具體案が出來上ることゝならう、今秋

河豆取引はまだ

大野氏視察談

三井支店長代理

三井物產大連支店長代理大野敬信氏は先般來ハルピン、チチハル方面の實情視察中であつたが二十四日朝歸連左の如く語る

河豆の出廻りについては或は二十萬噸といひ、樂觀視する人は三十萬噸位は出るように言はれ各人の觀測はそれぞれに異つてゐる、然しながら御承知のように兵匪の跳梁は益々熾烈なるものがありこれに對する皇軍の徹底的討伐等の關係で商人自體としてはまだ河豆の事實上の取引の處頭が向いてゐないようであるが、松浦鎭方面はあれだけの激戰であつたに拘らずハルピン市場は極めて平靜であり、チチハルまた同樣であつた、東支西部線は現在危險狀態にあり列車は運轉を停止してはゐないが日本人の乘車が危險であるので憲兵隊に於ても日本人は乘込ませないことにしてゐる、自分は幸ひ飛行機に便乘することが出來、ハルピンよりチチハルに行つたのだが、危險地域はハルピン、滿溝間であつてこの方面は農安地方に主力を集中する李海靑の率ゆる兵匪が跳梁してゐるようである、今年度の作付段別は例年と大差なき模樣だが肝腎の資金が乏しいために苦力を使用することが出來なかつたり、甚しいのは種子の缺乏等で收穫減は免れまいと觀られ、悲觀說を唱ふる向は四割減等と言はれてゐる、皇軍の兵匪討伐は着々進みつゝある模樣だからハルピンより東北方面に伸びる松花江の河豆が間もなく出廻つてくるのではないかと思ふ

金融組合聯合會定時總會

初めて配當

滿洲金融組合聯合會定時總會は二十四日午前十時半より横山財務課長、近藤議所において開催した[illegible]り横山財務課長、近藤[illegible]臨席し大連金融組合外二十組合の組合長並に上定刻天滿理事長開會挨拶あり議案に入り天滿理事長議長席に就き度財產並びに事業報告處分案及び監事の意見件等異議なく可決、二名を三名に增員にも同樣滿場一致可決事改選の結果は大連理事奧田種彥、旅順會理事楠辰之助兩氏何決した、終つて横山場の訓示あり午餐の状況に就き懇談、午後一時半無事散會したが

數年來繼續せる世界的不況と金輸出再禁止、圓價暴落、銀價同上の折柄北滿、上海兩事件の勃發に各市況沈滯を極めてゐる際、同聯合會各組合の業績は一般の不況にも拘らず良好にして關東廳の補助金も受けず相當の剩餘金を生じ初回の配當を爲すに至つた、因に聯合會の剩餘金處分案を示せば左の通りである

本年度純剩餘金　九千參百七拾五圓五錢也
前年度繰越金　壹千四百八拾四圓五十五錢也
合計本年度剩餘金　壹萬八百五拾九圓六拾錢也

內譯

缺損補塡準備金(本年度剩餘金の四分一强)金參千圓也
特別準備金　金參千圓也
翌年度繰越金　金四千八百五十九圓六十錢也

また總裁がお見えになるまでには調査も濟むこととならう

萬塵

◇…無際限に惡化して行く世界的恐慌を喰止めんがために各國經濟界は種々な形態で計畫經濟への轉向を示してゐる。

◇…我國に於ても財界の局面打開策として統制ある計畫經濟政策等が昨今盛んに唱へられ出した

◇…滿洲を本邦經濟圈の延長として扱ふことが說かれるのもその一つの現れだが、只如何にするかといふ具體案は未だ確定してゐない。

◇…尤も內地有力實業家方面では滿洲は日本內地に對する原料供給地とすることが得策だといふ意見は大體一致してゐるやうだ

◇…しかし滿洲において大規模な工業を起すことが內地產業を脅威するといふ見地から在滿工業を原料生產事業に限定せんとするものならば謬まれるも亦甚だしと云ふべきである。

◇…たとへ邦人の在滿企業計畫を原料生產だけに限定したとしても歐米諸國が原料以外の大工業を計畫した場合は果してどうするつもりだ。

◇…門戶開放を標榜する滿洲國において邦人企業を斯うした狹い範圍に限定せんとするは餘りに短見でもあり又虫の良い考へである。

◇…日本の金融資本家や企業家がソコまでも斯うした偸安に眠り仕事をしようとするから國民的反感を招き自らの墓穴を掘ることになるんだ。

埠頭在庫貨物

5月12日　(單位噸)

品目	本年ノ本日	昨年ノ本日
大豆 混保	262.896.2	165.763.8
大豆 非混保		
大豆 白眉豆	8.213.1	
大豆 靑豆	2.245.6	
大豆 合計	373.354.9	165.763.8
小豆	5.926.6	10.660.9
吉豆	1.073.4	1.521.3
高粱	55.379.5	22.121.0
包米	2.086.6	2.154.6
大米	2.070.2	974.3
小米	516.7	451.9
麥子	18.1	
蕎麥	305.9	768.7
芝麻	435.6	76.7
大麻子	552.4	23.0
小麻子	2.305.7	576.1
蘇子	3.044.1	2.234.2
落花生	3.446.7	7.734.8
雜穀	1.148.1	1.933.7
豆粕	115.520.5	36.091.4
雜粕	770.4	1.691.7
獸骨	163.8	145.7
豆油	2.348.8	4.441.8
其他ノ油類		
麥粉	7.148.9	4.505.8
燒酎	3.0	•
セメント	671.3	3.164.1
[illegible]子	3.350.2	3.111.5

上海標金

寄値　七二八兩二
高値　七三二兩四

麻袋小綻り綿糸保合

大連埠頭到着高

大豆	一四六車		
高粱	一二車		
豆粕			
雜穀	一五車		